一般社団法人　尾道青年会議所

２０２１年度　第１２回　理事会



日時：２０２１年１２月６日（月）１９：００～

場所：尾道国際ホテル

第１２回　理事会

資　料　一　覧

［議事次第］

１．第１２回　理事会

［理事長報告］

［事務局連絡］

［資　　料］

１．	会員拡大の調査・研究・実践　事業報告（案）決算（案）	１－１～１２
２．	夏期講習　事業報告（案）決算（案）	２－１～２２
３．	１０月例会　事業報告（案）決算（案）	３－１～　８
４．	活気溢れるまちづくり事業の調査・研究・実践　事業報告(案)決算(案)	４－１～　７
５．	災害に強いまちづくり事業の調査・研究・実践　事業報告(案)決算(案)	５－１～２０
６．	次代に繋げる組織づくり事業の調査・研究・実践　事業計画(案) 修正予算(案)	６－１～２１
７．	次代に繋げる組織づくり事業の調査・研究・実践　事業報告(案)決算(案)	７－１～５１
８．	次世代育成事業の調査・研究・実践　事業報告（案）決算（案）	８－１～３８
９．	卒業例会　事業計画（案）予算（案）	９－１～３５
１０．	一般社団法人 尾道青年会議所 ２０２２年度 役員承認	１０－１～　８
１１．	一般社団法人 尾道青年会議所 ２０２２年度 委員会事業計画（案） 並びに予算（案）	１１－１～　６
１２．	一般社団法人 尾道青年会議所 ２０２２年度　一般収支予算（案）	１２－１～　６
１３．	一般社団法人 尾道青年会議所 ２０２２年度　特別会員への入会（案）	１３－１～　２
１４．	例会・総会の設営及び運営【１月例会開始時間の変更】事業計画（案）	１４－１～　３
１５．	新年例会 事業計画（案）	１５－１～　４

一般社団法人尾道青年会議所
２０２１年度　第１２回理事会

日時：２０２１年１２月６日（月）１９：００～

場所：尾道国際ホテル

次　第

１．開　　会

２．点　　鐘

３．ＪＣＩクリード唱和

４．ＪＣＩミッション並びにＪＣＩビジョン唱和

５．ＪＣ宣言文朗読並びに綱領唱和

６．出席者の確認

７．配布資料の確認

８．議事録署名人並びに議事録作成者の指名

９．議題の確認

１０．理事長挨拶

１１．直前理事長挨拶

１２．理事長報告

１３．委員会報告

１４．審議事項

第　１号議案　会員拡大の調査・研究・実践　事業報告（案）決算（案）に関する件

第　２号議案　夏期講習　事業報告（案）決算（案）に関する件

第　３号議案　１０月例会　事業報告（案）決算（案）に関する件

第　４号議案　活気溢れるまちづくり事業の調査・研究・実践　事業報告(案)決算(案)に関する件

第　５号議案　災害に強いまちづくり事業の調査・研究・実践　事業報告(案)決算(案)に関する件

第　６号議案　次代に繋げる組織づくり事業の調査・研究・実践　事業計画(案)修正予算(案)に関する件

第　７号議案　次代に繋げる組織づくり事業の調査・研究・実践　事業報告(案)決算(案)に関する件

第　８号議案　次世代育成事業の調査・研究・実践　事業報告（案）決算（案）に関する件

第　９号議案　卒業例会　事業計画（案）予算（案）に関する件

第１０号議案　一般社団法人 尾道青年会議所 ２０２２年度 役員承認に関する件

第１１号議案　一般社団法人 尾道青年会議所 ２０２２年度 委員会事業計画(案) 並びに予算(案)に関する件

第１２号議案　一般社団法人 尾道青年会議所 ２０２２年度　一般収支予算（案）に関する件
第１３号議案　一般社団法人 尾道青年会議所 ２０２２年度　特別会員への入会（案）に関する件
第１４号議案　例会・総会の設営及び運営【１月例会開始時間の変更】事業計画（案）に関する件
第１５号議案　新年例会 事業計画（案）に関する件

第１６号議案　その他

１５．協議事項

１６．報告依頼事項

１７．連絡事項

１８．監事講評

１９．次回開催日の確認

２０．点　　鍾

２１．閉　　会

理事長報告

１１月　８日（月）	第１１回理事会	於：尾道国際ホテル
１１月１６日（木）	１１月例会	於：ＷＥＢ
１１月２３日（火）	会員会議所会議	於：グランラセーレ東広島
１１月２６日（金）	第１１回正副理事長会議	於：事務局
１１月２７日（土）	秋季ゴルフ大会（追い出しコンペ）	於：尾道うずしおカントリークラブ
１１月３０日（火）	特別合同委員会	於：尾道市役所２階　多目的スペース
１２月　３日（金）	シニアクラブ総会	於：西山別館
１２月　５日（日）	クリスマス会	於：グリーンヒルホテル尾道
１２月　６日（月）	第１２回理事会	於：尾道国際ホテル

事務局連絡

１２月１５日（水）	卒業例会	於：尾道国際ホテル
１２月２３日（木）	第１２回正副理事長会議	於：事務局

上程締切　１２月２０日（月）１７：００まで

委 員 会 報 告

期間　2021年11月6日～2021年12月2日

委 員 会 名	日時	場　所	議　　題
未来ビジョン委員会	11月6日	かもめや	事業報告について
	11月10日	とりのいっとく	事業報告について
社会開発委員会	11月9日	福岡	本事業について
	11月16日	しんでん	本事業について
	11月18日	しんでん	本事業について
	11月19日	しんでん	本事業について
地域教育実践委員会	11月12日	啓文社	本事業について
	11月15日	尾道造船	本事業について
	11月15日	佐藤工務店	本事業について
	11月15日	ひまわり認定こども園	本事業について
組織活性化委員会	11月8日	びんご運動公園	お礼まわり、パネル回収
	11月9日	尾道市内	お礼回り
	11月10日	尾道市内	お礼回り、ポスター回収
	11月11日	OB企業	お礼回り
	11月12日	OB企業	お礼回り
	11月16日	OB企業	本事業について
	11月17日	OB企業	お礼回り
	11月18日	OB企業	お礼回り
拡大研修委員会	11月11日	事務局	11月例会について
	11月12日	オンライン	11月例会について
	11月22日	グリーンヒルホテル尾道	クリスマス会について
	11月29日	ドンキホーテ	クリスマス会について
	12月1日	事務局	クリスマス会について
総務広報委員会	11月12日	事務局	卒業例会について
	11月25日	事務局	卒業例会について
	12月2日	尾道国際ホテル	卒業例会についてリハーサル

一般社団法人　尾道青年会議所　事業報告（案）決算（案）

審議事項

委員会名：拡大研修委員会
委員長名：吉田　嵩正

（1）議案名　　会員拡大の調査・研究・実践　事業報告（案）決算（案）に関する件

（2）事業名　　拡大会議　テーマ「集まれ尾道ＪＣ！全集中で挑む拡大活動！」

（3）事業実施に至る背景

全国的に会員数減少の勢いが止まらず、大きな問題とされています。尾道青年会議所も同様ですが、２０２１年度含め３年間で卒業予定者が３６名と在籍会員の半数を超える状況にあります。

（4）事業目的（趣旨）

ａ．（対外）

ｂ．（対内）全員が拡大目標達成を目指し、拡大活動に関われる環境作りと情報共有を徹底して行うことでより多くの会員獲得を目的とします。

（5）実施日時　　２０２１年　2月　3日（水）～　7月　2日（金）

（6）場　　所　　ベイタウン尾道

（7）参加人員　　内部　６５名　　外部　名　　計　６５名
（内部内訳：）

（8）外部協力者

（9）事業の目的は達したか？

本年度は「全体拡大」と「拡大活動の情報共有」に重点を置いて拡大活動に取り組みました。目標には及びませんでしたが、一度でもメンバーが拡大活動に関わった割合が前年度３３％に対し、本年度は６６％と大きく改善することができました。メンバーが拡大状況を把握し、目標に向けて取り組む環境を作れたと考えます。

昨年以上に新型コロナウイルスが猛威を振るい、拡大活動にも大きな影響を及ぼしましたが、仮入会期限を延長するなどの配慮をして頂き、6名の新入会員を迎えることができました。また、次年度入会予定者を２名引き継いでおります。よって本目的は達成されたと考えます。

(10) 実施上の問題点

本年度は、新型コロナウイルスの影響により会自体の活動が止まることもあり、拡大活動にも大きな影響を及ぼしました。イベントや事業が中止となり、現役メンバーとの交流機会が例年より少なく、異業種交流会は実施できませんでした。また、例年では拡大対象者と飲みながら入会を促しておりましたが、本年度は喫茶店や会社での面談が中心となりました。現段階では新型コロナウイルスは減少傾向にありますが、来年度は拡大活動が難しい状況を想定した対応策を考えておく必要

があります。１１月例会では「オンラインコミュニケーション」を題材として、メールでのポスティングやＺＯＯＭでの面談などの「オンライン」の活用を提案させて頂きました。既存の拡大手法に満足せず、アップデートしていく姿勢が重要です。

また、拡大レースでは昨年と同じ配点にしていましたが、本年度は拡大活動に多数のメンバーに関わって頂いたことでバランスの悪さを感じました。仮入会員獲得といった明確に貢献度のある配点を上げるなどの調整が必要です。

最大の課題としては、全体拡大が行えていないことが問題点です。昨年と比較して、一度でも拡大活動に携わったメンバーの割合は増えましたが、まだ改善の余地があります。今後、拡大活動が苦手なメンバーをいかに巻き込む仕組みを構築するかが重要です。

(11) 次年度への引継事項

本年度はコロナ禍でもアプローチしやすいように拡大担当者を関係性重視で振り分けました。準備期間が大切ですので必ず委員会訪問と若手中心の聞き取り調査を行って下さい。マンダラシートは２６名の新規候補者を抽出し、非常に有効であったと感じましたが、３年に一度程度の実施が適切だと感じます。拡大グループラインは全体の拡大情報の共有という面で非常に効果的ですので継続して構築して下さい。

拡大会議を核として拡大活動を行うのであれば、拡大リストとお願いリストは毎月準備して下さい。また、ファシリテーターを配置することで、拡大について委員会で話し合って頂くことができたと感じます。

次年度拡大レースを行うのであれば、獲得ポイントの調整が必要です。最下位のチームのペナルティですが、実施に関しては委員会でしっかり話し合って決めて下さい。本年度は全体的に協力できていたこともあり、反対意見もありました。

本年度は拡大活動未経験者を多く取り込めたと思います。特に最初の訪問は不安に感じる方も多いので拡大メンバーが同行するなどして、苦手意識が定着しないように配慮をお願いします。

(12) 委員長所見

本当にたくさんの方に支えて頂いた１年４ヶ月でした。拡大活動に協力して頂いた全ての方に感謝しております。ありがとうございました。

目標の１５名を達成することはできませんでしたが、後悔はありません。自分自身にできることを考え、必死に取り組んだ結果なので真摯に受け止めます。コロナ禍の逆境と拡大目標という数字のプレッシャーにしっかりと向き合いました。拡大担当者としての務めを投げ出さず、「とんぼ」に込めた想いを最後まで貫いて活動できたことは私の誇りです。

(13) 添付資料

事業収支計算書（案）

収支計算明細書（案）

拡大報告書（参考資料）

第１２回理事会　２０２１年　１２月　６日

事業収支計算書（案）

事業名　集まれ尾道JC！全集中で挑む拡大活動！

収入の部

大科目	中科目	小科目	細目	予算額	決算額	差　異	備　考
事業収入	事業費繰入収入	事業費繰入収入		50,000	50,000	0	
	事業費繰入収入	事業予備費繰入収入				0	
	登録料収入					0	
	販売収入					0	
	広告料収入					0	
	負担金収入					0	
	雑収入					0	
補助金等収入	国庫補助金収入					0	
	地方公共団体補助金収入					0	
	民間補助金収入					0	
	国庫助成金収入					0	
	地方公共団体助成金収入					0	
	民間助成金収入					0	
寄付金収入	寄付金収入					0	
	募金収入					0	
収入合計				50,000	50,000	0	

支出の部

大科目	中科目	小科目	細目	予算額	決算額	差　異	備　考
事業費支出	事業費支出	会場設営費支出	人件費支出			0	
			食事代支出			0	
			会場費支出			0	
			設営費支出			0	
			運送費支出			0	
			レンタル料支出			0	
		小計		0	0	0	
		企画演出費支出	人件費支出			0	
			食事代支出			0	
			企画費支出	10,340	11,775	-1,435	賞状・名入れウイスキー
			演出費支出			0	
			旅費交通費支出			0	
		小計		10,340	11,775	▲ 1,435	
		本部団関係費支出	人件費支出			0	
			食事代支出			0	
			会場費支出			0	
			設営費支出			0	
			旅費交通費支出			0	
			通信費支出			0	
			運送費支出			0	
			消耗品費支出			0	
			レンタル料支出			0	
			保険料支出			0	
			渉外費支出			0	
		小計		0	0	0	
		講師関係費支出	食事代支出			0	
			旅費交通費支出			0	
			宿泊費支出			0	
			保険料支出			0	
			諸謝金支出			0	
			会合費支出			0	
			記念品代支出			0	
		小計		0	0	0	
		広報費支出	運営費支出			0	
			会場費支出			0	
			設営費支出			0	
			通信費支出			0	
			消耗品費支出			0	
			レンタル料支出			0	
			作成費支出	17,985		17,985	異業種交流会ポスター・チラシ
			ＰＲ費支出			0	
		小計		17,985	0	17,985	
		資料作成費支出	通信費支出			0	
			資料費支出	5,000	1,245	3,755	拡大会議資料
			消耗品費支出			0	
			レンタル料支出			0	
			作成費支出			0	
		小計		5,000	1,245	3,755	
		報告書作成費支出	通信費支出			0	
			資料費支出			0	
			消耗品費支出			0	
			レンタル料支出			0	
			作成費支出			0	
		小計		0	0	0	
		懇親会費支出	人件費支出			0	
			会場費支出			0	
			設営費支出			0	
			旅費交通費支出			0	
			運送費支出			0	
			レンタル料支出			0	
			保険料支出			0	
			飲食費支出			0	
			アトラクション費支出			0	
		小計		0	0	0	
		渉外費支出	役員渉外費支出			0	
			記念品代支出			0	
		小計		0	0	0	
		旅費交通費支出	旅費支出			0	
			交通費支出			0	
			宿泊費支出			0	
		小計		0	0	0	
		参加記念品代支出		0	0	0	
		保険料支出		0	0	0	
		通信費支出		0	0	0	
		販売物品仕入支出		0	0	0	
		雑費支出		0	0	0	
	事業予備費支出			16,675			
余剰金					36,980		
支出合計				50,000	50,000		

●余剰金　¥36,980　については本理事会承認後、事業予備費に繰入れる。

収支計算明細書(案)

事業名　集まれ尾道JC！全集中で挑む拡大活動！

＜収入明細書＞

中　科　目	小　科　目	細目	摘　　要	予算額	決算額	差異	備考
事業費繰入収入	事業費繰入収入			50,000	50,000	0	
						0	
						0	
						0	
						0	
			合　計	50,000	50,000	0	

＜支出明細書＞

中　科　目	小　科　目	細目	摘　　要	予算額	決算額	差異	備考
事業費支出	企画演出費支出	企画費支出	JC賞状	935	500	435	啓文社→事務局
			【 名入れ 】ウイスキー サントリー 角瓶 700ml 彫刻(ゴールド・クラシカル リーフ・スワロフスキー付き) 木箱・写真確認	9,405	11,275	−1,870	楽天市場 (木箱・写真確認追加)
						0	
						0	
						0	
						0	
						0	
			小　計	10,340	11,775	−1,435	
	広告費支出	作成費支出	異業種交流会ポスター・チラシ	17,985	0	17,985	異業種交流会中止
						0	
						0	
						0	
						0	
						0	
						0	
			小　計	17,985	0	17,985	
	資料作成費支出	作成費支出	拡大目標宣言7枚 拡大報告書20枚 拡大リスト240枚 お願いリスト48枚 仮入会申込書50枚 企業リスト50枚	5,000	1,245	3,755	事務局
						0	
						0	
						0	
						0	
						0	
						0	
			小　計	5,000	1,245	3,755	
						0	
						0	
						0	
						0	
						0	
						0	
						0	
			小　計	0	0	0	
						0	
						0	
						0	
						0	
						0	
						0	
			小　計	0	0	0	
	参加記念品代支出					0	
	保険料支出					0	
	通信費支出					0	
	販売物品仕入支出					0	
	雑費支出					0	
事業予備費支出				16,675			
余　剰　金					36,980		
支　出　合　計				50,000	50,000		

拡大報告書(参考資料)

（２０２１年1月1日～１２月１日現在）

拡大目標人数	１５名
正規入会人数	６名
仮入会獲得人数	９名(６名入会)
正規入会員のうち若者（２０代）の人数	２名
正規入会員のうち女性の数	０名
２０２１年度の退会者	２名

・拡大活動に関わったメンバーの割合
　昨年３３%→本年度６６%(６５名中４３名)

・拡大レース結果
　チーム順位
①正副事務局
②未来ビジョン委員会
③地域教育実践委員会
④社会開発委員会
④総務広報委員会
⑥組織活性化委員会

　個人順位(表彰対象)
①加藤雅崇くん
②大池慎三くん
③村橋　聡くん

　拡大新人王
◎加藤雅崇くん

○本年度の拡大方針

　全員が拡大目標達成を目指し、拡大活動に関われる環境作りと情報共有を徹底して行うことでより多くの会員獲得を目指す。また、コロナ禍でもアプローチしやすいように関係性のあるメンバーに拡大対象者を振り分ける。

○本年度の拡大活動

拡大活動準備期間（１月）
マンダラシートによる新規候補者の抽出、拡大グループラインの構築、拡大リストの整理を行い、拡大活動の準備を進めました。
↓
仮入会員獲得期間（２月～６月末）
月に一度の合同委員会の時間を利用した拡大会議を核として、拡大活動を展開しました。
※本年度は緊急事態宣言などで活動中止期間があったため、１０月末まで延長。
↓
異業種交流会（３月～４月）
本年度は新型コロナウイルスの影響により実施できませんでした。
↓
４月例会（４月１６日）
「道程」をテーマに、広島県立竹原高等学校の野球部監督である迫田穆成氏を講師としてお招きしました。仮入会員を招いて例会に参加して頂きました。
↓
新入会員ガイダンス（８月１０日）
新型コロナウイルスの影響により、ＹＯＵＴＵＢＥでの動画配信にて実施。
新入会員候補生に組織の概要と活動を説明しました。また、各候補生に個別に面談を行い、アンケートにて入会への不安や悩みを聞き取りました。
↓
仮入会員審査（９月６日）
８名の仮入会員を獲得していましたが、１名辞退。７名が仮入会員として理事会にて承認されました。※１名は１０月より仮入会。
↓
仮入会員研修（９月２１日）
新型コロナウイルスの影響により、ＺＯＯＭでのオンライン研修にて実施。

前半パートでは、青年会議所の組織について、三信条、宣言文、綱領、ミッション、ビジョンについて詳しい説明を行いました。後半パートでは、加度直前理事長を始めとした尾道青年会議所メンバーの話を聞いて頂きました。
↓
交流会(１０月１７日)
仮入会員を集めて、バーベキューをしながら交流会を行いました。
↓
新入会員審査(１１月８日)
８名中２名が辞退。６名の新入会員候補生の入会が理事会にて正式に認められました。
↓
１１月例会(１１月１６日)
コミュニケーションスキルの講演に特化した香山千賀氏を講師としてお招きしました。本年度の拡大活動で苦戦した「印象力」、今後の拡大手法の新たな切り口の提案としてオンライン例会にて実施しました。新入会員にも設営などを協力して頂きました。
↓
特別合同委員会(１１月３０日)
拡大レースの結果発表と表彰式、新入会員へのバッチ授与式を行いました。

○考察

①準備期間について

・マンダラシート
２６名の新規候補者の抽出ができ非常に有効でしたが、提出された資　料からは１３名でした。提出頂いた資料にチェックされてない方の確認を電話で行ったところ追加で１３名候補として追加できました。

・表に出さない拡大リスト
対象者と仕事上の関係で出したくないという方が潜在的にいます。本年度だけという約束で聞き取りを行ったところ、数名の候補者を出して頂くことができました。信頼関係もありますが、拡大担当者は委員会訪問や電話の際に確認するべきです。

・拡大リストの精査
準備期間中に委員会訪問・ＯＢ訪問をしてリストを確認して頂きました。候補者がいない、年齢オーバー、来年帰ってくるといった情報を頂くことができました。拡大担当者は常にリストを持ち歩き、より多くの方に目を通してもらう意識が必要です。

・拡大担当者の振り分け
本年度はコロナ禍の影響で拡大活動の足が鈍る懸念がありました。ランダムに候補者を振り分けず、委員会訪問をした際に訪問しやすい対象者を聞き取り振り分けました。拡大活動が活性化した一因であると考えます。

・ＯＢ訪問
準備期間中にＯＢに新規情報の提供やノウハウを教えて頂きました。今後の拡大活動の成功にはＯＢの力が必要になります。より多くのメンバーがこれを行うだけで、新規情報や拡大現場が大きく変わるではないかと考えます。

・拡大グループライン
拡大情報の共有という面では必須です。拡大レースの得点表のみファイルに保存していましたが、期限切れで消えてしまっていました。ノートに保存しておけば消えずに残っているようです。急遽、仮入会申込書が欲しいなどの連絡を受けることがあったので、そういった資料をダウンロードできるように配慮しておくといいかもしれません。

・拡大目標宣言
事務局に掲示しておりますが、最初の意識付けとして一定の効果はありました。後半は話題にでることもなかったので、掲示までする必要はないかもしれません。

②拡大会議について

・拡大会議
拡大活動の核として必要な場だと思います。毎月一度でも全員で拡大活動について考える時間は非常に有意義でした。時間をオーバーすることもありましたので、純粋な話し合いにしっかりと時間を使うべきです。動画やノウハウは拡大ラインなどで共有するのがいいかもしれません。

・各リストの配布
２ヶ月に１回の予定にしておりましたが、持ってきていない委員会が多く、毎月配布するようにしました。

・お願いリスト
各委員会に１０件程度の対象者へのアプローチを依頼しました。関係性に配慮していたこともあり、非常に効果的でした。

・拡大タイム
合同委員会の貴重な時間を頂いているので、拡大活動の話をしっかりしてもらうためにファシリテーターとして委員会メンバーを各委員会に配置しました。これにより拡大活動にしっかりと向き合って頂くことができたと感じました。

・匿名新規情報ボックス
仮入会員獲得期間中の合同委員会にて設置しました。一件も情報がなかったので必要ありませんでした。

③拡大レースについて

・拡大レース
本年度も拡大活動の意識付けとして拡大レースを実施致しました。雰囲気作りとしてこういった枠作りは必要だと感じます。毎年同じ形式だと飽きが来るかもしれないので、趣向を変えたパターンも検討してもいいかもしれません。本年度、呉ＪＣではレイドボ

ス形式で、拡大目標から逆算したポイントを全員で獲得する設えで拡大への雰囲気作りをしたと聞いております。

・拡大褒賞・ペナルティ
拡大担当者として積極的に取り組んだ委員会やメンバーを讃える場は必要だと感じます。しかし、最下位のチームのペナルティは頑張ったメンバーも被るので、かえってモチベーションを下げる可能性もあります。本年度も夏期講習が中止となり実施しませんでしたが、反対意見もありましたので、実施する場合は慎重に考える必要があると思います。また、ペナルティを実施するのであれば、褒賞の部分をもう少し手厚くできればと感じました。

・獲得ポイント
前年度以上に拡大活動に多くのメンバーが参加したことで、獲得ポイントのバランスの悪さを感じました。実質的な仮入会員獲得などの項目はもっと高く配点するべきだったと感じます。また、項目にない形で積極的に拡大活動に協力してくれるメンバーもいたので、そういった方への配慮も必要でした。

④拡大活動について

・理事長の号令
本年度の拡大期間、安楽城理事長が挨拶に拡大の話をほぼ必ず取り入れて下さいました。他ロムでも効果があったと報告されており、会全体の士気が高まった大きな要因の１つです。拡大活動は全体事業ですので、来年以降もぜひ理事長の号令でモチベーションをあげて頂きたいと思います。

・アポイント
電話をかける際は、社業の忙しい時間は避けるように心がけました。夕方頃に連絡するのが効果的でした。また、会社にかける場合は丁寧に話すことで耳を傾けて頂けたと思います。改めて連絡するという場合は折り返しがほぼなかったので、日程はその場で決めるように心がける必要がありました。

・面談(場所)
例年は居酒屋でお話しするケースが多かったですが、本年度はコロナ禍で飲みの席は用意しづらい状況でした。喫茶店や会社に訪問するケースが多かったですが、距離を縮めることが少し難しく感じました。お酒を飲みながらリラックスして話す方がスムーズに進んだように感じます。

・面談（訪問者）
関係性のあるメンバーがいれば、相手もリラックスして話を聞いてくれたように感じます。新入会員などの拡大未経験者はこういった機会に同行してもらうことで、拡大活動を覚えてもらう必要があります。なるべく未経験者には丸投げせずに、訪問依頼時に私が同席することを約束し、不安にさせないように心がけました。理想としては関係者・ベテラン・新人で訪問するのがいいと思います。場合によってはＯＢにも同行を依頼するべきだと思います。

・面談（武器）
本年度は、面談時にパンフレット・企業リスト・事業の掲載された尾道新聞を持参して、トークの切り口として活用しました。また、事業の説明や年間スケジュールの説明の際に手帳があると便利でした。本年度は中止となりましたが、異業種交流会のチラシがあれば訪問理由にできるので活用して頂きたいと思います。

・面談（トーク）
ＪＣについて知らない方が多かったので、尾道青年会議所の活動や特色を説明できなければなりません。趣味などの話を交えながらリラックスして耳を傾けて頂けるように心がけました。候補者の興味や疑問としては、人脈・時間・会費・入会のメリットといった点に集中したと思います。また、中小企業同友会との違いを聞かれることも多かったので、差別化を図れるトークの準備が必要です。

・新しい拡大手法
１１月例会で提案させて頂いた「オンライン」の活用をぜひ行って頂きたいと思います。メールでのポスティングやＺＯＯＭでの面談、ＳＮＳを活用など様々な可能性を持っていると考えます。また、活動できないレベルのコロナ禍再来への備え、電話や面談などの拡大活動が苦手な方への役割作りにも繋がると思います。既存の方法にとらわれず、新しい方法を模索し続けることが大切です。

⑤仮入会から新入会までの期間について

・新入会員グループライン
次年度の反省から発言禁止で連絡のみとしました。辞退者が出たときのモチベーションダウンを防ぐ目的でしたが、候補者同士の交流が希薄になってしまったかもしれません。

・アンケート（新入会員ガイダンス）と面談

入会に向けて意識を高めていく上で仮入会員の疑問や不安を取り除くことは非常に重要でした。アンケートから数回の面談を重ねて、距離を縮めながら入会へ導くことを心がけました。粘り強く面談を重ねて入会に繋がったケースもあります。

・事業への参加と関係作り
１０月に入るまで事業が例年になく少なく、例会も中止というケースが多くありました。早い段階からより多くのメンバーと関わり、囲い込んでいくことが重要だと思います。今年は事業への参加意欲が下がっているようにも見えるので、今後の尾道青年会議所の戦力となって頂けるようにフォローしていく必要があります。

⑥その他

・ＪＣライフ掲載
ＯＢ向けに拡大活動のお願い記事を三回掲載しましたが、一度も反応がありませんでした。効果は薄いかもしれません。

・異業種交流会
昨年に続き、新型コロナウイルスの蔓延で検証することができませんでした。拡大対象者へアプローチする際の武器になりますので、可能であれば実施を継続するべきです。

○総括

本年度は、拡大目標１５名に対して６名と大きく及びませんでした。しかし、拡大活動の活性化という観点からは、前年３３％に対して本年度６６％と大きく改善しました。コロナ禍での拡大活動で結果は出せませんでしたが、次年度以降の希望を見いだせたと感じております。

全国的にメンバーの減少が問題となっており、拡大は永遠に解決しない課題だと思います。近年問題視されていた理事メンバー中心の拡大活動からの脱却へは少しずつ改善の兆しがあると感じています。しかし、まだ「他人事」に捉えているメンバーもいるように感じるので、しっかりと巻き込んでいく必要があります。

尾道青年会議所の良さを感じていなければ、自信を持って拡大活動を行うことはできません。魅力的な事業を展開し、多くのメンバーが「自分事」として関わり続けることが大事なのではないでしょうか。私自身、拡大担当者として経験させて頂いたこと、反省するべきことを今後の糧として、会のために貢献していきたいと思います。

一般社団法人　尾道青年会議所　事業報告（案）決算（案）

審議事項

委員会名：組織活性化委員会
委員長名：山本　恭平

（１）議案名　夏期講習　事業報告（案）決算（案）に関する件

（２）事業名　夏期講習　テーマ「目指せテッペン！同じ目的に向かって繋がろう！」

（３）事業実施に至る背景

組織を永続的に活性化していく為には、そこに集まる会員同士がより深く理解し合い、同じ目的意識を持って活動をしていくことが重要であり、２月例会のアンケート結果から多数の会員がその必要性を感じています。

（４）事業目的（趣旨）

ａ．（対外）

ｂ．（対内）尾道青年会議所に所属する会員同士の親睦を深め、共通の目的意識を持ち、力強く活性化した組織づくりの一助とします。

（５）実施日時

①２０２１年　8月２１日（土）７：３０～２１：００　登山　　（緊急事態宣言中により延期）
②２０２１年　8月２２日（日）９：００～１０：００　検証・発表（緊急事態宣言中により延期）
③２０２１年１０月　２日（土）９：００～１６：４０　登山　　（コロナ感染状況を鑑み、中止）
④２０２１年１０月　４日（月）合同委員会　　検証・発表（登山中止に伴い、検証・発表中止）
⑤２０２１年１１月　２日（火）合同委員会　　事業詳細の発表実施

（６）場　　所

①愛媛県西条市　石鎚山（延期）
②尾道市　　浄土寺（延期）
③愛媛県西条市　石鎚山（中止）
④尾道市　　ベイタウン会館（中止）
⑤尾道市　　ベイタウン会館（発表実施）

（７）参加人員　　内部　５５名　　外部　０名　　計５５名
（内部内訳：現役会員５１名　仮入会員　４名）

（８）外部協力者

（９）事業の目的は達したか？

本年度の夏期講習は、ガイドラインに準じ新型コロナウィルス感染状況を鑑み中止となり、１１月合同委員会の場をお借りして夏期講習の趣旨と伝えたかった事について発表をさせていただきましたが、本来の目的達成を計ることはできておりません。

しかし、調査で委員会メンバー含め６回登山した内容を発表させて頂いたことで、組織の活性化については伝える事が出来たものと考えます。

（10）実施上の問題点

特にありません。

（11）次年度への引継ぎ事項

登山を企画するのであれば、できる限り早期および複数回の現地調査をする必要があります。現地調査実施日と事業実施日では気温が異なる為、服装や持っていくものも変わる可能性があるので注意が必要です。その他に現地調査での確認すべき点は、「現地までの移動時間、登山に必要な時間、コースの安全性、休憩箇所の有無、トイレの有無など」の確認が必須となります。また、現地調査は複数名で実施することをお勧めします。その際に、体力に自信がないメンバーに合わせて現地調査を実施することで、より当日をイメージしやすくなります。

また、本年度の様に有事の際には中止となる場合もあります。ただ単に中止にするのではなく、実施不可となった場合でも「何を伝えたかったか」や「事業に対する想い」を会員に対し伝える為の準備をしておくことが必要です。そうすることで、実施に向けて委員会内で積み上げてきた「議論や想い」を発表することができ、会員に対しても「学び」の機会を創出することが可能となります。

（12）委員長所見

本年度の夏期講習は、会員が「同じ目的に向い」行動する中で、「親睦を深める」ことを目的として、組織の活性化を図ることができる事業構築を進めて参りました。

事業を構築するにあたり、活性化している組織の状態について考えた結果、①共感者が多数集まっている（会員数の増加）②活動への参加意欲が高い（出席率が高い）③組織内部の関係性が良い（活発な意見交換）が発生している状態が考えられました。

前述した状態を目指す為に、２月例会で学んだ「同じ目的意識を持つことの大切さ」と「組織内部が親密に繋がることの重要性」を体感する為に「登山」を手法とさせていただきました。

選定理由としては、「目標が明確である」、「誰に対しても平等である」、「助け合いが必要になる」という事、より厳しい環境が会員同士の絆を深めると考え、西日本最高峰である「石鎚山登山」を企画させていただきましたが、残念ながら実施することはできませんでした。

単独や委員会メンバーとの６回の現地調査を経験したことで、目的達成に向けて行動する過程での「応援・協力」といった仲間と切磋琢磨する行為が、達成した時に得られる充実感を生み出すのだということを痛感し、一人ではなく共感できる仲間の大切さを再認識することができたことは、大変貴重な経験だと感じております。

組織は「人の集団」であり、人間関係を外すことはできません。より良い人間関係を構築する為には、信頼を築き「お互いを理解し認め合う」ことが重要であり、その為には会員同士の親睦を深めることは必要不可欠です。

やむなく中止となりましたが、夏期講習で伝えたかった事を発表する機会をいただけたことで、「会員同士の親睦を深める」必要性と「心理的安全性の向上」についての必要性を会員に伝えることができ、力強く活性化した組織づくりの一助へと繋げることができたものと考えます。

（13）添付資料

事業収支計算書（案）

収支計算明細書（案）

夏期講習発表資料（案）

第１２回理事会　２０２１年　１２月　６日

事業収支計算書（案）

夏期講習
事業名　『目指せテッペン！同じ目的に向かって繋がろ

収入の部

大科目	中科目	小科目	細目	予算額	決算額	差　異	備　考
事業収入	事業費繰入収入	事業費繰入収入		250,000	250,000	0	
	事業費繰入収入	事業予備費繰入収入		141,570	0	141,570	
	登録料収入			439,230	0	439,230	
	販売収入					0	
	広告料収入					0	
	負担金収入					0	
	雑収入					0	
補助金等収入	国庫補助金収入					0	
	地方公共団体補助金収入					0	
	民間補助金収入					0	
	国庫助成金収入					0	
	地方公共団体助成金収入					0	
	民間助成金収入					0	
寄付金収入	寄付金収入					0	
	募金収入					0	
収入合計				830,800	250,000	580,800	

支出の部

大科目	中科目	小科目	細目	予算額	決算額	差　異	備　考
事業費支出	事業費支出	会場設営費支出	人件費支出			0	
			食事代支出			0	
			会場費支出	10,000	0	10,000	浄土寺（総会会場）
			設営費支出			0	
			運送費支出			0	
			レンタル料支出			0	
		小計		10,000	0	10,000	
		企画演出費支出	人件費支出			0	
			食事代支出	40,000	0	40,000	(有)原田酒店
			企画費支出			0	
			演出費支出			0	
			旅費交通費支出	160,000	0	160,000	ロープウェイ代（往復2,000円×80名）
		小計		200,000	0	200,000	
		本部団関係費支出	人件費支出			0	
			食事代支出			0	
			会場費支出			0	
			設営費支出			0	
			旅費交通費支出			0	
			通信費支出			0	
			運送費支出			0	
			消耗品費支出			0	
			レンタル料支出			0	
			保険料支出			0	
			渉外費支出			0	
		小計		0	0	0	
		講師関係費支出	食事代支出			0	
			旅費交通費支出			0	
			宿泊費支出			0	
			保険料支出			0	
			諸謝金支出			0	
			会合費支出			0	
			記念品代支出			0	
		小計		0	0	0	
		広報費支出	運営費支出			0	
			会場費支出			0	
			設営費支出			0	
			通信費支出			0	
			消耗品費支出			0	
			レンタル料支出			0	
			作成費支出			0	
			PR費支出			0	
		小計		0	0	0	
		資料作成費支出	通信費支出			0	
			資料費支出			0	
			消耗品費支出			0	
			レンタル料支出			0	
			作成費支出			0	
		小計		0	0	0	
		報告書作成費支出	通信費支出			0	
			資料費支出			0	
			消耗品費支出			0	
			レンタル料支出			0	
			作成費支出			0	
		小計		0	0	0	
		懇親会費支出	人件費支出			0	
			会場費支出			0	
			設営費支出			0	
			旅費交通費支出			0	
			運送費支出			0	
			レンタル料支出			0	
			保険料支出			0	
			飲食費支出	580,800	0	580,800	グリーンヒルホテル
			アトラクション費支出			0	
		小計		580,800	0	580,800	
		渉外費支出	役員渉外費支出			0	
			記念品代支出			0	
		小計		0	0	0	
		旅費交通費支出	旅費支出			0	
			交通費支出			0	
			宿泊費支出			0	
		小計		0	0	0	
		参加記念品代支出		0	0	0	
		保険料支出		4,000	0	4,000	㈱T.N-PLANNING　80名分
		通信費支出		770	0	770	振込手数料
		販売物品仕入支出		0	0	0	
		雑費支出		16,000	0	16,000	救急セット費用　6グループ分
	事業予備費支出			19,230			
余剰金					250,000		
支出合計				830,800	250,000		

●余剰金　　¥250,000　　については本理事会承認後、事業予備費に繰入れる。

収支計算明細書(案)

事業名　夏期講習『目指せテッペン！同じ目的に向かって繋がろう！』

＜収入明細書＞

中 科 目	小 科 目	細目	摘　要	予算額	決算額	差異	備考
事業費繰入収入	事業費繰入収入			250,000	250,000	0	
	事業予備費繰入収入		現役会員65名　×　2,178	141,570	0	141,570	例会運営費
	登録料収入		現役会員65名　×　5,082	330,330	0	330,330	懇親会費
			仮入会員15名　×　7,260	108,900	0	108,900	懇親会費
						0	
			合　計	830,800	250,000	580,800	

＜支出明細書＞

中 科 目	小 科 目	細目	摘　要	予算額	決算額	差異	備考
事業費支出	会場設営費支出	会 場 費 支 出	総会会場利用料	10,000	0	10,000	浄土寺
						0	
						0	
						0	
						0	
						0	
						0	
			小　計	10,000	0	10,000	
	企画演出費支出	旅費交通費支出	ロープウェイ代（往復2,000円×80名）	160,000	0	160,000	石鎚ロープウェイ㈱
		食事代支出	水@70円×2本×80名	11,200	0	11,200	(有)原田酒店
			アクエリアス@90円×2本×80名	14,400	0	14,400	(有)原田酒店
			ウィダーインゼリー@180×80名	14,400	0	14,400	(有)原田酒店（行動食）
						0	
						0	
						0	
						0	
	小　計			200,000	0	200,000	
	懇親会費支出	飲食費支出	コース料理（@4,400円×80名）	352,000	0	352,000	グリーンヒルホテル
			フリードリンク（@2,200×80名）	176,000	0	176,000	グリーンヒルホテル
			サービス料	52,800	0	52,800	グリーンヒルホテル
						0	
						0	
						0	
						0	
	小　計			580,800	0	580,800	
						0	
						0	
						0	
						0	
						0	
						0	
						0	
	小　計			0	0	0	
						0	
						0	
						0	
						0	
						0	
						0	
						0	
	小　計			0	0	0	
	参加記念品代支出					0	
	保 険 料 支 出		レクレーション保険（80名分）	4,000	0	4,000	TN-PLANNING
	通 信 費 支 出			770	0	770	振込手数料（グリーンヒルホテル）
	販売物品仕入支出					0	
	雑　費　支　出		救急セット（6グループ分）	16,000	0	16,000	アマゾンなど
事業予備費支出				19,230			
余　剰　金					250,000		
支　出　合　計				830,800	250,000		

夏期講習発表資料（案）

組織活性化委員会

2021年11月2日

1

活性化している組織とは

①共感者が多数集まっている（会員数の増加）

②活動への参加意欲が高い（出席率が高い）

③組織内部の関係性が良い（活発な意見交換）

2

夏期講習イメージ

2月例会（学び）

・同じ目的意識を持つことの大切さ

・組織内部が親密に繋がることの重要性

夏期講習（体感）

・同じ目的に向かって行動する

・会員同士の**親睦を深める**

2月例会で学んだことを実際にやってみよう！！

3

親睦を深める必要性について

・組織に必要な要素

複数名以上	共通の目的	心理的安全性（相互理解）	意思疎通

親睦が深まる⇒心理的安全性UP⇒活発な意見交換

4

実施内容

西日本最高峰
石鎚山
登山

5

なぜ登山？

①目標が明確(頂上を目指す)

②誰に対しても平等

③助け合いが必要

6

なぜ石鎚山？

①より厳しい環境が、絆を深める

②JC時代でしか体験できない

7

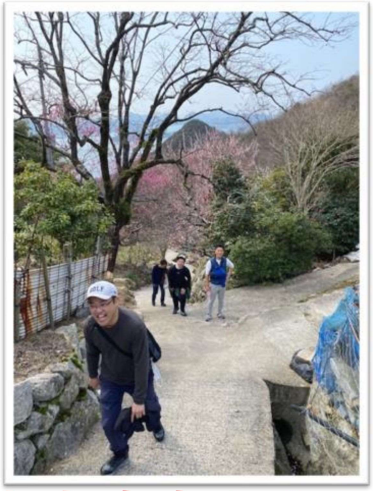
とりあえず
委員会メンバーで
登山してみよう！

8

～鳴滝山編～

〇2021年3月14日（日）　〇標高：402m　　〇天候＝晴れ☀





意外ときつい・・・石鎚山大丈夫か？

9

～石鎚山ロープウェイコース編①～

〇2021年3月25日（木）〇標高：1982m　〇天候＝曇り⛅









副委員長との絆は深まりました！

10

～石鎚山　土小屋コース編①～

○2021年4月14日（水）　○標高：1982m　○天候＝曇り☁










登頂！

11

実は･･･試しに1人で登ってました！



辛い

帰りたい

思考停止

1人だと達成感ゼロ

共感できる仲間の大切さを再認識

12

～石鎚山　土小屋コース編②～

〇2021年４月２１日（水）〇標高：1982m　〇天候＝晴れ







メンバーとの登山は最高でした！

13

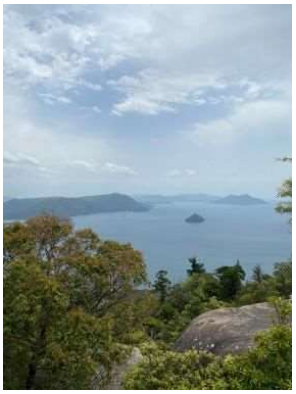
番外編

14

～宮島　弥山編～

〇2021年５月１日（木）〇標高：５３５ｍ　〇天候＝晴れ






あらためて頼れる存在と気付く！

15

～石鎚山　ロープウェイコース編②～

〇2021年５月１１日（火）〇標高：１９８２ｍ　〇天候＝晴れ

吉田副理事長と石鎚登山

なんでも相談できるようになる！

16

伝えたかったこと

17

組織には必ず目的があり

同じ方向を目指すことが必須

18

目的達成
↑
切磋琢磨・応援・協力

19

それが欠けては、
組織は機能しません！

20

だからこそ

親睦を深めることが大切

21

コミュニケーションこそ
組織の原動力

22

組織＝人の集団

人間関係＝信頼関係

23

お互いを理解し合い
認め合うことが大切

24

心理的安全性
（相互理解）

の向上が

活発な意見交換へ！

25

まとめ

26

目的を達成する為に必要な事

27

志を同じうするもの

相集い力をあわせる

28

その為には！

29

共に過ごす

共に乗り越える

かけがえのない経験が人と人が集まる組織を活性化する

30

会員同士の親睦

⇓

心理的安全性の向上
（相互理解）

⇓

組織の活性化

31

尾道JCの活性化

⇓

尾道の活性化

32

ということで・・・

33

11/3(水)

11/6(土)

34

みんなで尾道を
盛り上げましょう！

35

ご清聴
ありがとうございました。

36

一般社団法人　尾道青年会議所　事業報告（案）決算（案）

審議　事項

委員会名：未来ビジョン委員会
委員長名：内海 洋平

（1）議案名
１０月例会　事業報告（案）決算（案）に関する件

（2）事業名
テーマ「楽しもう！地域活性化」

（3）事業実施に至る背景
我々の地域においても人口減・過疎化が進み、若者が流出し、「今の状況の中でやっても駄目なのではないか」「やる人が少ないから」といったマイナス思考な考え方にとらわれる“閉塞感”が増しています。我々のＪＣ活動においても、多くの先輩方から近年の活動に対しどこか物足りなさを伺わされる意見を聞くことがあり、“閉塞感”を感じさせる考えがあったのではないかと考えます。そうした閉塞感が、コロナの蔓延によりさらに大きくなったと感じています。
この状況の中においても、地域の活性化のために何が必要か、考えていく必要があります。

（4）事業目的（趣旨）
ａ．（対外）
ｂ．（対内）“閉塞感”を打破するために、どんな社会情勢でもメンバー一人一人が「今できること」を考え、行動に移すことが最も重要だと考えます。そのためには地域がどういった課題を抱えているかを抽出し、ひとつずつ解決していかなければなりません。講師から地域の課題抽出に対する取り組み・まちに波及する活動をされてきた経験・考えを学ぶことで、その活動に触れ、我々一人一人が前向きに思考していくきっかけとすることを目的とします。

（5）実施日時　２０２１年１０月１４日（木）　１９：００～１９：２０　セレモニー
１９：２０～２０：５０　例会行事
２０：５０～２１：００　セレモニー

（6）場　　所　尾道国際ホテル

（7）参加人員　内部　４９名　　外部　１名　　計５０名
外部内訳（仮入会委員１名）

（8）外部協力者　コミュニティーデザイナー／港の編集室　中尾　圭　氏

（9）事業の目的は達したか？
アンケート結果から「地域活性のための活動の重要性」を認識された方が 86.7%となり、「地域に寄り添い、ニーズを汲みとり、人を巻き込んでいく」という意見が多く見受けられたうえ、「JC 活動の本質に触れた」「JC の活動手法を再考するきっかけとなった」という今後の JC 活動を行う上で参考になった意見もあり、今後の活動に対して「前向き」な思考につながったと考え、目的は達成できたと考えます。

（１０）実施上の問題点

パネルディスカッションでは、会場のメンバーに意見を聞くなど、より参加型の設えとすることでより参加意識を高めることができたのではないかと考えます。

（１１）次年度への引継事項

９月末まで緊急事態宣言が発令されており、国際ホテルでの通常開催、講師を別会場にお招きしてのオンライン、完全オンラインの３つを想定して準備を進めておりました。どのような状況下でも実施できる準備、またオンライン・オフラインの特性を活かした実施内容とする工夫が必要となります。

（１２）委員長所見

尾道青年会議所の例会では４月以来の国際ホテルでの実施が叶い、メンバーが集まる機会となり大変嬉しい思いでした。私たちの委員会の思いとしては、青年会議所内だけでなく地域・コミュニティなどで閉塞感がコロナ禍でより増している中、講師の前向きに課題と向き合い、楽しみながら解決していく思い、考え、実績をぜひ聞いていただきたいと考えておりました。結果としてメンバーから「良かった」「似たようなテーマの講演とは全然違った」という意見をいただくことができ、その思いが閉塞感を打破し、前向きに思考していき、青年会議所として今まさに実行していくべきことや今後の様々な活動につながっていくと感じました。これまでの事業では「青年会議所の価値観」をベースに組み立てられた事業もあったと感じており、今後の活動に対しては、地域の方や他団体と積極的に繋がって意見を交え、「まちに求められていること」をベースに事業構築していくことも必要であり、そういった活動につながっていくことを願っています。最後に様々な意見をいただき、準備を行なってくれた委員会メンバーに感謝いたします。

（１３）添付資料

事業収支計算書（案）
収支予算明細書（案）
アンケート集計（参考資料）

第１２回理事会　　２０２１年　１２月　６日

事業収支計算書（案）

事業名　　10月例会　テーマ「楽しもう！地域活性化」

収入の部

大科目	中科目	小科目	細目	予算額	決算額	差　異	備　考
事業収入	事業費繰入収入	事業費繰入収入		60,000	60,000	0	
	事業費繰入収入	事業予備費繰入収入				0	
	登録料収入					0	
	販売収入					0	
	広告料収入					0	
	負担金収入					0	
	雑収入					0	
補助金等収入	国庫補助金収入					0	
	地方公共団体補助金収入					0	
	民間補助金収入					0	
	国庫助成金収入					0	
	地方公共団体助成金収入					0	
	民間助成金収入					0	
寄付金収入	寄付金収入					0	
	募金収入					0	
収入合計				60,000	60,000	0	

支出の部

大科目	中科目	小科目	細目	予算額	決算額	差　異	備　考
事業費支出	事業費支出	会場設営費支出	人件費支出			0	
			食事代支出			0	
			会場費支出			0	
			設営費支出	7,000	7,000	0	
			運送費支出			0	
			レンタル料支出			0	
		小計		7,000	7,000	0	
		企画演出費支出	人件費支出			0	
			食事代支出			0	
			企画費支出			0	
			演出費支出			0	
			旅費交通費支出			0	
		小計		0	0	0	
		本部団関係費支出	人件費支出			0	
			食事代支出			0	
			会場費支出			0	
			設営費支出			0	
			旅費交通費支出			0	
			通信費支出			0	
			運送費支出			0	
			消耗品費支出			0	
			レンタル料支出			0	
			保険料支出			0	
			渉外費支出			0	
		小計		0	0	0	
		講師関係費支出	食事代支出			0	
			旅費交通費支出			0	
			宿泊費支出			0	
			保険料支出			0	
			諸謝金支出	50,000	50,000	0	中尾　圭さま（交通費、謝礼金込み）
			会合費支出			0	
			記念品代支出			0	
		小計		50,000	50,000	0	
		広報費支出	運営費支出			0	
			会場費支出			0	
			設営費支出			0	
			通信費支出			0	
			消耗品費支出			0	
			レンタル料支出			0	
			作成費支出			0	
			ＰＲ費支出			0	
		小計		0	0	0	
		資料作成費支出	通信費支出			0	
			資料費支出	195	195	0	アンケート用紙印刷
			消耗品費支出			0	
			レンタル料支出			0	
			作成費支出			0	
		小計		195	195	0	
		報告書作成費支出	通信費支出			0	
			資料費支出			0	
			消耗品費支出			0	
			レンタル料支出			0	
			作成費支出			0	
		小計		0	0	0	
		懇親会費支出	人件費支出			0	
			会場費支出			0	
			設営費支出			0	
			旅費交通費支出			0	
			運送費支出			0	
			レンタル料支出			0	
			保険料支出			0	
			飲食費支出			0	
			アトラクション費支出			0	
		小計		0	0	0	
		渉外費支出	役員渉外費支出			0	
			記念品代支出			0	
		小計		0	0	0	
		旅費交通費支出	旅費支出			0	
			交通費支出			0	
			宿泊費支出			0	
		小計		0	0	0	
		参加記念品代支出		0	0	0	
		保険料支出		0	0	0	
		通信費支出		0		0	
		販売物品仕入支出		0	0	0	
		雑費支出		0	0	0	
	事業予備費支出			2,805			
余剰金					2,805		
支出合計				60,000	60,000		

●余剰金　　¥2,805　　については本理事会承認後、事業予備費に繰入れる。

収支計算明細書(案)

事業名　10月例会　テーマ「楽しもう！地域活性化」

＜収入明細書＞

中　科　目	小　科　目	細目	摘　　要	予算額	決算額	差異	備考
事業費繰入収入	事業費繰入収入			60,000	60,000	0	
						0	
						0	
						0	
						0	
			合　　計	60,000	60,000	0	

＜支出明細書＞

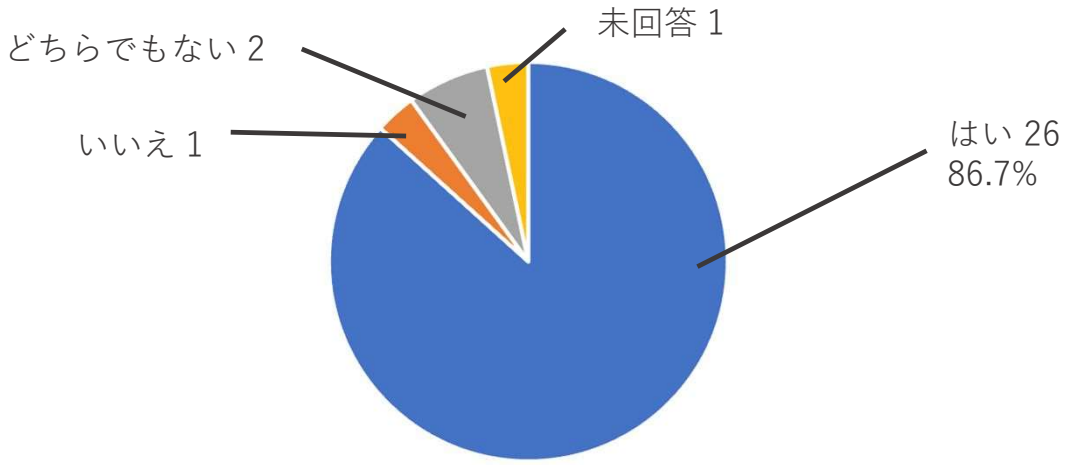
中　科　目	小　科　目	細目	摘　　要	予算額	決算額	差異	備考
事業費支出	会場設営費支出	設営費支出	看板代	7,000	7,000	0	(有)メディアジャンクション
						0	
						0	
						0	
			小　　計	7,000	7,000	0	
	企画演出費支出						
						0	
						0	
						0	
						0	
			小　　計	0	0	0	
	講師関係費支出	諸謝金支出	講演料	50,000	50,000	0	中尾　圭さま
						0	
						0	
						0	
						0	
						0	
						0	
			小　　計	50,000	50,000	0	
	広報費支出					0	
						0	
						0	
						0	
						0	
						0	
						0	
			小　　計	0	0	0	
	資料作成費支出		アンケート用紙印刷	195	195	0	事務局
						0	
						0	
						0	
						0	
						0	
						0	
			小　　計	195	195	0	
	参加記念品代支出					0	
	保険料支出					0	
	通信費支出					0	
	販売物品仕入支出					0	
	雑費支出					0	
事業予備費支出				2,805			
余　　剰　　金					2,805		
支　出　合　計				60,000	60,000		

10月例会　楽しもう！地域活性化アンケート

■出席数・回答率

・出席数：50名
・回答率：78.9%（30／38名）

1.地域活性につながるため「活動を行なっていく」ことの重要性を認識しましたか？



2. 1.での回答について、感じられたことをお聞かせください。

「はい」と答えられた方の回答

・活性化は人の繋がりによって生まれるものだから。漁師とインスタのコラボが面白い
・日常が変わっていくことの大切さを学んだ。
特別な１日を提供するだけでは街は変わっていかないことを学んだ
・楽に行こうぜ！と思った
・街に住んでいる人と話すことでニーズが得られる
・様々な人を巻き込みながら、より良い暮らしをつくる。街にたくさんのプロジェクトリーダーをつくる。
・活動することで実際色々なプラスの効果が出ていて良いと思った。
しっかりした目的を持ってすることが重要だと感じた。
・地域の魅力を再発見することでまちや地域が生まれ変わる一助になると思いました。
その上で重要だと感じた
・活動を行うことで人がつながっていき、それが地域活性になると感じました
・まちをおこさない！！
・その地域に住む１人１人が行動していくことが大切になってくると思いました。
細く、長く、楽しめることをそれぞれの個性を活かしてやっていくことがポイントであると感じました。
・規模やインパクトを求めることも重要かと思いますが、大規模なことではなくても
「まちの人が求めること」を汲み上げて事業構築することも、やはり大切なJCの役割だと感じました。
・JCも団体としてまちづくりを担っているが、本日の講演を聞いて、JCの活動手法を考える（再考）するきっかけとなりました。
・福山という近隣で活動をされている講師の話を聞いて、身近で地域活性化が行われているんだ、という実感を得ることができました。
・地域を助けたいだとか人のために活動したいと思っている人たちだけでなく、やっぱり自分のために動くという人が大多数いると思っているので、それぞれの考え方を尊重されて活動しているところに感銘いたしました。
・その場所の新しい価値を見出せる
・若い人に共感してもらって一緒にできて、引き継げる事業をしたいと感じた。
・地域が活性してないと楽しくない
・１つずつ積み重ねが大事だと感じた
・活動を行なっていくことで、そのイベントの後にも良い影響をもたらすものであると感じました。
・やっぱり地域を動かす人は「よそもの、若者、ばかもの」なのかな
・今できることを考え、実行する
・日常の延長線でイメージできる、共有するという言葉が印象的でした
・地域の魅力を地域の人に認識してもらう。その人たちに魅力を存分に発信してもらう
・課題解決のために動くことで、新しい良い変化が生まれてくることがわかりました

「いいえ」と答えられた方の回答

・地元の内だけでやって活性化されるのか？

「どちらでもない」と答えられた方の回答

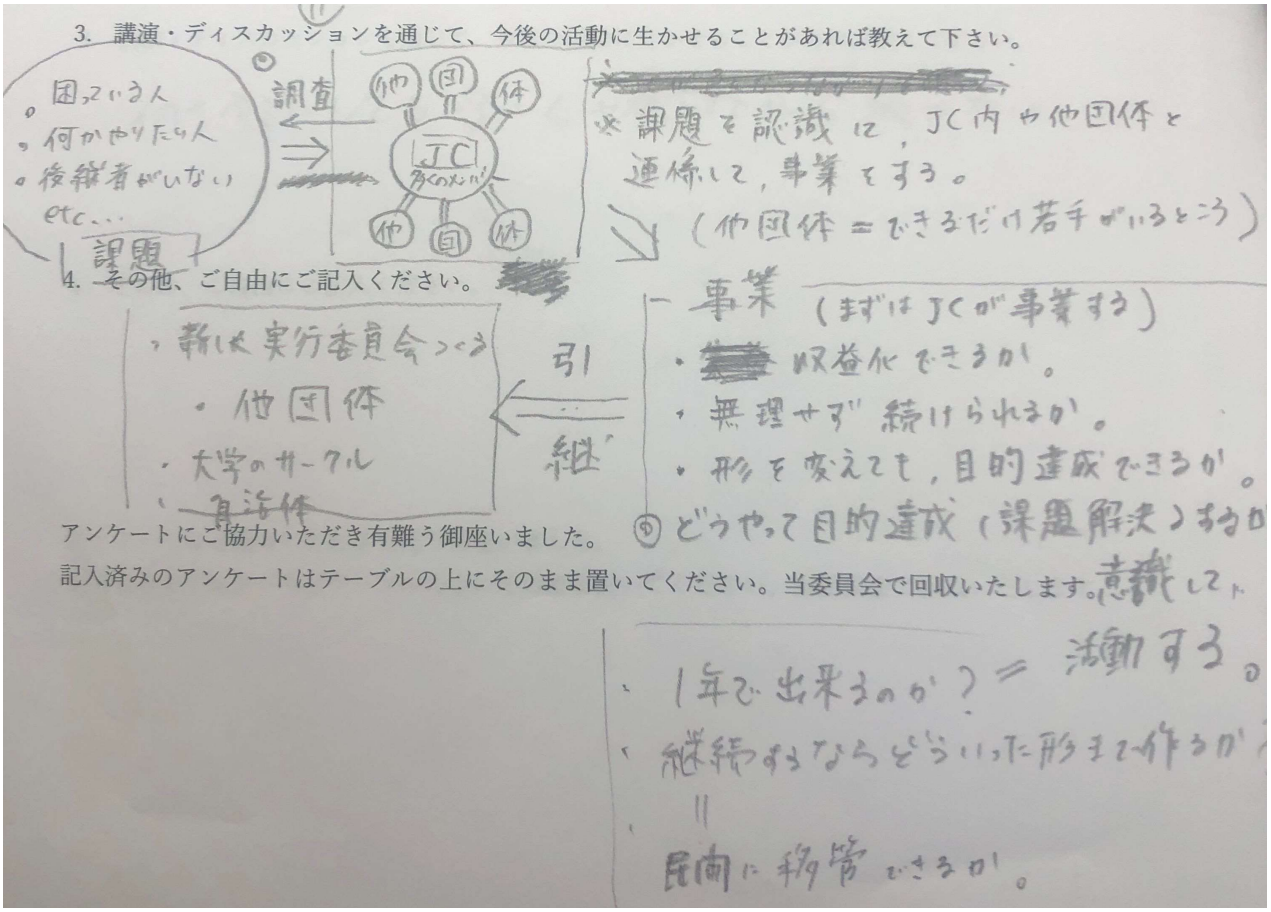
・いいことなんだろう、くらいです。

・活動をしないと、どういったデメリット、もしくはその先にどんな未来があるのか、未だに良く分からない

3. 講演・ディスカッションを通じて、今後の活動に生かせることがあれば教えてください。

・街の人とのコミュニケーションから生まれる事業もある！
活動のモチベーションを上げるため常にコミュニケーションをとる
・大きなことをする、規模を拡大することだけでなく、小さくすることで、
モチベーションが上がったり充実したものができることもある。
・もっともっと自分らしく生きよう。仕事をしようと思った。
・街のニーズを捉えることが大事
・住民自ら動く時代。自分らしく生きる
・人間関係づくりが大切だと分かった。
・事業を通してどんな意見を吸い上げたのか？次世代につなげる方法は？
・身近な課題を解決していくことの重要性を改めて感じました
・より良い場をつくるためには人を巻き込んで自ら動くことが大切だと感じました。
JCでも会社でも必要なことだと考えます
・「2-3年かけて人間関係を築き、実行に移した」というのが印象的でした。今すぐにではなく、もう少し時間ができた時（JC引退後とか）にゆっくり時間をかけて地域のために何かできることを探せればいいなと思いました。お話や考え方はとても面白かったですが、「尾道に当てはめた時」「JCメンバーが今後持つべき心構え」などがあれば良かったと思いました。
・全然縁もゆかりもない人の話を聞いて何かをしようとするのではなく、身近な人が困っていることや喜ばれることをやろうという意識で始めることが大切というお話が参考になりました。
・JCでいう調査について、もっとまちと向き合い、必要な情報を収集しなければならないと感じた。JCの会員内だけで盛り上がり、まちのニーズに合致していないことをしても活性化には繋がらない。大きなイベントの単発ではなく持続する。地域自身が自然と盛り上がるようにするのがJCの役割だと思う。
・青年会議所がいかに恵まれているかを痛感した。人・時間・お金、全てが揃っているからこそ、最高の事業を作っていかなければならない
・何をやるにしても楽しくやらないと続かない
・コミュニティやまちの方とのコミュニケーションが必要だと感じました。
・関係性の構築やイメージ、情報の共有の大切さを再認識し、今後の活動に活かしていきたいと思いました。

・主体性を持って活動を続けて、地域を巻き込んでいくことで変化させていく
・活動を動画にし、アーカイブに残す
・アナログなコミュニケーションを大切にする
・ヒアリングしたことをそのまま解決していく
・細く長く楽しくする、継続性の大切さ
・大きなことを単発的にするのではなく、細くても長く継続させていくことが大切だと思う。
また、必要とされていることや課題などに向き合って共に解決してくことが大切ではないかと思う。
・誰かの顔を思い浮かべてイベントを考えるとうまくいく



4. その他、ご自由にご記載ください

何にせよ、問題を抱えていることはチャンスだと感じた。特に多くの人が世界で同じ問題を抱えていることを解決したら金になる

講師の方の事例や理想は分かったがそれがJCとどう繋がるかが分からない

とても参考になって新しい視点が持てた

閉塞感→Youtube？どう結びついたのか？どのような意見が出たのか？共有できているのか？

コミュニティデザイナーってどんな人？という話の中で「様々な人を巻き込みながら、より良い暮らしをつくる」というお話がありましたが、まさにJC活動にも必要な考え方だと思いました。JC活動の本質に触れたような講演だったと思います。先生が変にキラキラしてない感じが良かった。

良い例会でした！！

今後のJC活動において、貴重な講演が聞けて良かったです。

尾道は尾道人が自燃人となり、盛り上げていきたい

結果の薄い方の話（もお少し先にならないと分からない）で、イメージが湧かなかった

JCにビジネスを取り入れる考えは良いと思いました。めんどくさい事も楽しんで！

■ 考察

・回答者のほぼ全員にしっかりと記述していただき、「活動」に対して考えていただける内容であった

・青年会議所の活動に置き換えて考えられている方、身近な部分や地域について考えられている方、ビジネス的に考えられる方など、様々な捉え方をしていただいた

・青年会議所の活動 = 考え方・アプローチの再考
地域の活動 = 活動の起こし方
について、前向きな意見が多く出ていた

➡ 地域の課題解決となる活動について、様々なヒント・参考になる内容をお聞きいただけたと思います。
今後青年会議所メンバーが、地域の課題解決に取り組む際、本例会で得た知見を活かすことで、より良い事業構築ができることと思います。
そして、青年会議所活動だけでなく、社内・地域社会でも活かして頂ける内容であったと思います。

一般社団法人　尾道青年会議所　事業報告（案）決算（案）

審議　事項

委員会名：未来ビジョン委員会
委員長名：内海 洋平

（1）議案名
活気溢れるまちづくり事業の調査・研究・実践　事業報告（案）決算（案）に関する件

（2）事業名
テーマ「上を向こう尾道 - Show must go on -」

（3）事業実施に至る背景
新型コロナウィルスの蔓延により、人流の抑制により観光客が減少し、地域住民も外食から遠のき、観光業・宿泊業・飲食業などは大きなダメージを受けています。
尾道海岸通り界隈にはそういった業種が集中し、その影響を受けた方が多くおられ、なかなか将来に明るい材料が見出せない状況にあります。

（4）事業目的（趣旨）
ａ．（対外）苦境の中でも、明るさ・癒しを提供することで、地域の方が未来への活力を生む一助とします。
ｂ．（対内）様々な困難がある中でも、地域の方へ向けたまちづくり活動を継続し、 まちの活気を生む一助とします。

（5）実施日時　２０２１年１１月３日（水）　１７：００～２２：００

（6）場　　所　尾道商工会議所・たまがんぞう・尾道市街地

（7）参加人員　内部　４５名　　外部　５１名　　計９６名
外部内訳（仮入会委員１名、飲食店関係者５０名）

（8）外部協力者　尾道商工会議所・有限会社いっとく

（9）事業の目的は達したか？
数値目標としていたＳＮＳ投稿数には達せず、目的は達成できたとは言えません。地域を明るくする取り組みとして緊急事態宣言が明けて早々に行えた事業であり、まちが平時の賑わいを取り戻していいか誰もが模索している中での実施となったが、実施内容に対するイメージ・想定が甘かった部分は否めませんでした。しかしながら、界隈では告知段階から飲食店の来店された方などと話題にしていただき、当日も本事業を目的にまちに出てこられた方が多く、そこから飲食店への来店につながるなど、界隈の活力を取り戻していくきっかけとなったと考えます。また、コロナ禍で先行きが不透明な中でも、柔軟に対応できる事業企画としたことで、事業が無事実施でき、青年会議所としてまちづくり活動が継続できたことにより、地域の活気を生む一助となったと考えます。

（１０）実施上の問題点
・コロナ禍での事業構築であったため「限定的な告知と、集客しない形」での内容としていました。

告知についても内容をあえて伏せたものとし、飲食店等賛同してくれる方からSNS投稿や何らかのアクション（バルーンを見に来る・特別メニューを出す・クチコミを促す等）など自主性に任せていたことが大きかった部分があったと考えます。結果として、十分な反応や反響が得られなかったため、当日昼間にいらっしゃる方への告知やインスタ等での準備段階でのライブ配信など、状況に合わせて手法を検討すべきでした。

・緊急事態宣言後の早々の告知となる中、界隈の方を中心に見に来ていただくことを想定し、チラシ・ポスターを多く準備していなかったため、配布された方・されていない方の公平性に差が生じてしまいました。またコロナの減少により、途中から界隈の飲食店の方を中心に見に来ていただく想定から、来店客に向けての周知をお願いしたため、案内に差があったと考えます。

・バルーンを実際に屋上から上げるシミュレーションを６回行いましたが、想定より高く上げることができず、バルーンの色によりLEDライトの点灯が分かりにくいこと、大量にあげた際にバルーン同士の接触によりライトが切れてしまうことなどがあり、想定よりも明るくすることができませんでした。当日は委員会メンバーの工夫で、上げる箇所の付け替えや接触をしないような変更等を行いましたが、想定のようになりませんでした。

・上記理由により、明るくするためバルーンを多く浮かびあげる方に回してしまい、練り歩き時のバルーンが少なくなってしまいました。集まってきていただいた方、通行者によりもっと配布できればよかったと考えます。

・久しぶりの全体事業となった本事業は天候にも恵まれ、昼のまちはベッチャー祭りの雰囲気もあて、楽しい雰囲気となっていました。しかし、一部しっかりとした段取りや気配り、指示がいきわたらない点もあり、楽しいだけでなく、事業を最大限のパフォーマンスが発揮できるような配慮・心構えが必要であったと考えます。

（１１）次年度への引継事項

コロナ禍の状況が続く場合、告知の方法・ターゲットを切り替えることができるなど、企画内に柔軟な対応を持たせておくことが重要だと考えます。

（１２）委員長所見

委員会メンバーと当事業を協議する際、集客は難しいと考え企画を進めてきました。その中で実施したことは地域の方に「聞く」ことが大切だと考え、様々な人に話を聞きながら、一つの課題に絞り、事業構築に繋げて参りました。メンバーと何度も集まり、地域に明るさをもたらすべく準備をしてきましたが、当日多くの方を感動させるには至らなかったかもしれません。ただし、告知や協力のお礼などで飲食店などと接する中、繋がりの大切さを改めて実感することができました。当日は多くのメンバーにご協力いただけたこと、一緒に取り組めたことが本当に嬉しく感謝申し上げます。

未来ビジョン委員会として最後の事業となりましたが、この委員会メンバーと一緒に考え、取り組むことができたことに感謝しかありません。

(11) 添付資料

事業収支計算書（案）
収支予算明細書（案）
考察資料（参考資料）

第１２回理事会　　２０２１年　１２月　６日

事業収支計算書（案）

事業名　活気溢れるまちづくり事業 テーマ「上を見よう尾道 - Show must go on -」

収入の部

大科目	中科目	小科目	細目	予算額	決算額	差 異	備 考
事業収入	事業費繰入収入	事業費繰入収入		300,000	300,000	0	
	事業費繰入収入	事業予備費繰入収入				0	
	登録料収入					0	
	販売収入					0	
	広告料収入					0	
	負担金収入					0	
	雑収入					0	
補助金等収入	国庫補助金収入					0	
	地方公共団体補助金収入					0	
	民間補助金収入					0	
	国庫助成金収入					0	
	地方公共団体助成金収入					0	
	民間助成金収入					0	
寄付金収入	寄付金収入					0	
	募金収入					0	
収入合計				300,000	300,000	0	

支出の部

大科目	中科目	小科目	細目	予算額	決算額	差 異	備 考
事業費支出	事業費支出	会場設営費支出	人件費支出			0	
			食事代支出			0	
			会場費支出			0	
			設営費支出	219,800	221,700	-1,900	
			運送費支出			0	
			レンタル料支出			0	
		小計		219,800	221,700	-1,900	
		企画演出費支出	人件費支出			0	
			食事代支出			0	
			企画費支出			0	
			演出費支出			0	
			旅費交通費支出			0	
		小計		0	0	0	
		本部団関係費支出	人件費支出			0	
			食事代支出			0	
			会場費支出			0	
			設営費支出			0	
			旅費交通費支出			0	
			通信費支出			0	
			運送費支出			0	
			消耗品費支出			0	
			レンタル料支出			0	
			保険料支出			0	
			渉外費支出			0	
		小計		0	0	0	
		講師関係費支出	食事代支出			0	
			旅費交通費支出			0	
			宿泊費支出			0	
			保険料支出			0	
			諸謝金支出			0	
			会合費支出			0	
			記念品代支出			0	
		小計		0	0	0	
		広報費支出	運営費支出			0	
			会場費支出			0	
			設営費支出			0	
			通信費支出			0	
			消耗品費支出			0	
			レンタル料支出			0	
			作成費支出	40,760	40,760	0	
			PR費支出			0	
		小計		40,760	40,760	0	
		資料作成費支出	通信費支出			0	
			資料費支出			0	
			消耗品費支出			0	
			レンタル料支出			0	
			作成費支出			0	
		小計		0	0	0	
		報告書作成費支出	通信費支出			0	
			資料費支出			0	
			消耗品費支出			0	
			レンタル料支出			0	
			作成費支出			0	
		小計		0	0	0	
		懇親会費支出	人件費支出			0	
			会場費支出			0	
			設営費支出			0	
			旅費交通費支出			0	
			運送費支出			0	
			レンタル料支出			0	
			保険料支出			0	
			飲食費支出			0	
			アトラクション費支出			0	
		小計		0	0	0	
		渉外費支出	役員渉外費支出			0	
			記念品代支出			0	
		小計		0	0	0	
		旅費交通費支出	旅費支出			0	
			交通費支出			0	
			宿泊費支出			0	
		小計		0	0	0	
		参加記念品代支出		0	0	0	
		保険料支出		0	0	0	
		通信費支出		0		0	
		販売物品仕入支出		0	0	0	
		雑費支出		0	0	0	
	事業予備費支出			39,440			
余剰金					37,540		
支出合計				300,000	300,000		

●余剰金　¥37,540　については本理事会承認後、事業予備費に繰入れる。

収支計算明細書(案)

事業名　活気溢れるまちづくり事業　テーマ「上を見よう尾道 - Show must go on -」

＜収入明細書＞

中 科 目	小 科 目	細目	摘　要	予算額	決算額	差異	備考
事業費繰入収入	事業費繰入収入			300,000	300,000	0	
						0	
						0	
						0	
						0	
			合　計	300,000	300,000	0	

＜支出明細書＞

中 科 目	小 科 目	細目	摘　要	予算額	決算額	差異	備考
事業費支出	会場設営費支出	設営費支出	インフレーターレンタル	13,200	13,200	0	イツモ高圧(株)　送料込み
		設営費支出	ヘリウムガス	149,600	149,600	0	(株)不動機工
		設営費支出	バルーン備品(糸など)	21,000	22,900	-1,900	楽天など
		設営費支出	バルーン/LEDセット	36,000	36,000	0	Amazon
						0	
						0	
						0	
			小　計	219,800	221,700	-1,900	
	企画演出費支出	作成費支出	説明用紙	3,000	3,000	0	事務局　@10円×300枚
		作成費支出	Tシャツ	31,600	31,600	0	プリント職人
		作成費支出	ポスターA4 50部、A6　1000部 印刷	6,160	6,160	0	紙誠
						0	
						0	
						0	
						0	
			小　計	40,760	40,760	0	
	講師関係費支出					0	
						0	
						0	
						0	
						0	
						0	
						0	
			小　計	0	0	0	
	広報費支出					0	
						0	
						0	
						0	
						0	
						0	
						0	
			小　計	0	0	0	
	資料作成費支出					0	
						0	
						0	
						0	
						0	
						0	
						0	
	参加記念品代支出					0	
	保険料支出					0	
	通信費支出					0	
	販売物品仕入支出					0	
	雑費支出					0	
事業予備費支出				39,440			
余　剰　金					37,540		
支　出　合　計				300,000	300,000		

【上を向こう尾道 – Show must go on- 】考察資料

ハッシュタグ投稿について

■SNS収集数

投稿数：合計15投稿
- インスタグラム：13
- フェイスブック：１
- ツイッター：１







■要因と委員会初見

・6回のシミュレーションより高く上げることができなかった
・想定よりライトが光らない風船が多くあって光が少なかった
　（光っていても風船のカラーにより目立たなかった）
・風船の量が少なく感じられた
　※割れるなどして、商工会議所 800個予定が700個、たまがんぞう 400個予定が350個ほど
→「映（ば）える」状態に持っていけず、SNSでの投稿に繋がらなかった

・上げる風船量が少なく感じられたため、練り歩き用の数量が減ってしまった
→練り歩きの際の配布は大変喜んでもらえたため、数量を確保したほうがよかった

飲食店からの声

20店舗から集計（来店・SNSなどで集計）

■当日バルーンを見に行ったか？
はい・・・・4
いいえ・・・16

■理由
「はい」の方
・店舗が休みだったので子供と一緒に見にきた
・営業中に見える位置にあった（２）
・楽しみにして待っていた

「いいえ」の方
・来店が多く、お店を開けることができなかった（１３）
・忘れていた（３）

■感想
・難しい時期だっただろうが、こういう取り組みをしてくれてありがたかった
・お客さんなどとSNSで盛り上がった。もう少し綺麗かと思った。
・わざわざバルーンを見に来た方がお店に来てくれた
・風船を持って人が歩いてる姿がよかった
・見てないけど、おかげでお店が忙しかった
・花火じゃない形で考えてるのがよかったと思う
・ベッチャーの日で、ベッチャーが短い分、夜にしてくれてありがたい
・子供が風船をもらって喜んでいた
・もっとお店側と連動した企画をしてほしい
・もっと派手にやってほしかった

※似たような感想はまとめています

メディアへの掲載：尾道新聞



尾道水道上空に光る風船

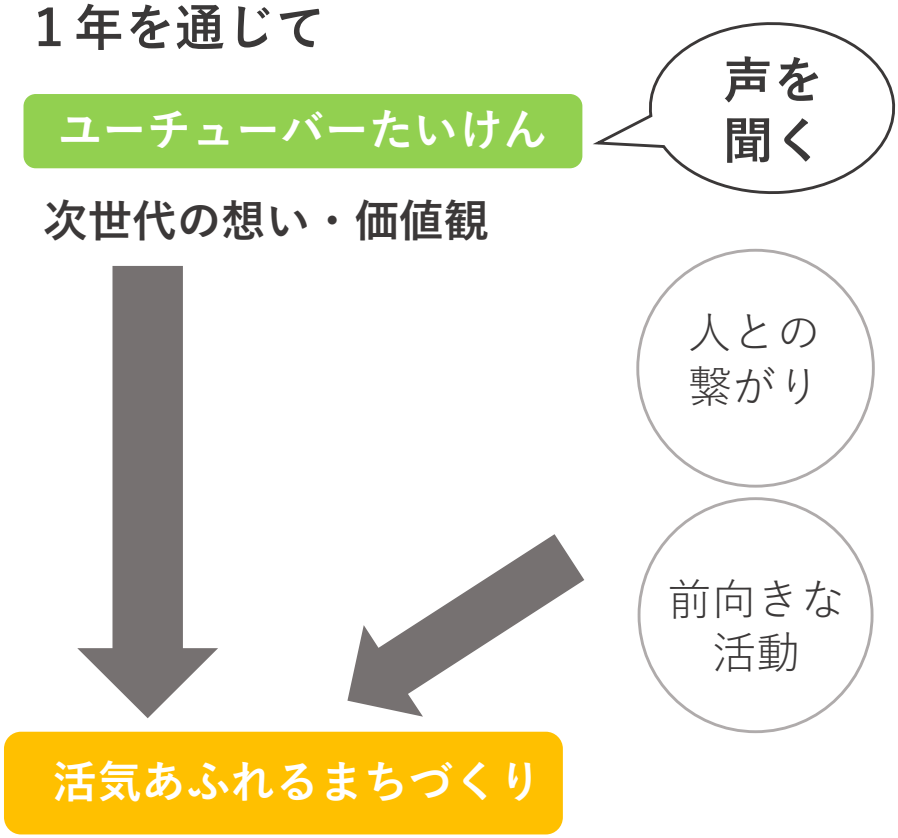
尾道「上を向こう尾道」を合言葉に

尾道水道に舞い上がるバルーン

尾道青年会議所（安　日夕方から夜にかけ　る風船、LEDバルー　楽城大作理事長）は3　て、尾道水道上空に光　ンを放った。

土堂2丁目　尾道青
工会議所の屋上からは、
800個、土堂1丁目、
和風居酒屋たまがん
ぞうの屋上からは400
0個の計1200個の
バルーンを放った。
バルーンにはLED
豆電球をつけ、夜にな
ると赤、青、黄色、緑の
風船が色鮮やかに、尾
道水道の上空を舞い、
多くの市民や観光客
の目を楽しませた。
予告なしのイベント
で皆んな、一瞬びっく
り。スマホで写真を
撮ったり、ベンチに腰
掛け、夜空を漂うバ
ルーンを心ゆくまで見
つめていた。
コロナ禍でとかく、
内向きになりがちな、
みんなの気持ちを前向
きにしようと、「上を向
こう　尾道」をテーマ
に光る風船を飛ばし
た。　（平田元気）

１年を通じて



「アクティビティ=活気・活動」 「人と交流・繋がり」
心に残る「体験」をキーワードに、 地域の活気になる事業を。

本年、未来ビジョン委員会は上記の流れをベースに活動を行い、事業構築を行って来ました。
本事業では、これまでの事業・例会で聞いた意見・学んだことを踏まえ、緊急事態宣言下であろうとも、心に残る「体験」を地域の方々にお届けるでき、前向きになれる「活気」につながるよう、まちの方と繋がりたくさんの意見を聞きながら、委員会自身が「前向きな活動」を行い、事業構築を目指してきました。
地域の方が、少しでも明るく前向きとなった反応を聞くことができ、今後もどのような状況でも青年会議所として「前向きな活動」を継続していくことにつなげていきたいと考えます。

一般社団法人　尾道青年会議所　事業報告（案）決算（案）

審議事項

委員会名：社会開発委員会
委員長名：大池　慎三

（1）議案名

災害に強いまちづくり事業の調査・研究・実践　事業報告（案）決算（案）に関する件

（2）事業名

テーマ　「楽しく学ぼう防災ダンジョン」

（3）事業実施に至る背景

近年、異常気象から自然災害が全国で多発しています。未来を担う子供、家族や市民が防災について学ぶ、また啓発できる場が必要です。

（4）事業目的（趣旨）

ａ．（対外）子どもに防災について興味を持たすことで，家庭内での会話を通じて大人に対して防災意識の啓発ができます。また大人を含めた地域全体の防災力向上につながるとともに、災害に強いまちづくりの一助にします

ｂ．（対内）教え説明することで防災意識をより学ぶことを目的とします

（5）実施日時　　２０２１年　１１月　６日（土）　１０：００～１５：００

（6）場　　所　　駅前緑地帯

（7）参加人員　　内部　２１名　　外部　４９５名　　計　５１６名

（外部内訳：　尾道市立大学シグマソサエティ同好会　６名
事前予約者３００人　当日参加者１８９名　）

（8）外部協力者　尾道市立大学シグマソサエティ同好会
尾道市社会福祉協議会　尾道市役所

（9）事業の目的は達したか？

参加者に疑似体験の説明等を担当メンバーが全員事前共有することにより事業のスムーズな運営をすることができ同時に防災の意識を高めることができました。

予定していました、事前予約者１００組、当日参加者５０組を加えてもれなく参加していただくことができました。また当日の受付混雑状況を見て、臨機応変に対応してくれたメンバーのおかげで、合間を縫ってさらに１３組の方に参加していただきました。また参加者やメンバーから怪我もなく、無事事業を終えることができました。

そして、アンケート結果から疑似体験を家族で参加することにより、大人より子供のほうが防災に詳しかったことが分かったり、実際疑似体験することで、想定していた災害時の歩きにくさに加え、子供を連れての避難のしにくさや煙が充満している際の恐怖、また、疑似体験や問題を自分事として考えて火事の際の備えや水害の時の備え、自分に置き換えて真剣に考えてもらえたアンケート結果となりました。以上を踏まえ、家族や市民に防災力を向上してもらうことができ、

災害に強いまちづくり事業としての目的は達成されたと考えます。

(10) 実施上の問題点

事前予約で１００組の方が予約できるようにしておりましたが。私の予約方法が分かりにくかったせいで、間違えて一人の方が重複して予約を取られていることがありました。こちらから、メール等でご案内をして訂正等させていただきましたが。予約システム等使う際には、参加者の立場となってもっと予約方法を決める必要がありました。

(11) 次年度への引継事項

尾道駅前緑地帯で、ダンジョンのような大型の構造物を設置する場合には、芝生を傷める可能性の有無や設置する設備の安全性を確認把握し管理している港湾振興課の方に完璧に安全だと理解してもらえる資料づくりが必要です。

緑地帯を使う場合は、使用料の減免や管理団体への説明が容易になるため、事前に尾道市の後援を受けることをお勧めします。

またコロナ禍の状況下でありますので参加人員が不確定なイベントを行う場合には、事前に広島県の全国的又は大規模イベントに係る事前相談書を提出することをお勧めします。

テント、椅子、机は、社会福祉協議会からお借りしたため費用についてはかかることはありませんでした。

(12) 委員長所見

この度の防災ダンジョンを緑地帯で行うことで様々な問題がありました。まず、芝を傷める事や、送風機設置に伴い風の安全性や、緑地利用者への影響、コロナ禍での集客やその人数や、予約方法に悩まされました。

自分の得意分野でない部分を委員会メンバーに共有していなかったことで委員会運営も、うまくいってない部分もありました。もっと、メンバーを頼り巻き込んで事業を行えればよかったと思います。

そのような中で緑地帯にこだわり色々な方にご迷惑をおかけしましたが、緑地帯で楽しく学ぶ防災事業を行えて本当に良かったと思っています。

また、アンケートの中に、またやってほしい、学校でやってほしいという意見もありました。このような参加者からの声を聞くと報われる思いと、ご協力いただいたメンバーの皆様に感謝の気持ちでいっぱいになります。事業を行えて本当によかったなと思います。

また、ダンジョンを設置していただきました、Ｈｏｍｅ　Ａｓｓｉｓｔ様が私たちのJCの活動に共感していただき代金はいらないとのことになりなりました。

そのご好意をいただき決算に上程させていただきました。

私は忘れないということが一番の防災だと思います。この思いを受け継いでいってほしいです。

(13) 添付資料

事業収支計算書（案）

収支計算明細書（案）

アンケート集計　(案)

事業風景写真　(参考資料)

緑地帯使用港湾提出書類　(参考資料)

第１２回理事会　　２０２１年　１２月　６日

事業収支計算書（案）

事業名　　楽しく学ぼう防災ダンジョン

収入の部

大科目	中科目	小科目	細目	予算額	決算額	差　異	備　考
事業収入	事業費繰入収入	事業費繰入収入		250,000	250,000	0	
	事業費繰入収入	事業予備費繰入収入				0	
	登録料収入					0	
	販売収入					0	
	広告料収入					0	
	負担金収入					0	
	雑収入					0	
補助金等収入	国庫補助金収入					0	
	地方公共団体補助金収入					0	
	民間補助金収入					0	
	国庫助成金収入					0	
	地方公共団体助成金収入					0	
	民間助成金収入					0	
寄付金収入	寄付金収入					0	
	募金収入					0	
収入合計				250,000	250,000	0	

支出の部

大科目	中科目	小科目	細目	予算額	決算額	差　異	備　考
事業費支出	事業費支出	会場設営費支出	人件費支出	27,500	27,500	0	㈲エイチ・アイカンパニー
			食事代支出			0	
			会場費支出			0	
			設営費支出			0	
			運送費支出			0	
			レンタル料支出			0	
		小計		27,500	27,500	0	
		企画演出費支出	人件費支出			0	
			食事代支出			0	
			企画費支出	141,350	31,350	110,000	(株)リョーキ
			演出費支出	10,550	9,230	1,320	シート　手袋
			旅費交通費支出			0	
		小計		151,900	40,580	111,320	
		本部団関係費支出	人件費支出			0	
			食事代支出			0	
			会場費支出			0	
			設営費支出			0	
			旅費交通費支出			0	
			通信費支出			0	
			運送費支出			0	
			消耗品費支出			0	
			レンタル料支出			0	
			保険料支出			0	
			渉外費支出			0	
		小計		0	0	0	
		講師関係費支出	食事代支出			0	
			旅費交通費支出			0	
			宿泊費支出			0	
			保険料支出			0	
			諸謝金支出			0	
			会合費支出			0	
			記念品代支出			0	
		小計		0	0	0	
		広報費支出	運営費支出			0	
			会場費支出			0	
			設営費支出			0	
			通信費支出			0	
			消耗品費支出			0	
			レンタル料支出			0	
			作成費支出	43,780	43,780	0	紙誠(株)
			ＰＲ費支出			0	
		小計		43,780	43,780	0	
		資料作成費支出	通信費支出			0	
			資料費支出	3,936	3,936	0	事務局
			消耗品費支出			0	
			レンタル料支出			0	
			作成費支出			0	
		小計		3,936	3,936	0	
		報告書作成費支出	通信費支出			0	
			資料費支出			0	
			消耗品費支出			0	
			レンタル料支出			0	
			作成費支出			0	
		小計		0	0	0	
		懇親会費支出	人件費支出			0	
			会場費支出			0	
			設営費支出			0	
			旅費交通費支出			0	
			運送費支出			0	
			レンタル料支出			0	
			保険料支出			0	
			飲食費支出			0	
			アトラクション費支出			0	
		小計		0	0	0	
		渉外費支出	役員渉外費支出			0	
			記念品代支出			0	
		小計		0	0	0	
		旅費交通費支出	旅費支出			0	
			交通費支出			0	
			宿泊費支出			0	
		小計		0	0	0	
		参加記念品代支出		0	0	0	
		保険料支出		17,100	17,100	0	行事参加者の傷害危険担保契約
		通信費支出		0	0	0	
		販売物品仕入支出		0	0	0	
		雑費支出		0	0	0	
	事業予備費支出			5,784			
余剰金					117,104		
支出合計				250,000	250,000		

●余剰金　　¥117,104　　については本理事会承認後、事業予備費に繰入れる。

収支計算明細書(案)

楽しく学ぼう防災ダンジョン

＜収入明細書＞

中 科 目	小 科 目	細目	摘 要	予算額	決算額	差異	備考
事業費繰入収入	事業費繰入収入			250,000	250,000	0	
	事業予備費繰入収入					0	
						0	
						0	
						0	
			合 計	250,000	250,000	0	

＜支出明細書＞

中 科 目	小 科 目	細目	摘 要	予算額	決算額	差異	備考
	会場設営費支出	人件費支出		27,500	27,500	0	㈲エイチ・アイカンパニー
						0	
						0	
						0	
						0	
						0	
						0	
			小 計	27,500	27,500	0	
	企画演出費支出	企画費支出	足場代	110,000	0	110,000	(株)Home Assist
	企画演出費支出	企画費支出	送風機 発電機	31,350	31,350	0	(株)リョーキ
	企画演出費支出	演出費支出	シート	7,040	7,040	0	安全・保安用品.com
	企画演出費支出	演出費支出	手袋	2,190	2,190	0	楽天市場
	企画演出費支出	演出費支出	マスク子供	550	0	550	楽天市場
	企画演出費支出	演出費支出	マスク大人	770	0	770	ストアーエキスプレス
			小 計	151,900	40,580	111,320	
	資料作成費支出	資料費支出	クイズ問題	21	21	0	事務局3×7
	資料作成費支出	資料費支出	アンケート用紙	1,350	1,350	0	事務局3×3×150
	資料作成費支出	資料費支出	啓発写真プリント	150	150	0	事務局3×50
	資料作成費支出	資料費支出	当日受付の対策用紙	150	150	0	事務局3×50
	資料作成費支出	資料費支出	解答用紙	450	450	0	事務局3×150
	資料作成費支出	資料費支出	広島コロナQRコード	15	15	0	事務局3×5
事業費支出	資料作成費支出	資料費支出	問題解説	1,800	1,800	0	事務局3×4×150
			小 計	3,936	3,936	0	
	広報費支出		チラシ7000) ポスター(100	43,780	43,780	0	紙誠(株)
						0	
						0	
						0	
						0	
						0	
			小 計	43,780	43,780	0	
						0	
						0	
						0	
						0	
						0	
						0	
						0	
			小 計	0	0	0	
	参加記念品代支出					0	
	保険料支出	保険料支出	傷害保険	17,100	17,100	0	東京海上日動パートナーズ
	通信費支出					0	
	販売物品仕入支出					0	
	雑費支出					0	
事業予備費支出				5,784			
余剰金					117,104		
支出合計				250,000	250,000		

尾道青年会議所合同事業
「楽しく学ぼう防災ダンジョン」（アンケート集計）

○大人用アンケート

Q１　災害を疑似体験したことで、何か得られたものはありましたか？
有効回答数 139 件

内容	得られるものがあった１３９件	得られるものがなかった０件
	≪得られるものがあった≫　（一部抜粋） ・煙の中を歩き進むのがとても難しいと体感できた ・今まで思っていたことが間違いだったということが多々ありびっくりしました。いい体験ができました。 ・知らないこともあったのでためになりました。 ・煙の中を歩くのは前が見えなくて不安になりました。 ・体験出来て実感できた ・災害の怖さを知ることができた ・風速３０メートルの風の強さを改めて実感した。煙の中の怖さを初めて知った ・普段から避難場所や備えが大事だと思った ・火災の煙があんなに視界を悪くするとは思いませんでした。冠水も実際起きたらと思うと恐怖を感じました。今まで以上に子供たちと防災の意識を高めようと意識しました ・長男が煙の中すぐに「低い姿勢で！」と先頭を切っていった、すごい！大人でもよくわからないことが多かった ・煙の体験があそこまで見えにくいとは思わなかったです。 ・実際体験してみないと分からないので子供に良い体験になった。 ・正直自分も分からないことがあり、子供に聞かれても答えれなかった部分があった。子供と一緒に体験し考えることに本当の災害に対しお互いがどの様に行動したら良いかを教えることができた。 ・煙が初めてでした。	
	≪得られるものがなかった≫ なし	

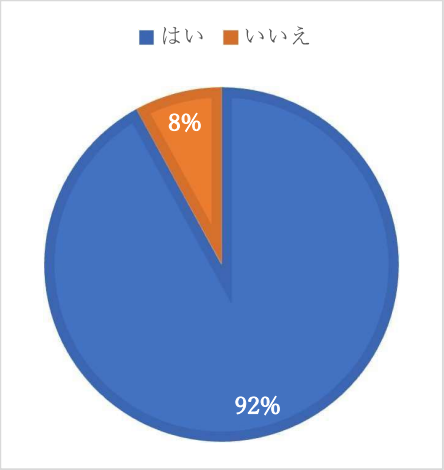
大人用アンケートの Q１に記入いただいた回答内のキーワードを抽出した結果、煙が５０件、怖い２３件、風１３件となり、学校での避難訓練でも体験できないリアルな水蒸気の演出は非常に効果が大きく、引率者も含め非常に大きな反響がありました。このような取り

組みは我々青年会議所だからこそできることだと思いますので、次年度以降に引き継ぎたいと思います。

Q２　ハザードマップで自分の住んでいる所を確認したことはありますか？

有効回答数１６３件

はい１５０件　いいえ１３件

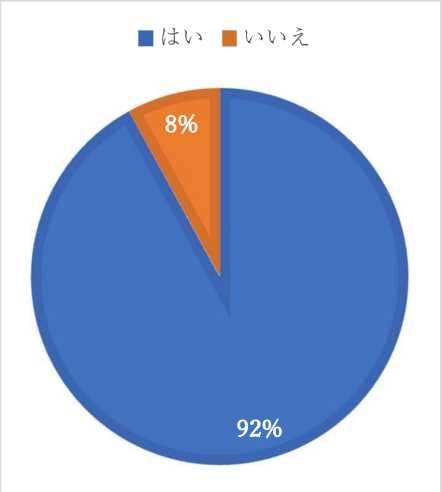


尾道のまちは直近では西日本豪雨災害の影響もあり、災害経験者が非常に多いことから防災意識の高いことが窺がえました。

Q３　マイタイムラインをご存知ですか？

有効回答数１６３件

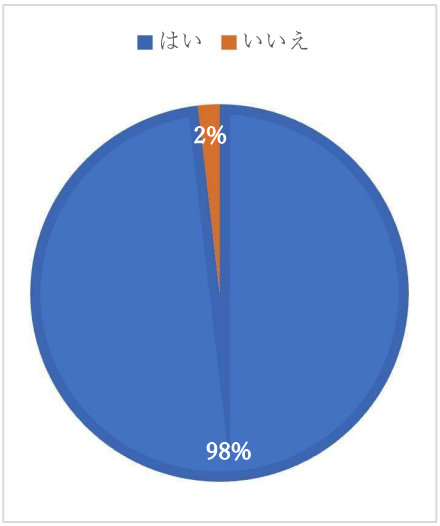
はい１５０件　いいえ１３件



マイタイムラインそのものを知っている方が非常に多い結果となっています。いざというときに慌てることがないよう、避難に備えた行動を一人ひとりがあらかじめ決めておき、適

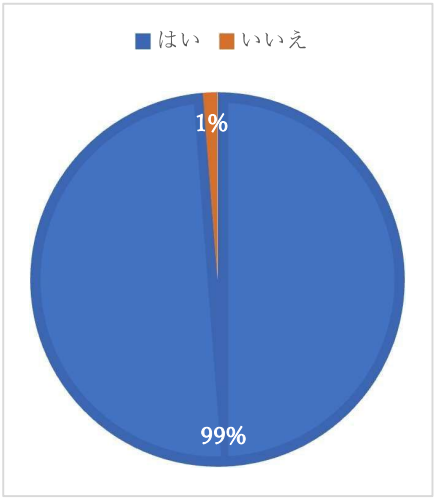
切な行動ができるよう事前に整理しておきましょう。

Q４　このような防災イベントがあれば参加しようと思いますか？
有効回答数１６３件
はい１６０件　いいえ３件



防災における最大の備えは、経験を忘れないことだと思いますので、その意識付けという点においては非常に良い傾向があると思います。

Q５　今日知ったことを、家族や友達に教えてあげようと思いますか？
有効回答数１６３件
はい１６１件　いいえ２件



Q４と関連するところですが、防災の伝承というものは大切なことですので非常に良い傾向

であると思います。

Q６　防災ダンジョンを通り、あなたの防災意識はどう高まりましたか？
有効回答数１３４件

内容	（一部抜粋） ・高まりました ・とても高まりました ・いざ、災害が起こってからでは慌てるので、前もって準備をしておく必要があると思いました ・いつ起こるか分からないと改めて感じ備えておこうと思いました。 ・常に意識しておきたいと思いました ・水害と火災と台風が思ったより危ないということがわかったので本当に舐めないほうがいいと思った。 ・自分に関係ないもしくは自分は大丈夫だと思っていましたが、意識を高めていく必要を感じました ・子供を連れて逃げるということを考えると普段からもう少し考えなければならないと思った。 ・水害など体験的にこんなに歩きにくいということが分かったので今後の行動が変わると思う ・クイズで意外と知っているようで知らない事がたくさんありました。特に水があるところを歩くところや煙、風速などです。実体験はよかったです ・高まりました！考えるきっかけになりました ・火災体験がとても考えさせられました。ニュースでいつもなぜすぐに逃げないのかと思っていましたが、実際にあの視界の場合パニックになるとおもいます ・親として防災意識はありましたが、子供も少し意識してくれるようになった所が貴重でした。 ・水害時歩くのが大変なのが分かりました。備えをしておこうと思いました。 ・風速３０ｍの風の体験が良かったこんなに強いとは思ってなかった。 ・子供に教えるために学ぼうと思った。 ・高まりました２択問題が意外に難しかったです。 ・家族と共有しておこうと思いました。 ・水害体験では思った以上に歩きづらく火災体験では見えないことに恐怖もありました ・考えているのと実際に体験するのでは違いとても勉強になりました ・煙の体験が一番印象に残った

有効回答の大半が「意識が高まった」、「良かった」という結果となりました。

Q７　ご意見、ご感想などございましたらご記入ください

有効回答数９５件

内容	（一部抜粋） ・楽しかったです ・楽しく学べました。ありがとうございました。 ・良い経験ができました。ありがとうございました。 ・台風体験がやばい ・実際問題になると分からなかったことが多かったので復習したい 是非続けてほしいです ・すごい企画ですね！！近隣の市町でも実施されるといいのにと思いました。 ・また同じような（大人も参加できる）イベントを行ってほしいです ・良いイベントだと思いました ・風が怖かった。何もできず子供を守るのに必死でした ・予約がすぐに埋まってしまい友達と一緒に行けず残念、とても大切なことが学べたのでまた開催してほしい ・煙の中を体験することはなかなかないので貴重な経験有難うございました いざという時にパニックになると思う、父母の間で認識の違いもある。今後もこういうイベントに参加し意識を高めていきたい（見るとするでは子供にとっても違うし） ・また学校等で行ってほしいです ・今日はありがとうございました。貴重な体験が子供と一緒にできてとても良かったです ・子供は実体験が大事なんだなと思いました ・遊び感覚で子供に伝えやすかったです ・また機会があれば参加したいです、ありがとうございました ・このような体験をしなければわからないことばかりだったので良い体験でした。 ・子供に合わせて駆け足で終わったのですがとても楽しかったです、ありがとうございました ・楽しく参加させていただきました。子供が興味を持って参加できたことが良かったと思います ・水害時火災時風体験とても良かった ・小学生チームでも子供たちが読めるようにひらがな付きがよかったです ・災害体験することで災害対策について考える機会ができたので良かった

心温まる回答がたくさんありました。

○子供用アンケート

Q１　台風を体験してどんな風でしたか？どう思いましたか？

有効回答数１７６件

内容	（一部抜粋） ・思っていた。学校の理科で習った風よりも強くてびっくりした。 ・手すりがないと吹き飛びそうでした ・動くことができなかった ・台風はこんなに強い風だと分かりました。 ・さむかった、目がちかちかした、目が開けにくかった、息がしにくかった ・強くて飛びそうだった、寒かった ・とても強くて人間が吹き飛びそうな風でした ・強い風でした手すりがないと吹き飛ばされるほどでした。ちゃんと気を付けていきたいです ・台風は風が強いから今度台風が来たときは気を付けようと思いました ・目が開けられないくらいすごい風だった ・ジェットコースターに乗っているみたいだった ・強くてすっごく怖かったのでもし本当にあったら準備を急いでして避難したい ・しゃべれないくらいだった ・前を向いてしっかりと目を開けられない。息も少ししにくかった ・棒を持っていなかったら吹き飛んでいると思います、リアルでスゲー ・台風が来たら一生外に出ない ・めっちゃ風が強い ・風が強くて前に進めなかった、もし台風がきたら木の枝が飛んでいきそうで怖かった ・思ったより風が強くてびっくりしました。 ・強い風もしこんなことになったら大変、風ってすごい ・とても強かったです。帽子を持っていなかったら多分飛んでいた ・すごい風が強くてどこか持っておかないと立っていられなかった ・顔が飛んでしまいそうなくらい強い風だった ・マスクが外れて前に歩けなかった。 ・こんな風になるって知らなかった

	・こんなのがあったら危ないと思いました

風が弱いうちは楽しんでいる子供も多かったが、風速３０メートルに近づくにつれ、恐怖を感じて逃げ出してしまう子供がいました。台風の猛威を体感していただけたと思います。

Ｑ２　水害を体験して、どうでしたか？
有効回答数１７１件

内容	（一部抜粋） ・楽しかった ・深かった感じ ・手すりをしっかり持たないと歩けなかった。歩きづらい。 ・足が沼にはまったら大変になるということが分かった ・思ったより進みにくかったです。絵にかいてあった通り、棒のような長いものを持っといたほうがいいと思いました ・足が動かしにくい、足が上がらなかった ・水害になると足元の所や先の道が見えなくて、それに深さも分からないから水害がどれだけ恐ろしいか分かった ・足が見えなかった。浅いほうは足が見えました ・足がどんどん沈んで歩きにくかった。どこに何があるか分からないから危ないと思った ・本当の水害だったら波があるから人は倒れそうだなと思いました ・足と一緒にボールがついてきて歩きづらかったです ・確かに深い所や浅い所があって足で最初に確かめたらいいのが分かりました。 ・深い所は杖や木の枝や傘などで探りながら動いていきたい。 ・凸凹ですごく滑りやすかったからまた行きたい。 ・深いところとあさいところの見分けがつかなくて危ないと思った ・深いところと浅いところなどが分からないからびっくりした ・地面がどれほど深いかもわからなかったので、怖かったです ・溝やマンホールなど足で確かめていました ・冠水時にはここまで歩きにくいのかと思うととても驚きました ・下にズボっと足がはまってこけそうだった ・めっちゃ気を付けないと歩けない ・面白かった！ボールがとびだした、目に見えないところに段差があって怖かった ・下が見えなかったから急に沈んでいきました、下が見えなかったら急に下に沈んだら溺れそうで心配でした ・下が見えなくて怖かった ・沼みたいだった

実際の泥ではなく、ボールを敷き詰めて疑似体験をする形でしたが、特に小さい子供は全身が埋まってしまうくらいの状態となり恐怖を感じながら進んでいました。

Ｑ３　火災体験はどうでしたか？

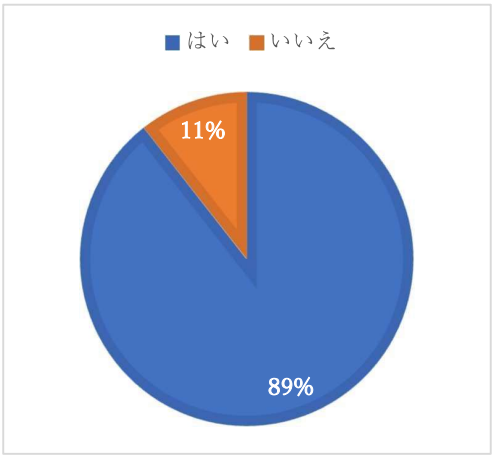
有効回答数１７０件

内容	（一部抜粋） ・前が見えない ・少し怖かった ・床に近いと有利 ・白い煙で見えにくかった ・水蒸気だからと言って全然見えませんでした。これが煙だった場合、当然パニックになると思いました ・前が全然見えなかった ・矢印をたどってくださいと言われたが白くて矢印が見えなかった ・火災が起こると目の前がほとんど見えなかった。本当の火災だったら息もしにくい状況だったから火災がとても恐ろしいと思った。 ・煙がすごくて本物の煙だったら火の熱があるし見にくくなるから気を付けたい ・上のほうは見えにくかったけど、下のほうはよく見えました。煙が白くて前が見えづらかった ・人と数十センチ離れると見えんようになった ・息がしづらくて周りが見えなかったので壁を探りながら歩いた。周りが見えなくて息もしづらかった ・周りが見えなくびっくりした本当なら動けないと思う ・煙があって前が見えなかった ・左の壁に沿って行けばいいよ。君もやってみよう。 ・低い姿勢で動いているときかすかに道が見えた。 ・大事なことが分かった ・煙が多いところは周りが見えなくて壁に当たりそうだった ・しゃがまないと見えない、パパがどこにいるかわからなくなった ・とても見えにくくて進みにくかった ・前が見えなくて危なかった ・煙で前が見えなかった ・見えなくなった場所を歩く練習ができて良かった ・煙で見えなくて違うところに行ってしまった、この火災のようなのを体験してもしこういうことが起きたら友達に教えて一緒に頑張ろうと思った

今回の子供用アンケート全体での記入いただいた回答内のキーワード抽出数で多かったものは大人のアンケートと同様に「見えない」「煙」「怖い」というものが上位となりました。

Q４　今日経験したことを、お友達に教えてあげれるかな？
有効回答数１７０件

はい１５２件　いいえ１８件



非常に多くの教えてあげたいという回答がありました。
中には教えたいけど恥ずかしくて教えてあげられないという回答もありましたが、多くの子供に防災のことについて周りの人に伝えたいという思いがあるという結果となりました。

事業風景写真












BREAKING
NEWS
速報
おのみちしない ぜんいきで
きんきゅう あんぜんかくほがはつれい！




ニュース速報
楽しく学ぼう


尾道市総合福祉センター




入口







緑地帯使用　安全対策

（一社）尾道青年会議所
社会開発委員会
委員長　大池慎三

コロナ対策

①受付時の検温・消毒の実施
⇒37.5℃以上の方は、帰宅していただきます。

②受付時にマスク着用のアナウンス実施

③ダンジョン内の3密を回避するために、時間差での入場制限を実施

④ダンジョンは開放空間にて設計
⇒天井なし、壁面はメッシュ素材を使用　※下記施工例参照







コロナ対策２

⑤受付時使い捨て手袋を配布

⑥集客方法を１０分置きの予約制にして、密にならない開始時間にする。一組約３名を想定しています。

⑦受付時密にならないよう、並んでいただく間隔を２ｍ確保

⑧ダンジョン内スタッフと無線機連絡で参加者が接触ない様調節してスタートする。

風水害体験

※泥道体験では【カラーポール】道幅９００mmの通路に手すりを設置します。よろけて転倒しないように、体験の際は必ず手すりをもって通行していただきます。さらに、転倒する恐れがある所には、足場養生材を設置します。

火災体験

視界が悪い道を歩いて貰いますので、走らず慌てないように注意喚起いたします。

台風体験の安全確認

※送風機出口は気象庁でいう猛烈な風がでますので風速を制御できるインバーターをつ最のボリュームつけます。前日に風速試験、安全確認のため試験体験を行い安全な距離を確認して参加者に安全な台風体験をしていただきます。

※また、いつでも停止できるよう送風機スイッチのON　OFFできる場所にスタッフを配置します
※SFファン風力体験動画　https://youtu.be/6W1_IvPdnTc
※送風機設置場所関係者以外が入れないように、立ち入り禁止とし、バリケード【トラロープで囲います】風が出る方向は海に向け緑地使用者等の影響を無くします。

ダンジョン安全対策①

骨格に使用する部材は『ジャッキベース+鉄材』を使用し、立体的に組み立てを行います。



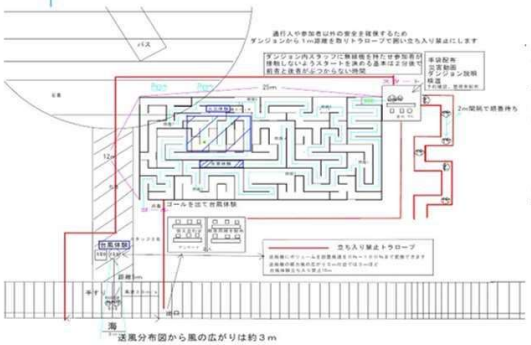
←組立イメージ
立体的に組み立てを行い、構造物自体の倒壊を防ぎます。

○構造物内寸法イメージ
道幅：900㎜～1,800㎜（ダンジョン内エリアによって異なる）
高さ：1,900㎜



←ジャッキベース画像
高さ調節可能。
地面の高低差に対応できる調節幅のジャッキベースを使用し、構造物の安定性を高めます。

ダンジョン安全対策②



・ダンジョン内外に人員を配置
台風体験コーナー　３名
水害体験コーナー　１名
火災体験コーナー　２名
受付　４名
出口　４名

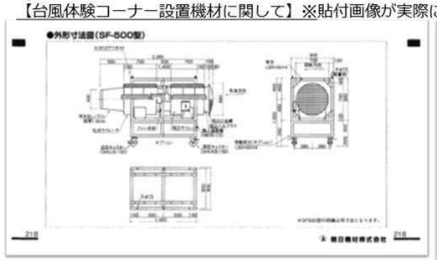
計14名体制で、交代で運営予定。

※誘導灯発電機設置の際、有資格者が設置します。

ダンジョン安全対策③



【台風体験コーナー設置機材に関して】※貼付画像が実際に使用する機材となります。





※台風体験コーナーには、サポート役として3名の人員を配置いたします。
参加者がコーナーに到着したら手すりに掴まっていただき、安全確認をして送風機を起動します。
また、送風機の風量は怪我や事故を起こさないよう、ボリューム調整して実施いたします。

台風体験の安全確認③-2



※台風体験で使う送風機は、風速３０㍍と記載していますが、実際は送風機出口20ｃｍの所で30㍍出ますが
来場者は、送風機出口から５ｍ離れた場所で手すりに掴まった状態で台風体験していただきます。
その際、スタッフも配置し安全を確保いたします。
風速を調節するボリュームをつけて参加者が安全な風量にします。

※送風機から出る風に当たる恐れのある場所はスタッフを配置します。注意喚起、規制します。

※送風機設置場所は石畳みの上に設置し送風機が乗っている専用の台車のストッパーをロックし運転時に絶対動かなくします。送風機前後左右は人が入れないようにして、来場者や通行人等が触れることができないように、送風機を置く場所を立ち入り禁止としトラロープで囲います。

※台風体験コーナーには、サポート役として3名の人員を配置いたします。
参加者がコーナーに到着したら手すりに掴まっていただき、安全確認をして送風機を起動します。
体験が終了したら、送風機の電源を落として参加者に回答用紙配布アンケートを書いていただきます。

気象庁風の強さ目安

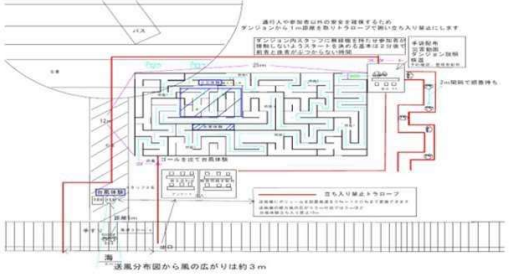
風の強さ（予報用語）	平均風速（m/s）	おおよその時速	速さの目安	人への影響	屋外・樹木の様子	走行中の車	建造物	おおよその瞬間風速（m/s）
やや強い風	10以上15未満	～50km	一般道路の自動車	風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。	樹木全体が揺れ始める。電線が揺れ始める。	道路の状況しの角度が水平になり、高速運転中では横風に流される感覚を受ける。	桶(とい)が揺れ始める。	20
強い風	15以上20未満	～70km		風に向かって歩けなくなり、転倒する人も出る。高所での作業はきわめて危険。	電線が鳴り始める。看板やトタン板が外れ始める。	高速運転中では、横風に流される感覚が大きくなる。	屋根瓦・屋根葺材がはがれるものがある。高所やシャッターが揺れる。	30
非常に強い風	20以上25未満	～90km	高速道路の自動車	何かにつかまっていないと立っていられない。飛来物によって負傷するおそれがある。	細い木の幹が折れたり、根の張っていない木が倒れ始める。看板が落下・飛散する。道路標識が傾く。	通常の速度で運転するのが困難になる。	屋根瓦・屋根葺材が飛散するものがある。固定されていないプレハブ小屋が移動、転倒する。ビニールハウスのフィルム(被覆材)が破断に破れる。	40
	25以上30未満	～110km						
猛烈な風	30以上35未満	～125km	特急電車	屋外での行動は極めて危険。			固定の不十分な金属製部の資材がめくれる。養生の不十分な仮設足場が崩落する。	50
	35以上40未満	～140km			多くの樹木が倒れる。電柱や街灯で倒れるものがある。ブロック塀で倒壊するものがある。	走行中のトラックが横転する。	外装材が広範囲にわたって飛散し、下地材が露出するものがある。	60
	40以上	140km～					住家で倒壊するものがある。鉄骨構造物で変形するものがある。	

(注1) 強風によって災害が起こるおそれのあるときは強風注意報を、暴風によって重大な災害が発生するおそれのあるときは暴風警報を、さらに重大な災害が起こるおそれが著しく大きいときは暴風特別警報を発表して警戒や注意を呼びかけます。なお、警報や注意報の基準は地域によって異なります。
(注2) 平均風速は10分間の平均、瞬間風速は3秒間の平均です。風の吹き方は絶えず強弱の変動があり、瞬間風速は平均風速の1.5倍程度になることが多いですが、大気の状態が不安定な場合等は3倍以上になることがあります。
(注3) この表を使用され点検は、以下の点にご注意下さい。
1. 風速は地形や周りの建物などに影響されますので、その場所での風速は近くにある観測所の値と大きく異なることがあります。
2. 風速が同じであっても、対象となる建物、構造物の状態や風の吹き方によって被害が異なる場合があります。この表では、ある風速が観測された際に、通常発生する現象や被害を記述していますので、これより大きな被害が発生したり、逆に小さな被害にとどまる場合もあります。
3. 人や物への影響は日本風工学会の「瞬間風速と人や自の様子との関係」を参考に作成しています。今後、表現など実状と合わなくなった場合には内容を変更することがあります。

台風体験の安全確認③-3



※送風機の風がダンジョンから出て、参加者以外の方に影響がないようスタッフの配置と、ダンジョンから１ｍはなし、トラロープで囲い、立ち入り禁止にして通行人緑地使用者の安全を確保します。



足場の安全基準

※ダンジョンに使用する足場はシンワキャチャーです。この足場の柱材は一本ずつ固定します、固定された足場材はロック式となっており上下左右の風で外れる事のない設計となっています。
すべてがつながり１２ｍ×２５ｍの構造体となるため、転倒の恐れはありません。
※足場と地面との固定方法　(一般的に地面と足場は固定しません)

※ダンジョン設営に携わる有資格者一覧
足場組立作業主任者３名
１級建築士１名
１級電気工事士１名
２級建築施工管理技士２名
建設関係従事者多数在籍

芝生対策

・ダンジョン設営範囲の地面は板材などで覆わず、ジャッキベース+鉄材を組み合わせた定点構造で柱を設置し芝生への設置面積を低減します。

・参加人員を当初予定していた人数900名から、450名以下に縮小することで芝生への影響を低減します。

・既存で設置している、スプリンクラーなどの設備に損傷を与えないよう、設営をいたします。

以上

安全対策～その他～

・事業実施当日は、広島県のコロナ感染対策イベント運営規定に準じて開催をいたします。

・参加人員は1,000名以下とし、150組（1組3名以下）計450名を上限といたします。
申し込み数は組数上限を優先し、150組に達した時点で受付終了といたします。
イベントは事前予約制にして待ち時間三密を低減します。

・受付時に、参加者に対してダンジョン内で『走る・大声を出す』等の禁止事項を説明して安全に参加いただけるよう案内を実施します。

・各災害体験コーナーには、人員を配置し参加者のサポート行うことで、安全に体験をしていただきます。
万が一を想定して以下準備いたします。
〇救急セット〇AED〇参加者へのイベント保険

一般社団法人　尾道青年会議所　事業計画（案）予算（案）

審議　事項

委員会名：組織活性化委員会
委員長名：山本　恭平

（1）議案名　　次代に繋げる組織づくり事業の調査・研究・実践　事業計画（案）修正予算（案）に関する件

（2）事業名　　テーマ「笑顔を繋げよう！おのみち２５２５プロジェクト」

（3）事業実施に至る背景

笑顔を繋げよう！おのみち２５２５プロジェクトを実施しましたが、予算が大幅に変更となり、規模を拡大して事業を実施した為、金額変更等の修正予算の作成をさせていただきます。

（4）事業目的（趣旨）

ａ．（対外）

ｂ．（対内）

（5）事業概要

ａ．実施日時　　２０２１年　１１月　６日（土）　①１０：００～１５：００　②１９：００～２１：００
２０２１年　１１月　７日（日）　③１０：００～１２：００

ｂ．場　　所　　①尾道駅前広場　　緑地帯　　（２５２５プロジェクト）
②びんご運動公園　陸上競技場（２５２５サプライズショー　イベント）
③びんご運動公園　陸上競技場（清掃）

ｃ．予算総額　　￥３，２００，０００（詳細は別紙予算書）

ｄ．参加人員　　内部　　７２名　　外部　２，４５３名　　計　２，５２５名
（内部内訳：現役会員６５名　仮入会員　７名（予定））

ｅ．動員計画　　２，５２５名（写真提供者目標）

ｆ．外部協力者　おのみちバス株式会社、尾道市立大学、尾道市商工課、尾道市教育委員会、びんご運動公園、有限会社森上煙火工業所、尾道警察署、尾道消防署、

ｇ．実施組織・推進リーダー　　組織活性化委員会　委員　村橋　聡
組織活性化委員会　委員　藤田　祐輔

ｈ．実施手順・プログラム

２０２１年　１１月　１６日（金）　第１１回　正副理事長会議　審議
１２月　　６日（月）　第１２回　理事会　　審議

（6）事業内容（目的達成のための手法説明）

（7）過去の検証・本年の工夫と期待される効果

（8）審議のポイント

修正予算について

（9）会議での意見とその対応

意見）

対応）

(10) 他委員会への依頼事項等

（11）添付資料

事業収支予算書（案）
収支予算明細書（案）
ポスター3種見積書（案）
追加ポスター見積書（案）
写真投稿マニュアル見積書（案）
ポスターケース見積書（案）
びんご運動公園施設利用料領収書（案）
バスラッピング請求書（案）
Ｒ＆Ｒ請求書（案）
自立式顔出しパネル請求書（案）
追加費用領収書（案）

第１２回理事会　２０２１年　１２月　６日

事業収支予算書（案）

事業名　次代に繋げる組織づくり事業　調査・研究・実践
テーマ「笑顔を繋げよう！おのみち2525プロジェクト」

収入の部

大科目	中科目	小科目	細目	当初予算額	補正予算額	差　異	備　考
事業収入	事業費繰入収入	事業費繰入収入		300,000	300,000	0	
	事業費繰入収入	事業予備費繰入収入				0	
	登録料収入					0	
	販売収入					0	
	広告料収入					0	
	負担金収入					0	
	雑収入					0	
補助金等収入	国庫補助金収入					0	
	地方公共団体補助金収入					0	
	民間補助金収入					0	
	国庫助成金収入					0	
	地方公共団体助成金収入					0	
	民間助成金収入					0	
寄付金収入	寄付金収入	寄付金収入		2,700,000	2,900,000	200,000	企業協賛金　1口　2万×145口
	募金収入					0	
収入合計				3,000,000	3,200,000	200,000	

支出の部

大科目	中科目	小科目	細目	当初予算額	補正予算額	差　異	備　考
事業費支出	事業	会場設営費支出	人件費支出	120,000	136,000	-16,000	花火業者人件費、申請代書料、司会代
			食事代支出			0	
			会場費支出	102,939	91,220	11,719	びんご運動公園施設利用料
			設営費支出	64,000	52,540	11,460	消防署申請許可書、芝生養生費
			運送費支出			0	
			レンタル料支出			0	
		小計		286,939	279,760	7,179	
		企画演出費支出	人件費支出			0	
			食事代支出			0	
			企画費支出	789,200	1,350,842	-561,642	ラッピング（施工、デザイン、掲載料）、ポスター印刷、ポスターケース、レッドカーペット、マイクスタンド、テーブルクロス、自立式顔出しパネル看板、スタンド花、クラッカー、バス出発装飾用備品
			演出費支出	1,380,000	1,380,000	0	花火打ち上げ料
			旅費交通費支出			0	
		小計		2,169,200	2,730,842	-561,642	
		本部団関係費支出	人件費支出			0	
			食事代支出			0	
			会場費支出			0	
			設営費支出			0	
			旅費交通費支出			0	
			通信費支出			0	
			運送費支出			0	
			消耗品費支出			0	
			レンタル料支出			0	
			保険料支出			0	
			渉外費支出			0	
		小計		0	0	0	
		講師関係費支出	食事代支出			0	
			旅費交通費支出			0	
			宿泊費支出			0	
			保険料支出			0	
			諸謝金支出			0	
			会合費支出			0	
			記念品代支出	0		0	
		小計		0	0	0	
		広報費支出	運営費支出			0	
			会場費支出			0	
			設営費支出			0	
			通信費支出			0	
			消耗品費支出			0	
			レンタル料支出			0	
			作成費支出	37,400	42,900	-5,500	チラシ印刷代、写真投稿マニュアル
			PR費支出			0	
		小計		37,400	42,900	-5,500	
		資料作成費支出	通信費支出			0	
			資料費支出			0	
			消耗品費支出			0	
			レンタル料支出			0	
			作成費支出	16,584	16,239	345	チケット、来場者案内文書5種
		小計		16,584	16,239	345	
		報告書作成費支出	通信費支出			0	
			資料費支出			0	
			消耗品費支出			0	
			レンタル料支出			0	
			作成費支出			0	
		小計		0	0	0	
		懇親会費支出	人件費支出			0	
			会場費支出			0	
			設営費支出			0	
			旅費交通費支出			0	
			運送費支出			0	
			レンタル料支出			0	
			保険料支出			0	
			飲食費支出			0	
			アトラクション費支出			0	
		小計		0	0	0	
		渉外費支出	役員渉外費支出			0	
			記念品代支出			0	
		小計		0	0	0	
		旅費交通費支出	旅費支出			0	
			交通費支出			0	
			宿泊費支出			0	
		小計		0	0	0	
		参加記念品代支出				0	
		保険料支出		100,000	100,000	0	イベント保険
		通信費支出		25,085	16,965	8,120	振込手数料、チケット送料
		販売物品仕入支出				0	
		雑費支出		0	7,800	-7,800	収入印紙、音響用備品
	事業予備費支出			364,792	5,494	359,298	
支出合計				3,000,000	3,200,000	-200,000	

収支予算明細書（案）

事業名　次代に繋げる組織づくり事業　調査・研究・実践
テーマ「笑顔を繋げよう！おのみち2525プロジェクト」

＜収入明細書＞

中　科　目	小　科　目	細目	摘　　要	補正予算額	備考
事業費繰入収入	事業費繰入収入			300,000	
寄付金収入	寄付金収入		企業協賛　1口2万×145口	2,900,000	
合　　計				3,200,000	

＜支出明細書＞

中　科　目	小　科　目	細目	摘　　要	予算額	備考
事業費支出	会場設営費支出	人件費支出	花火業者人件費、申請代書料	120,000	(有)森上煙火工業所
		人件費支出	司会代@8,000×2（追加）	16,000	尾道市観光協会
		会場費支出	施設利用料	91,220	びんご運動公園（11/5、11/6、11/7）
		設営費支出	消防申請許可書	7,900	尾道消防局
		設営費支出	芝生養生費　@43,500→@44,640（+@1,140）	44,640	楽天
	小　　計			279,760	
	企画演出費支出	演出費支出	花火打ち上げ料	1,380,000	(有)森上煙火工業所
		企画費支出	【バスラッピング費用　1台目】 ラッピング作成料　@550,000 ラッピング広告料　@32,500 車内ポスター広告料　@20,000 【バスラッピング費用　2台目】 ラッピング作成料　@310,000（追加） ラッピング広告料　@20,000　（追加） 車内ポスター広告料　@20,000　（追加） 【その他】 消費税　@95,250 値引き　−@8,750	1,039,000	おのみちバス㈱
		企画費支出	ﾎﾟｽﾀｰ印刷代 ・3種×20枚	60,720	紙誠㈱
		企画費支出	ﾎﾟｽﾀｰ印刷代（追加） ・1種×150枚	56,100	紙誠㈱
		企画費支出	ポスターケース×3（追加）	3,300	紙誠㈱
		企画費支出	・レッドカーペット×1　@5,400（追加）税別 ・マイクスタンド　×2　@3,000（追加）税別 ・テーブルクロス×2　@2,000（追加）税別 ・値引き　@−300（追加）　税別	11,110	R&Rレンタル尾道
		企画費支出	ラッピングデザイン料	75,000	YUUKI Design
		企画費支出	屋外自立式顔出しパネル看板×2（追加）	85,800	㈱鉄道広告
		企画費支出	スタンド花×1基（追加）	10,000	花のよしはら
		企画費支出	バス出発式クラッカー代（追加）	7,568	ドン・キホーテ
		企画費支出	バス出発式装飾用備品 ・バティックロール　@1,120（追加） ・キャピタルリボン　@　924（追加） ・イベント用品　@　200（追加）	2,244	パッケージプラザ
	小　　計			2,730,842	
	広報費支出	作成費支出	チラシ印刷代	37,400	紙誠㈱
		作成費支出	写真投稿マニュアル（追加）	5,500	紙誠㈱
	小　　計			42,900	
	資料作成費	作成費支出	花火チケット1,000枚	12,309	ラクスル
		作成費支出	来場者案内文書 5枚×285組×3円 →262組へ変更　@4,275→@3,930（−@345）	3,930	事務局
	小　　計			16,239	
	小　　計			0	
	参加記念品代支出				
	保　険　料　支　出		イベント保険	100,000	T.N　PLANNING
	通　信　費　支　出		振込手数料 ・550×1 ・880×1→825×1に変更（−@55） チケット送料 ・84円×100 ・94円×75 ・140円×1	16,965	（審議時）チケット送料@83×285　＝@23,655 （決算時）チケット送料計（左記内訳）＝@15,590 @23,655−@15,590＝+@8,065 ※振込手数料 他行振込手数料変更 招待262組−郵送176組＝手渡し86組
	販売物品仕入支出				
	雑　　費　　支　　出		収入印紙　200×25枚　@5,000（追加） 音響用備品　@2,800（追加）	7,800	
事業予備費支出				5,494	
合　　計				3,200,000	

御 見 積 書

発行日： 2021/10/18

一般社団法人 尾道青年会議所　御中

下記の通りお見積り申し上げます。

納入場所	お客様指定場所
納入期日	ご相談
支払条件	
見積有効	2021/12/31まで
御見積金額	

¥60,720 -

紙誠株式会社
〒722-0051　広島県尾道市東尾道1C-13
TEL (0848)20-2131　FAX (0848)20-2135

承　認	査　閲	担　当

担当：　山 北

単位：円

No	商品名	数量	単価	金額
1	ポスター①	20	920.00	18,400
2	ポスター②	20	920.00	18,400
3	ポスター③	20	920.00	18,400
4	【印刷仕様詳細】			
5	サイズ　：　A1サイズ			
6	紙　質　：　コート紙 135k			
7	印　刷　：　4×0（片面カラー）			
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
			小計金額	55,200
			消費税(10%)	5,520
			合計金額	60,720

備考

御 見 積 書

発行日： 2021/11/4

一般社団法人 尾道青年会議所　御中

下記の通りお見積り申し上げます。

納入場所	お客様指定場所
納入期日	ご相談
支払条件	
見積有効	2021/12/31まで
御見積金額	

¥56,100 -

紙誠株式会社
〒722-0051　広島県尾道市東尾道1C-13
TEL (0848)20-2131　FAX (0848)20-2135

承　認	査　閲	担　当

担当：　山 北

単位：円

No	商品名	数量	単価	金額
1	ポスター	150	340.00	51,000
2	【印刷仕様詳細】			
3	サイズ　：　B1サイズ			
4	紙　質　：　コート紙 135k			
5	印　刷　：　4×0（片面カラー）			
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
			小計金額	51,000
			消費税(10%)	5,100
			合計金額	56,100

備考

御 見 積 書

発行日： 2021/11/2

一般社団法人 尾道青年会議所　御中

下記の通りお見積り申し上げます。

納入場所	お客様指定場所
納入期日	ご相談
支払条件	
見積有効	2022/1/31

御見積金額

¥3,300 -

紙誠株式会社
〒722-0051　広島県尾道市東尾道1C-13
TEL (0848)20-2131　FAX (0848)20-2135

承　認	査　閲	担　当

担当：　山 北

単位：円

No	商品名	数量	単価	金額
1	丸筒（紙管タイプ）A1用	3	1,000	3,000
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
			小計金額	3,000
			消費税(10%)	300
			合計金額	3,300

備考

御 見 積 書

発行日： 2021/9/10

一般社団法人 尾道青年会議所　御中

下記の通りお見積り申し上げます。

納入場所	お客様指定場所
納入期日	ご相談
支払条件	
見積有効	2021/12/31まで
御見積金額	
	¥5,500 -

紙誠株式会社
〒722-0051　広島県尾道市東尾道1C-13
TEL (0848)20-2131　FAX (0848)20-2135

承　認	査　閲	担　当

担当：　山 北

単位：円

No	商品名	数量	単価	金額
1	チラシ「2525マニュアル」	500	10.00	5,000
2	【印刷仕様詳細】			
3	サイズ　：　A4サイズ			
4	紙　質　：　コート紙 90k			
5	印　刷　：　4×0（片面カラー）			
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
			小計金額	5,000
			消費税(10%)	500
			合計金額	5,500

備考

様式第２号−１（第３条関係）

びんご運動公園　有料施設等　利用許可書

2021 年 10 月 21 日

申込者
住　　所　広島県尾道市土堂2-10-3 尾道商工会議所ビル3F
団 体 名　(一社)尾道青年会議所
代表者名　安楽城 大作
電話番号　(0848) 20 - 1110
利用責任者　山本 恭平　上と同じ場合は不要
電話番号　(080) 9644 - 2843　上と同じ場合は不要

利用期日	2021 年 11 月 6 日 土 曜日～2021 年 11 月 7 日 日 曜日（ 2 日間）								
利用目的（行事名）	大会・行事名 おのみち2525ナイトプロジェクト スポーツ練習（種目　　）				備考	11/7 撤去作業の為半額徴収			
	施設名	利用時間	利用人員	※金額(円)	施設名	利用時間	利用人員	※金額(円)	
11/6 有料公園施設	陸上競技場	13 時～21 時	940	15,720	11/6 テニスコート 一般コート(12面)	19 時～21 時		15,120	
	大会議室	13 時～21 時	1	4,160	インドアコート(4面)	19 時～21 時	65	10,000	
	会議室	13 時～21 時	1	2,560	センターコート(2面)	19 時～21 時		5,000	
	球技場	19 時～21 時	65	2,940	会議室（　室）	時～ 時			
	健康スポーツセンター アリーナ(全面)	時～ 時			プール（　コース）	時～ 時			
	（　/　）	時～ 時			11/7 陸上競技場	10 時～12 時		3,140	
	サブアリーナ	時～ 時				時～ 時			
	会議室A	時～ 時				時～ 時			
	会議室B	時～ 時				時～ 時			
	視聴覚室	時～ 時				時～ 時			
	設備名	利用時間	数量等	※金額(円)	設備名	利用時間	数量等	※金額(円)	
11/6 附属設備	拡声装置	13 時～21 時	8H	5,040		時～ 時			
	冷暖房設備（　室） (陸上)	時～ 時				時～ 時			
	電気設備	時～ 時				時～ 時			
11/6	照明設備(15%) (陸上)	~~17~~ 18 時～21 時	4H	~~9,450~~	12600円	時～ 時			
	照明点灯カード	円				時～ 時			
設備の変更又は特別の設備の設置	内容（必要に応じて図面を添付すること。）								
利用区分	1 スポーツ ～ A アマチュアスポーツ　B アマチュアスポーツ以外 2 文化活動 ～ C 営利又は宣伝を目的としない場合 D 営利又は宣伝を目的とする場合 3 その他				E 小学校児童、中学校生徒、高等学校生徒 (F) その他				
入場料	有料　　(無料)								
利用料金減免申請	有（広島県都市公園条例第18条該当による）　(無)								

利用料金	基本利用料金 A	~~58,640~~ 円	58640円
	加算利用料金 B	円	
	附属設備利用料金C	~~14,490~~ 円	17640円
	合計 D＝A＋B＋C	~~73,130~~ 円	76280円
減免該当	減免率	免除 50% 20%	
	減免額 E	円	
	収納額 D−E	円	
追加申込		No. で利用料金徴収	

受付年月日	2021 年 10 月 22 日
番号	第　　号
許可年月日	2021 年 10 月 22 日
番号	第　　号
収納	2021 年 10 月 22 日

領収済 21.10.22 びんご運動公園

注　上記のとおりびんご運動公園有料施設等の利用を許可します。
　　なお、この許可書をもって領収証書に代えます。

びんご運動公園指定管理者
（イズミテクノ・RCC文化センター・シンコースポーツ共同企業体）
〒722-0022 尾道市栗原町997番地
TEL：0848-48-5446
FAX：0848-48-5448

様式第２号−１（第３条関係）

びんご運動公園　有料施設等　利用許可書

2021 年 11 月 5 日

申込者
住　所　尾道市土堂2-10-3 尾道商工会議所ビル3F
団体名　(一社)尾道青年会議所
代表者名　安藤成 大作
電話番号　(0848) 20 − 1110
利用責任者　山平 尚平　上と同じ場合は不要
電話番号　(080) 9644 2843　上と同じ場合は不要

山平

利用期日	2021 年 11 月 5 日 金 曜日～2021 年 11 月 6 日 土 曜日（ 2 日間）							
利用目的（行事名）	大会・行事名 スポーツ練習（種目 おのみち2525ナイトプロジェクト ）				備考 11/6 陸上競技場 追加徴収			
有料公園施設	施設名	利用時間	利用人員	※金額（円）	施設名	利用時間	利用人員	※金額（円）
	陸上競技場	14 時～19 時	10	9430	テニスコート 一般コート（　面）	時～　時		
	大会議室	時～　時			テニスコート インドアコート（　面）	時～　時		
	会議室	時～　時			テニスコート センターコート（　面）	時～　時		
	球技場	時～　時			テニスコート 会議室（　室）	時～　時		
	健康スポーツセンター アリーナ（全面）	時～　時			プール（　コース）	時～　時		
	（　/　）	時～　時				時～　時		
	サブアリーナ	時～　時				時～　時		
	会議室A	時～　時				時～　時		
	会議室B	時～　時				時～　時		
	視聴覚室	時～　時				時～　時		
附属設備	設備名	利用時間	数量等	※金額（円）	設備名	利用時間	数量等	※金額（円）
	拡声装置	17 時～19 時	2H	~~200~~	11/5 テント	時～　時	2張	200
	冷暖房設備（　室）	時～　時		1,260	11/6 テント	時～　時	2張	200
	電気設備	時～　時				時～　時		
	照明設備（15 %）	17 時～18 時	1H	3150		時～　時		
	照明点灯カード	円				時～　時		
設備の変更又は特別の設備の設置	内容（必要に応じて図面を添付すること。）							
利用区分	1 スポーツ ～ Aアマチュアスポーツ　Bアマチュアスポーツ以外 2 文化活動 ～ C営利又は宣伝を目的としない場合 D営利又は宣伝を目的とする場合 (3) その他				E 小学校児童、中学校生徒、高等学校生徒 (F) その他			
入場料	有料　　(0) 無料							
利用料金減免申請	有（広島県都市公園条例第18条該当による）　(無)							

利用料金	基本利用料金　A	9430 円
	加算利用料金　B	円
	附属設備利用料金C	4,810 円
	合計　D＝A＋B＋C	14,240 円
減免該当	減免率	免除　50%　20%
	減免額　E	0 円
	収納額　D−E	円
	追加申込	No. 3104 で利用料金徴収

受付年月日	2021 年 11 月 5 日
番号	第　号
許可年月日	2021 年 11 月 5 日
番号	第　号
収納	2021 年 11 月 5 日

注　上記のとおりびんご運動公園有料施設等の利用を許可します。
なお、この許可書をもって領収証書に代えます。

びんご運動公園指定管理者
（イズミテクノ・RCC文化センター・シンコースポーツ共同企業体）
〒722-0022 尾道市栗原町997番地
TEL：0848-48-5446
FAX：0848-48-5448

領収済 21.11.05 びんご運動公園

様式第２号−１（第３条関係）

びんご運動公園　有料施設等　利用許可書

2021 年 11 月 7 日

申込者
住　所　尾道市土堂2-10-3尾道商工会議所小階
団体名　(一社)尾道青年会議所
代表者名　安東成 大作
電話番号（0848）20 −1110
利用責任者　山本 恭平　上と同じ場合は不要
電話番号（080）9648−2843　上と同じ場合は不要

山本

利用期日	2021 年 11 月 6 日 土 曜日～　年　月　日　曜日（ 1 日間）		
利用目的（行事名）	大会・行事名　おのみち252ナイトプログラム	備考	陸上競技場 追加徴収
	スポーツ練習（種目　）		

	施設名	利用時間	利用人員	※金額(円)	施設名	利用時間	利用人員	※金額(円)
有料公園施設	陸上競技場	時～　時			テニスコート 一般コート（　面）	時～　時		
	大会議室	時～　時			テニスコート インドアコート（　面）	時～　時		
	会議室	時～　時			テニスコート センターコート（　面）	時～　時		
	球技場	時～　時			テニスコート 会議室（　室）	時～　時		
	健康スポーツセンター アリーナ（全面）	時～　時			プール（　コース）	時～　時		
	健康スポーツセンター （　/　）	時～　時				時～　時		
	健康スポーツセンター サブアリーナ	時～　時				時～　時		
	健康スポーツセンター 会議室A	時～　時				時～　時		
	健康スポーツセンター 会議室B	時～　時				時～　時		
	健康スポーツセンター 視聴覚室	時～　時				時～　時		

	設備名	利用時間	数量等	※金額(円)	設備名	利用時間	数量等	※金額(円)
附属設備	拡声装置	時～　時				時～　時		
附属設備	冷暖房設備（　室）	13 時～20 時	7H	700		時～　時		
附属設備	電気設備	時～　時				時～　時		
附属設備	照明設備（　%）	時～　時				時～　時		
附属設備	照明点灯カード	円				時～　時		

設備の変更又は特別の設備の設置	内容（必要に応じて図面を添付すること。）	
利用区分	1 スポーツ ～ Aアマチュアスポーツ　Bアマチュアスポーツ以外 2 文化活動 ～ C営利又は宣伝を目的としない場合 D営利又は宣伝を目的とする場合 3 その他	E 小学校児童、中学校生徒、高等学校生徒 F その他
入場料	有料　無料	
利用料金減免申請	有（広島県都市公園条例第18条該当による）　無	

利用料金	基本利用料金　A	円
	加算利用料金　B	円
	附属設備利用料金C	700 円
	合計　D＝A＋B＋C	700 円
減免該当	減免率	免除　50%　20%
	減免額　E	円
	収納額　D−E	0 円
	追加申込	No.　で利用料金徴収

受付年月日	2021 年 11 月 7 日
番号	第　号
許可年月日	2021 年 11 月 7 日
番号	第　号
収納	2021 年 11 月 7 日

注　上記のとおりびんご運動公園有料施設等の利用を許可します。
なお、この許可書をもって領収証書に代えます。

びんご運動公園指定管理者
（イズミテクノ・ＲＣＣ文化センター・シンコースポーツ共同企業体）
〒722-0022 尾道市栗原町997番地
ＴＥＬ：０８４８−４８−５４４６
ＦＡＸ：０８４８−４８−５４４８

領収済 2021.11.07 びんご運動公園

請求書

2021年11月5日

一般社団法人　尾道青年会議所 御中

尾道市東尾道18番地１
おのみちバス株式会社
代表取締役　大﨑　多久司
TEL (0848)46-4301

下記のとおりご請求申し上げますのでお引き合わせの上
お支払いの程お願い申し上げます。

担当印	確認印

月　日	摘　要	枚　数	金　額
	広告料(バスフルラッピング左右後全体)	1	32,500
	作成料	1	550,000
	広告料(カラーバス左右全体)	1	20,000
	作成料	1	310,000
	広告料(バス車内窓上ポスターB3)　２台	1	40,000
	消費税		95,250
	値引き		-8,750
	【広告期間】		
	2021年11月6日～2021年12月5日		
			1,039,000

◆振込先◆

広島銀行尾道支店
普通預金　No.3251395
おのみちバス株式会社

振込の場合は、手数料のご負担をお願い致します

御請求書

発行日付：2021/11/09伝票No：3668

一般社団法人　尾道青年会議所

山本 様

〒 722-0035
広島県 尾道市土堂2丁目
10-3

TEL: 20-1110　　FAX: 20-1112

貸出日時	令和3年11月5日
返却日時	令和3年11月6日

(有)理興　Ｒ＆Ｒレンタル尾道

〒 729-0141
広島県 尾道市高須町4788-15
TEL: 0848-20-3270　FAX: 0848-20-3272
中国銀行　東尾道支店
普通口座　1058736
担当：乃井真純
（有）理興
代表取締役社長 中山 要

税抜金額	消費税	納品合計額
10,100	1,010	11,110

商品名	数量	単位	単価	金額	備考
ﾊﾟﾝﾁｶｰﾍﾟｯﾄw1800（新品）	3.00	m	1,800	5,400	販売
床上マイクスタンド(ST-302B)	2.00	本	1,500	3,000	
テーブルｸﾛｽ（白）1.5*2.4	2.00	枚	1,000	2,000	
値引き	1.00	式		-300	
ご来店日時：5日（金）					
ご返却日時：8日（月）					
本番日：6日（土）					

お客様サイン欄

配達	回収

請求明細書

2021年11月11日 締切分

722-0035

尾道市土堂２－１０－３
尾道商工会議所ビル３Ｆ

社団法人　尾道青年会議所 御中

722-0051 尾道市東尾道10番地12
株式会社 鉄道広告
TEL 0848-20-2202 FAX 0848-20-2203

取引銀行　中国銀行東尾道支店(普)1020208
名義人　　カ）テツドウコウコク

HPアドレス：http://www.tetsudo-ad.co.jp

毎度ありがとうございます。
下記の通り御請求申し上げます。

前回御請求額	御 入 金 額	繰 越 金 額	今回御買上額	消 費 税	今回御請求額
			78,000	7,800	85,800

日　付	商品コード/商品名	数　量	単位	単　価	金　額
11.06	SE-082 屋外自立顔出しﾊﾟﾈﾙ看板制作　2枚	1	式	78,000	78,000
	おのみち2525ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ				
	消 費 税				7,800
	【課税10.0% 税抜額】				78,000
	【消費税額】				7,800

領　収　証

シモジマグループ
パッケージプラザ
スヤマ尾道店
TEL 0848-47-3511

日頃ご愛顧頂き有難うございます
本日はご来店有難うございました
またのご来店をお待ちしております

パッケージプラザ スヤマ 尾道店

2021年11月 2日(火) 10:39 No:0001

0202 4933414703495
ﾊﾞﾃｨｯｸﾛｰﾙ 04 ﾚｯﾄﾞ
内 ¥1,120
0562 4901755125719
ｷｬﾋﾟﾀﾙﾘﾎﾞﾝ24mmx50Mｼﾛ
内 ¥924
0764 2952666990110
ｲﾍﾞﾝﾄﾖｳﾋﾝ
単100× 2個内 !200

小　計		¥2,244
内税対象額	10.00%	¥2,244
内税	10.00%	¥204
合計		¥2,244
(うち消費税		¥204)
お預り		¥10,000
(消費税等		¥204)
お釣り		¥8,011

a0001020700002244a

注)
軽減税率(8%)適用商品は
「軽」が印字されております

責No:00000001:河村
取引No0207 4点買

バス出発式装飾備品

領収書
ディスカウントショップ

ドン・キホーテ

本社：東京都目黒区青葉台2－19－10

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿様

福山店　TEL0570-038-801
営業時間　9:00～翌3:00
お客様ｺｰﾙｾﾝﾀｰ　20:00～翌5:00
ＴＥＬ：０１２０－４４５－６４９
2021年11月02日(火)16:21　ﾚｼﾞ0005
責No*****225MS村上
チNo*****225MS村上
4960197103303JAN
散らからないジャイアン　¥3,390
4960197103921JAN
散らからないクラッカー　¥3,490
小計　¥6,880
(外税10ﾀｲｼｮｳ　¥6,880)
外税10　¥688
(税合計　¥688)
合計　**¥7,568**
クレジット　¥7,568
(消費税等　¥688)
お買上点数　2点

バス出発式 クラッカー代

EDION
エディオン

領収書兼お買上明細

■エディオンカード会員さま■
商品の購入履歴・保証内容は
【エディオンネットショップ】
または【エディオンアプリ】の
マイページでご確認できます。

発行日 2021年11月01日(月) 18:49
店：00107 尾道店
電話 0848-23-2128
レジ担当者：林　美玖
販売担当者：林　美玖
No. 00107-303-454535　　POS：303
取引種別：持帰

AVコード JVC CN-2010A 4975769243912	1	¥820
AVコード JVC EXC-1215A 4975769216633	1	¥1,060
電池 パナソニック LR14EJV/6SW 4984824817043	1	¥920

合計金額　¥2,800
(10%対象　¥2,800)
(10%対象消費税　¥254)

カード領収額　¥2,800
現金領収額　¥0

支払方法
クレジットカード　¥2,800
AMEXカード

サプライズショー　音響用備品

領収書

様

［販売］
２００円収入印紙
200円　25枚　¥5,000

小　計　¥5,000

課税計（10%）　¥0
（内消費税等　¥0）
非課税計　¥5,000

合計　¥5,000
お預り金額　¥5,000

収入印紙の買戻しや汚染・毀損した場合の交換はできませんのでご注意ください。

〒100-8792　日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町２－３－１
取扱日時：2021年 9月13日 10:20
担当：水田　克己
発行No. 210913J7957　端N50箱02
連絡先：尾道郵便局
TEL:0570-943-431

十協賛金領収書
200円収入印紙

領収書

様

［別納引受］
区内特別基（定）
@84　100通　¥8,400
小　計　¥8,400

第一種定形
@94　75通　¥7,050
小　計　¥7,050

第一種定形外（規格内）
@140　1通　¥140
小　計　¥140

郵便物引受合計通数　176通
課税計（10%）　¥15,590
（内消費税等　¥1,417）
非課税計　¥0

合計　¥15,590
お預り金額　¥15,640
おつり　¥50

〒100-8792　日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町２－３－１
取扱日時：2021年10月22日 12:55
発行No.211022A2368　端N49箱03
連絡先：尾道郵便局
TEL:0570-943-431

チケット、案内文 発送料

領　収　証

No.＿＿＿＿＿

入金先

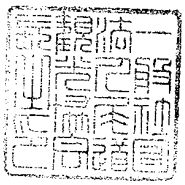
(一社)尾道青年会議所　様

金額　8,000円也

但　11/6　ラッピングバス イベント

入金日　2021年　11月　6日

一般社団法人　尾道観光協会



領　収　証

No.＿＿＿＿＿

一般社団法人尾道青年会議所様　　令和3年11月6日

★¥8,000−

但司会代として

上記正に領収いたしました

内　訳
税抜金額
消費税額等(　%)

〒722-0036 尾道市東御所町1番20号
JB本四高速尾道ビル1階
一般社団法人尾道観光協会



司会代　バス出発式 ×1名
サプライズショー ×1名

領　収　証

No.＿＿＿＿＿

(一社)尾道青年会議所 様

3 年 11 月 6 日

★ ¥10,000−

但 スタンド1基

上記正に領収いたしました

内　訳
税抜金額
消費税額等(　%)

フジテレビ.フラワーシップ
花のよしはら
尾道市土堂1-6-1 TEL 22-4528

バス出発式　スタンド花 ×1

一般社団法人　尾道青年会議所　事業報告（案）決算（案）

審議事項

委員会名：組織活性化委員会
委員長名：山本　恭平

（１）議案名　次代に繋げる組織づくり事業の調査・研究・実践　事業報告（案）決算（案）に関する件

（２）事業名　テーマ「笑顔を繋げよう！おのみち２５２５プロジェクト」

（３）事業実施に至る背景

私たち尾道青年会議所は、持続可能なまちづくりに寄与した活動を行い、「まち」から更に求められる組織になるべく、組織力をもって「まち」の活性化に取り組み、次代へより良い組織を繋いでいく必要があります。

（４）事業目的（趣旨）

ａ．（対外）尾道青年会議所の高められた結束力をもって、まちを活性化することを目的とします。

ｂ．（対内）「まちづくり、人づくり」の組織として、組織力をもって地域に根差した活動をすることの大切さを体感することで会員の資質を向上させ、次代へより良い組織を繋ぐための一助と致します。

（５）実施日時　２０２１年　１１月　６日（土）　①１０：００～１５：００
②１９：００～２１：００
２０２１年　１１月　７日（日）　③１０：００～１２：００

（６）場　　所　①尾道駅前広場　　緑地帯　　（２５２５プロジェクト）
②びんご運動公園　陸上競技場（２５２５サプライズショー　イベント）
③びんご運動公園　陸上競技場（清掃）

（７）参加人員　内部　　６２名（内部内訳：現役会員６０名　仮入会員　２名）
外部　２，５７０名（写真協力者数）
３００名（２５２５プロジェクト来場者数）
７９１名（２５２５サプライズショー来場者数）
計　３，７２３名

（８）外部協力者　尾道シニアクラブ、おのみちバス株式会社、尾道市立大学、尾道市商工課、びんご運動公園、尾道市教育委員会、有限会社森上煙火工業所、尾道警察署、尾道消防署

（9）事業の目的は達したか？

（対外）準備段階からメンバー、一般の方々、企業、団体にご協力をいただけたこと、そして事業当日に多くの方からの喜びの声や、お礼の言葉をいただけたことから尾道を活性化できたものと考えます。

（対内）写真収集目標２５２５枚に対し、２５７０枚を現役メンバー全員で収集したこと、そして協賛金収集も目標を上回る結果であったことは、尾道青年会議所の組織力をもって目標達成できたものと考えます。

また、多くのメンバーが事業に参画してくださったことから、会員資質の向上に繋がり、次代へより良い組織を繋ぐための一助となったものと考えます。

よって今回の事業の目的は達成できたものと考えます。

（10）実施上の問題点

①写真収集について

専用の公式ラインアカウントを作成し、チラシやインターネット媒体を通じて収集の効率化を図りましたが大きな効果は得られず、結果として写真収集期間を延長させていただく運びとなりました。市街地での声掛け、企業、学校、団体等への訪問が目標枚数達成の大きな要因となりましたが、この件に関しては写真投稿のハードルを上げすぎたことにより広報内容が複雑化してしまったことと、写真収集を短期間で計画していたことが原因と考えられます。写真投稿の手順は利用者の立場になって簡略化したものを作成する必要があり、写真収集期間については２カ月間で構築していましたが、最低３カ月間は必要だったと感じました。

また、事業開始に合わせて事業専用のＳＮＳを作成するのではなく、尾道青年会議所のＳＮＳを活用するなどより早く周知できる方法を考える必要があったかと思います。

②バスラッピングについて

ご自身やお子様の写真を探すのに苦労された方もいらっしゃいました。子供たちが見つけやすい高さに子供の写真を貼る等の工夫が必要だったと考えます。

③協賛依頼について

今回の協賛依頼に関しては、ＯＢのみと限定をさせていただいて実施いたしました。メールとＦＡＸにて事業案内および協賛依頼を配信させていただき、賛同をいただけた方から申し込みをいただく流れをご案内をさせていただきましたが、案内を流す前に一報を入れるとより丁寧な案内になったかと思います。

④来場者への対応について

事業での配布物とそうでない物の共有が不十分であった為、委員会内での報連相の徹底が必要でした。

(11) 次年度への引継事項

①ＳＮＳの使用について

今回のように事業専用のＳＮＳアカウントを開設するのも一つの手段ではありますが、既存の尾道青年会議所のＳＮＳのフォロワー数を増やすことが重要と感じました。一般の方のフォロワー数を増やすことでチラシ配布だけでなく広告宣伝の効果を増強することができると考えます。その為には、尾道青年会議所のＳＮＳを常日頃更新し、フォロワーを増やすことで事業告知や動員獲得を円滑にできるものと考えます。

②花火について

サプライズショーのように花火を打ち上げる場合は、警察、消防、花火業者、会場との連携が必須となります。申請する手順や注意事項に関しては参考資料を参照していただければと思います。

③対外事業について

本事業では、県、市、企業、団体に協力をいただくことができました。青年会議所活動をより多くの方に周知し賛同いただくためにも、青年会議所主導でお互いの強みを活かせる相手と多くの人を巻き込んでいくことで、より活気にあふれ事業の構築ができるだと強く感じました。おのみちバス㈱、尾道市立大学、びんご運動公園に関しては、今後も活動に協力をしてくださるとお話をいただいております。

④事業実施会場について

びんご運動公園は、施設・設備が充実しており様々な事業に対応できる会場となりますので、会場候補の一つとして検討していただければと思います。

(12) 委員長所見

尾道という組織を活性化する為に、一人でも多くの人に「笑顔」になってもらいたいと考え事業を構築し、限られた人数ではありましたが、事業に参加いただいた皆様と携わっていただいた方やメンバーの皆様に「笑顔」になっていただけたことが大変うれしく思います。

また、様々なイベントが中止となる中で、私たちの様に営利目的ではない団体が有観客でイベント型の事業を実施することができたことは、外部団体や一般企業に対し指針となる一例を作ることができたと考えます。

青年会議所会員として、どのような状況下でも、「まち」と「まちの人」の為にできることや方法を模索し、全力を尽くし活動を行っていくことが最も重要であると強く感じたと同時に、組織全体で同じ目的に向かって行動することで、どんな事でも実現できるのだと改めて体感をさせていただきました。

今回の事業では、ＯＢ特別会員の皆様、企業、団体など多くの方から多大なご支援、ご協力をいただき事業を実施することができました。何より、現役メンバーの皆様には、準備段階から事業当日まで沢山のご協力をいただき、皆様のお力添えが無くては、本事業を実施することは不可能であったと感じております。本当に有難うございました。

一年を通じて、委員会メンバーをはじめ、メンバーの皆様には本当に支えていただきました。自身の所信である「縁」そして「繋がり」の大切さを私自身１番学ばせていただいたと感じております。このような貴重な経験と濃密な時間を過ごさせていただけたのも、尾道青年会議所という組織があってのことであり、素晴らしいメンバーと同じ時間を共有させていただけたお陰と強く感じております。

本年度も残りわずかとなりますが、当委員会一丸となって尾道青年会議所の活性化の一助となれるよう最後まで取り組んでまいりますので、引き続き宜しくお願い致します。

（13）添付資料

事業収支計算書（案）

収支計算明細書（案）

２５２５サプライズショー　タイムスケジュール・警備計画（参考資料）

火薬類（煙火）消費許可申請書（参考資料）

都市公園占有許可書（参考資料）

笑顔を繋ごう！おのみち２５２５プロジェクト事業報告書（案）

第１２回理事会　２０２１年　１２月　６日

事業収支計算書（案）

事業名　次代に繋げる組織づくり事業の調査・研究・実践
テーマ「笑顔を繋ごう！おのみち2525プロジェクト」

収入の部

大科目	中科目	小科目	細目	予算額	決算額	差　異	備　考
事業収入	事業費繰入収入	事業費繰入収入		300,000	300,000	0	
	事業費繰入収入	事業予備費繰入収入				0	
	登録料収入					0	
	販売収入					0	
	広告料収入					0	
	負担金収入					0	
	雑収入					0	
補助金等収入	国庫補助金収入					0	
	地方公共団体補助金収入					0	
	民間補助金収入					0	
	国庫助成金収入					0	
	地方公共団体助成金収入					0	
	民間助成金収入					0	
寄付金収入	寄付金収入			2,900,000	2,900,000	0	企業協賛金　1口　2万×145口
	募金収入					0	
収入合計				3,200,000	3,200,000	0	

支出の部

大科目	中科目	小科目	細目	予算額	決算額	差　異	備　考
事業費支出	事業費支出	会場設営費支出	人件費支出	136,000	136,000	0	花火業者人件費、申請代書料、司会代
			食事代支出			0	
			会場費支出	75,470	75,470	0	びんご運動公園施設利用料
			設営費支出	68,290	68,290	0	照明代、消防署申請許可書、芝生養生費
			運送費支出			0	
			レンタル料支出			0	
		小計		279,760	279,760	0	
		企画演出費支出	人件費支出			0	
			食事代支出			0	
			企画費支出	1,350,842	1,350,842	0	ラッピング（施工、デザイン、掲載料）、ポスター印刷、ポスターケース、レッドカーペット、マイクスタンド、テーブルクロス、自立式顔出しパネル看板、スタンド花、クラッカー、バス出発装飾用備品
			演出費支出	1,380,000	1,380,000	0	花火打ち上げ料
			旅費交通費支出			0	
		小計		2,730,842	2,730,842	0	
		本部団関係費支出	人件費支出			0	
			食事代支出			0	
			会場費支出			0	
			設営費支出			0	
			旅費交通費支出			0	
			通信費支出			0	
			運送費支出			0	
			消耗品費支出			0	
			レンタル料支出			0	
			保険料支出			0	
			渉外費支出			0	
		小計		0	0	0	
		講師関係費支出	食事代支出			0	
			旅費交通費支出			0	
			宿泊費支出			0	
			保険料支出			0	
			諸謝金支出			0	
			会合費支出			0	
			記念品代支出			0	
		小計		0	0	0	
		広報費支出	運営費支出			0	
			会場費支出			0	
			設営費支出			0	
			通信費支出			0	
			消耗品費支出			0	
			レンタル料支出			0	
			作成費支出	42,900	42,900	0	チラシ印刷代、写真投稿マニュアル
			PR費支出			0	
		小計		42,900	42,900	0	
		資料作成費支出	通信費支出			0	
			資料費支出			0	
			消耗品費支出			0	
			レンタル料支出			0	
			作成費支出	16,239	16,239	0	チケット、来場者案内文書5種
		小計		16,239	16,239	0	
		報告書作成費支出	通信費支出			0	
			資料費支出			0	
			消耗品費支出			0	
			レンタル料支出			0	
			作成費支出			0	
		小計		0	0	0	
		懇親会費支出	人件費支出			0	
			会場費支出			0	
			設営費支出			0	
			旅費交通費支出			0	
			運送費支出			0	
			レンタル料支出			0	
			保険料支出			0	
			飲食費支出			0	
			アトラクション費支出			0	
		小計		0	0	0	
		渉外費支出	役員渉外費支出			0	
			記念品代支出			0	
		小計		0	0	0	
		旅費交通費支出	旅費支出			0	
			交通費支出			0	
			宿泊費支出			0	
		小計		0	0	0	
		参加記念品代支出		0	0	0	
		保険料支出		100,000	100,000	0	イベント保険料
		通信費支出		16,965	16,965	0	振込手数料、チケット発送料
		販売物品仕入支出		0	0	0	
		雑費支出		7,800	7,800	0	収入印紙、音響用コード
	事業予備費支出			5,494			
余剰金					5,494		
支出合計				3,200,000	3,200,000		

●余剰金　¥5,494　については本理事会承認後、事業予備費に繰入れる。

収支計算明細書(案)

事業名　次代に繋げる組織づくり事業の調査・研究・実践
テーマ「笑顔を繋ごう！おのみち2525プロジェクト」

＜収入明細書＞

中科目	小科目	細目	摘要	予算額	決算額	差異	備考
事業費繰入収入	事業費繰入収入			300,000	300,000	0	
寄付金収入			1口2万円×145口	2,900,000	2,900,000	0	企業協賛金
						0	
						0	
						0	
			合計	3,200,000	3,200,000	0	

＜支出明細書＞

中科目	小科目	細目	摘要	予算額	決算額	差異	備考
事業費支出	会場設営費支出	人件費支出	花火業者人件費、申請代書料	120,000	120,000	0	(有)森上煙火工業所
		人件費支出	司会代	16,000	16,000	0	尾道市観光協会
		会場費支出	施設利用料	91,220	91,220	0	びんご運動公園 (11/5、11/6、11/7)
		設営費支出	消防申請許可書	7,900	7,900	0	尾道消防局
		設営費支出	芝生養生費	44,640	44,640	0	楽天
						0	
			小計	279,760	279,760	0	
	企画演出費支出	演出費支出	花火打ち上げ料	1,380,000	1,380,000	0	(有)森上煙火工業所
		企画費支出	バスラッピング作成料×2台 広告料×2台	1,039,000	1,039,000	0	おのみちバス㈱
		企画費支出	ﾎﾟｽﾀｰ印刷代 ・3種×20枚	60,720	60,720	0	紙誠㈱
		企画費支出	ﾎﾟｽﾀｰ印刷代 ・1種×150枚	56,100	56,100	0	紙誠㈱
		企画費支出	ポスターケース×3	3,300	3,300	0	紙誠㈱
		企画費支出	・レッドカーペット×1　@5,400　税別 ・マイクスタンド　×2　@3,000　税別 ・テーブルクロス×2　@2,000　税別 ・値引き　@−300　税別	11,110	11,110		R&Rレンタル尾道
		企画費支出	ラッピングデザイン料	75,000	75,000	0	YUUKI Design
		企画費支出	屋外自立式顔出しパネル看板×2	85,800	85,800	0	㈱鉄道広告
		企画費支出	スタンド花×1基	10,000	10,000	0	花のよしはら
		企画費支出	バス出発式クラッカー代	7,568	7,568	0	ドン・キホーテ
		企画費支出	バス出発式装飾用備品 ・バティックロール　@1,120 ・キャピタルリボン　@　924 ・イベント用品　　@　200	2,244	2,244	0	パッケージプラザ
	小計			2,730,842	2,730,842	0	
	広報費支出	作成費支出	チラシ印刷代	37,400	37,400	0	紙誠㈱
		作成費支出	写真投稿マニュアル	5,500	5,500	0	紙誠㈱
						0	
						0	
			小計	42,900	42,900	0	
	資料作成費	作成費支出	花火チケット1,000枚	12,309	12,309	0	ラクスル
		作成費支出	来場者案内文書 5枚×262組×3円	3,930	3,930	0	事務局
						0	
						0	
			小計	16,239	16,239	0	
						0	
						0	
						0	
			小計	0	0	0	
	参加記念品代支出					0	
	保険料支出		イベント保険	100,000	100,000	0	T.N　PLANNING
	通信費支出		振込手数料　550×1、825×1 チケット送料　84円×100 94円×75 140円×1	16,965	16,965	0	
	販売物品仕入支出					0	
	雑費支出		収入印紙　200×25枚　@5,000 音響用備品　@2,800	7,800	7,800	0	
事業予備費支出				5,494			
余剰金					5,494		
支出合計				3,200,000	3,200,000		

笑顔を繋ごう！
おのみち2525プロジェクト
事業報告書
（案）

組織活性化委員会
2021年12月6日

1

写真収集結果

目標：2525枚

⇓

結果：2570枚

2

協賛収集結果

目標:2,700,000円

⇓

結果:2,900,000円

3

協賛企業

青山配工(株) / (有)朝日屋 / (株)味昆 / (株)安保商店 / (株)アリックス / 井上設備(株) / 今岡製菓(株)
今中物産(株) / (有)歌港組 / (有)エイチ・アイカンパニー / (株)円福寺 / (有)オオタ産業 / 尾道塩干(株)
尾道海産(株) / 尾道ダイハツ販売(株) / 尾道三菱自動車販売(株) / 尾道みなと館 / (株)カタオカ / 川原食品(株)
(株)関西機工商会 / 北川鋼業(株) / (株)啓文社 / (株)コラボケア / (宗)金光教高須教会 / 西國寺 / 山陽工業(株)
三和鉄構建設(株) / 紙誠(株) / (有)清水住宅設備 / (株)純正食品マルシマ / 新和ビル・サービス(株) / 製鐵原料(株)
瀬尾税理士事務所 / 瀬戸税理士事務所 / 尊光寺 / (有)大松保温工業所 / (株)タカハシ / (有)タカハシ自動車サービス
高橋土地家屋調査士事務所 / (株)高升船舶工業 / 谷前住建(株) / 中国製紙工業(株) / (株)鉄道広告
鍋島歯科医院 / ニッコー機材(株) / 社会福祉法人会向晴会ひまわり認定こども園 / 平岡社会保険労務士事務所
(株)福井亀之助商店 / 扶桑工業(株) / (株)北洋本多フーズ / 丸一電設工業(有) / (株)まるじょう
水ノ上災害防具(株) / (株)みつぎ交流館 / みなと海運(株) / よしはら医療グループ
※全56社(あいうえお順)

4

協賛金　主要使用用途

①ラッピングバス×2台
（フルラッピング＋ハーフラッピング）

②ポスター
（フォトモザイク3種＋SNS用ポスター1種）

③自立式顔出しパネル×2

④花火＋会場費（有観客）

⑤その他

5

ラッピングバスデザイン



1号車＝フルラッピング

・市の花と木に認定されている『桜』をイメージ
・両サイドに笑顔写真を貼付け
・車体後部に尾道市立大学生フォトコンテスト
　金賞作品を使用したモザイクアートを掲載
・2021年11月6日より走行

2号車＝ハーフラッピング

・虹をイメージ
・両サイドに笑顔写真を貼付け
・2021年11月13日より走行

走行終了予定

2022年3月31日

6

ポスターデザイン



金賞



銀賞



銅賞



SNS投稿用ポスター

7

自立式顔出しパネルデザイン





千光寺
三十三観音堂付近
（赤丸部分に設置）
2022年3月末まで予定





尾道駅2階共用スペース
（赤丸部分に設置）
2022年3月末まで予定

8

花火（有観客イメージ）





びんご運動公園陸上競技場スタジアム

※1,000人未満にて実施

9

花火実施にむけての動き

6月	7月	8月	9月	10月	11月
企画立案	場所探し	・場所決定 ・花火業者決定 ・花火内容決定	・警察打ち合わせ ・消防打ち合わせ、手続 ・花火申請作成（業者） ・びんご使用申請手続き ・花火業者打ち合わせ	・消防で花火業者申請書の確認および修正(数回) ・消防最終手続き ・警備計画作成 ・びんご使用申請受理 ・会場でのリハーサル	実施

↑

本年度、実施スケジュールイメージ
（有観客サプライズ花火）

※有観客、無観客、告知の有無、打ち上げ場所など実施内容によって、大きく異なります。
余裕を持ったスケジュールで実施に向けて取り組む必要があります。
上記スケジュールは、ギリギリのスケジュールと感じました。
※花火業者が作成した申請書をもとに消防との打ち合わせ必須！消防最終受付＝実施日の2週間前まで。
消防所が打ち上げ許可申請を受理しないと打ち上げはできません。

10

場所の選定～保安距離～

広島県規定の保安距離

号数	玉の外径	開発高	開花直径	保安距離2級
2.5	7.5cm	80m	50m	65m
3	9cm	120m	100m	100m
4	12cm	150m	120m	110m
5	18cm	200m	150m	180m
6	18cm	220m	180m	190m
8	24cm	280m	250m	210m
10	30cm	300m	280m	240m
20	60cm	450m	450m	300m

打ち上げる花火玉のサイズに合わせた会場が必要となります。

打ち上げ数量の上限もあるので注意してください。

上限を超えた場合は、保安距離が大きくなります。

※赤枠内：今回の実施内容
（打ち上げ上限：300発）

花火を実施するにあたっての最重要事項です。
保安距離が確保できる場所が必要となります。

11

場所の選定　～候補地:びんご運動公園～



①陸上競技場
（今回の実施会場）

夏芝、冬芝の張替え時期があるとのこと。

張替え前であれば、花火を実施することができる可能性はありますが、びんご運動公園に確認が必須です。

クレームもなく、びんご運動公園管理者も喜ばれていましたが、確実に実施できるかは不明となります。

②球技場

砂地の為、地面への影響を考える必要はありませんが、3号玉以上になると公園内の道路に保安距離がかかる為、2.5号玉までとなります。

2.5号玉の場合でも、森に保安距離がかかる為、消防団に出動してもらう必要が出てきます。

びんご運動公園は県の所有物となる為、利用申請などに時間がかかります。

できる限り早期の打ち合わせが必要です。

12

場所の選定　～候補地：尾道北高・栗原中学校～



現地調査はしておりませんが、両学校の許可が取れれば実施できるスペースはあるかと思われます。

ただし…

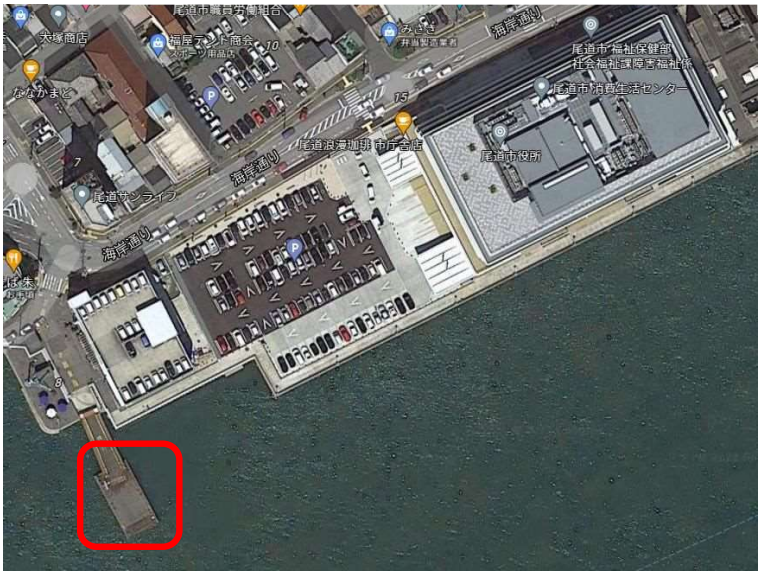
尾道市立　栗原中学校

広島県立　尾道北高校

と管轄が「市・県」と異なる可能性が高いため、手続等が困難なことが想定されます。

13

場所の選定　～候補地：市役所付近～



実施できるかは不明となります。

・市役所の駐車場を貸切る。
・海上保安庁への申請が必要。
（海にかかる為）
・近隣への事前連絡（苦情対策）
・渋滞による事故の発生
・警察の協力が必須
・警備船の手配　など

ハードルは高いと思われます。

14

業者の選定　～本年度依頼業者～

MORIKAMI
FIRE WORKS COMPANY

会社名	有限会社 森上煙火工業所
代表者	森上 真夢
所在地	〒701-1602 岡山県岡山市北区真星1082
電話番号	086-299-0950
資本金	1,000万
所属団体	一般社団法人 日本煙火協会 一般社団法人 岡山県火薬類保安協会

岡山JCメンバー

沿革

昭和27年1月	岡山県吉備中央町上加茂にて森上煙火製造工場創業
昭和31年5月	岡山市北区真星に工場移転 火薬類製造営業許可取得 岡山県指令第603号
昭和63年6月	有限会社 森上煙火工業所設立
平成6年4月	森上博人 代表取締役就任
平成23年5月	火薬類火薬類保安協会より表彰
平成26年5月	岡山県知事より優良表彰
令和2年4月	森上真夢 代表取締役就任

受賞歴

平成10年度	第16回全国新作花火競技大会 技能賞 ふくろい遠州の花火 創作逸品発表会 優勝
平成11年度	ふくろい遠州の花火 創作逸品発表会 芸術賞
平成13年度	第19回全国新作花火競技大会 技能賞 ふくろい遠州の花火 創作逸品発表会 芸術賞
平成16年度	ふくろい遠州の花火 創作逸品発表会 芸術賞
平成18年度	第24回全国新作花火競技大会 特別賞
平成26年度	第32回全国新作花火競技大会 殊勲賞

15

実施日までの様子



各委員長と現地での警備計画確認

サプライズショー（花火）



バスラッピング施工立ち合い



花火会場　防炎シート設置

16

当日の様子　～朝礼・準備～



AM8：00　全体朝礼（緑地帯）



バス出発式準備①



バス出発式準備②



9：30バス到着



バスを確認する現役メンバー



バス出発式準備完了

17

当日の様子　～バス展示・表彰式・出発式・試乗会①～



バス展示時間中①



バス展示時間中②



出発式前



フォトコンテスト表彰式①
（尾道市立大学生）



フォトコンテスト表彰式②
（尾道市立大学生）



バスを見送る人たち＆レモンシスター（司会）

18

当日の様子　～バス展示・表彰式・出発式・試乗会②～


自分を探す子供たち①


自分を探す子供たち②


自分を探す子供たち③



バスの運転席に乗る子供



インタビューを受ける家族



バス試乗を終える親子

19

当日の様子　～サプライズショー①～


花火設置(業者)①


花火設置(業者)②


陸上競技場前　バス・パネル展示


駐車場誘導係


受付係


客席誘導係

20

当日の様子　～サプライズショー②～



会場入口を風船で装飾



観客席　清掃・確認



バス・パネルをライトアップ



受付開始



写真を探す来場者



会場内の風景

21

当日の様子　～サプライズショー③～













22

メディア取材　～新聞・テレビ～


尾道新聞

笑顔のラッピングバスお披露目
来年3月末まで市内を運行

尾道の「2525」写真でモザイクアート

杉原市議一出席しない」
政倫審、3度目の要請も拒否


コロナ禍でも前向き
笑顔写真バス披露

中国新聞


尾道JC 夜空を彩る300発の花火
告知せずにぴんご運動公園で

夜空を染めるスターマイン

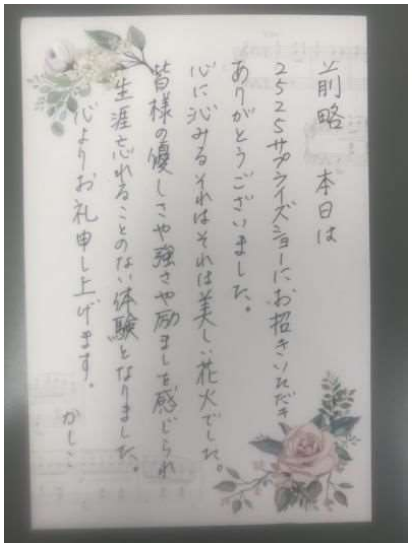
尾道新聞



尾道ケーブルテレビ

23

参加者の声　～手紙・公式LINEアカウント①～


前略　本日は
2525サプライズショーにお招きいただき
ありがとうございました。
心に沁みるそれはそれは美しい花火でした。
皆様の優しさや強さや励ましを感じられ
生涯忘れることのない体験となりました。
心よりお礼申し上げます。
かしこ


今日

2525プロジェクト、とても楽しませていただきました😊
小1年の娘は、11月6日は、ラッピングバスの写真を探すのをとても楽しんでました。
サプライズショーの時は、花火が始まる前から会場で大興奮。花火が始まると、ずっと『わ～！わ～！すご～い！』と今までになく、さらに大興奮‼

小学校に入学して、新しい環境で日々、がんばってる娘へのご褒美になりました。
本当に、ありがとうございました🙏

21:40

今日

サプライズショー、人生で忘れることのできない素敵なショーでした‼
目の前に広がる大輪の花たち🌸🌸🌸
音楽との融合も素晴らしく感動で胸がいっぱいでした。

ラッピングバスも子どもたちは自分を見つけてとても嬉しそうでした🚌

これからもさまざまなイベント楽しみにしています👼

ありがとうございました👼

17:45

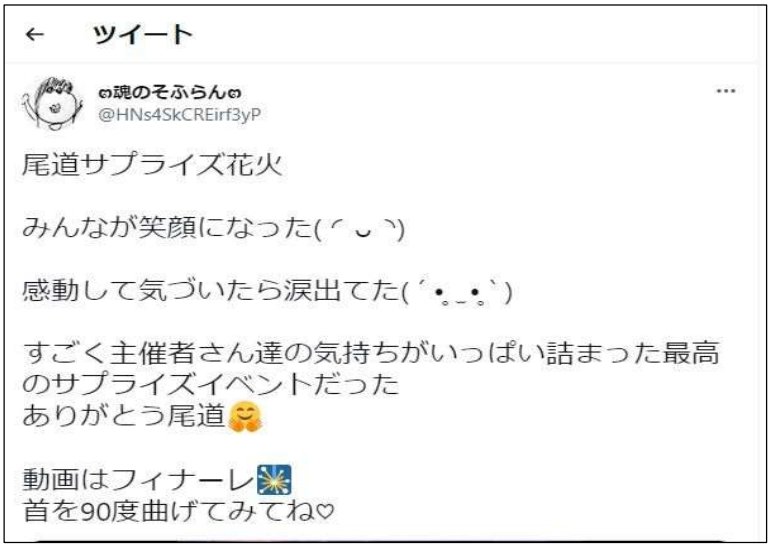
24

参加者の声　～手紙・公式LINEアカウント②～



25

SNSでの反響　～Twitterなど①～





26

SNSでの反響　～Twitterなど②～





会場以外の場所からも花火は見れたようです！

27

SNSでの反響　～Twitterなど③～



28

2525サプライズショー　タイムスケジュール・警備計画（参考資料）

当　日　準　備　運　営（１１．６）

当日準備運営タスク一覧

	タスク	管理責任者	担当委員会	タスク説明	
1	受付最終設置	藤田		受付テントの最終確認と準備	
2	カラーコーン・案内看板設置	小林		カラーコーンと案内看板を所定の位置に設置	
3	受付担当	藤田	総務広報委員会	受付にて来場者の検温と消毒、チケット・参加者リストの回収を行って頂きます。来場者リストを忘れてきた方には記入をお願いして下さい。終了後はスタジアム内の清掃作業をお願いします。	
4	会場内誘導	村橋	地域教育実践委員会／事務局	会場内（スタンド側とコンコース側に分かれて）で来場者を指定の座席へ誘導をお願いします。座席には座席プレートを事前に設置しておきます。終了後は帰りの混雑回避の誘導をお願いします。	
5	駐車場誘導	加度・田井	未来ビジョン委員会	駐車場入り口でのチケット確認と駐車場への誘導とをお願いします。終了後、駐車場にて帰りの混雑回避の誘導をお願いします。	
7	周辺道路警備	中本	拡大研修委員会	谷原先輩指導の下、周辺道路が混雑しないように誘導と注意喚起をお願いします。また来場が落ち着きましたら、会場周辺警備をお願いします。終了後、周辺道路の混雑回避の誘導をお願いします。	
8	会場周辺警備	小林	社会開発委員会	保安距離（立入禁止区域）に花火打ち上げ中、人が入らないように注意をお願いします。終了後はスタジアム周辺の清掃作業をお願いします。	
9	司会・PA	山本・長坂			
10	清掃		全員		
11					

タイムスケジュール

		氏名	15:00	16:00	16:30	17:00	17:30	18:00	18:30	19:00	19:30	20:00	20:30
	行程					来場				式典・花火	来場者帰宅		
	一般来場者					分散して来場				式典・花火鑑賞	分散帰宅		
1	正副事務局	安楽城	会場入/リハーサル	全体対応						本番			
2		島田元						会場入	会場周辺警備			清掃	
3		吉田	会場入/リハーサル	全体対応						本番			
4		髙升			会場入	周辺道路警備							
5		歌			会場集合／村橋より説明	バス車両対応				会場内対応	グラウンド清掃		グランド集合
6		加藤雄											
7		加藤雅											
8		水野											
9	未来ビジョン委員会	内海			会場集合／加度より説明	駐車場誘導（田井+2名は野球場側入場者への駐車場案内）＊18：50まで					駐車場誘導		グラウンド集合
10		森川											
11		安保											
12		高垣裕											
13		石岡											
14		馬原											
15		小川											
16		川口											
17		髙橋											
18		平岡											
19	社会開発委員会	大池						会場集合／小林より説明	カラーコーン設置・会場周辺警備		会場周辺　清掃		グラウンド集合
20		沼田											
21		福島											
22		池田											
23		大前											
24		沼尾											
25		山本圭											
26	地域教育実践委員会	島田昌				会場集合／村橋より説明	会場内誘導					客席清掃とグラウンド清掃	グランド集合
27		岡本大											
28		中川											
29		岩井											
30		大西											
31		政成											
32		村上直											
33		村上康											
34	拡大研修委員会	吉田嵩			会場集合	チケット確認/車両誘導			会場周辺警備		駐車場誘導		グラウンド集合
35		岡本正											
36		今岡											
37		中司											
38		半田											
39	総務広報委員会	小西			会場集合／藤田より説明	受付対応					客席清掃		グラウンド集合
40		中島											
41		森田											
42		大本											
43		亀田											
44		松本											
45		美ノ上											
46	組織活性化委員会	山本	リハーサル	全体対応						本番（司会）	清掃		グラウンド集合
47		髙山	リハーサル	びんご倒手続き対応	全体対応					本番	グラウンド清掃		
48		加度		会場入	説明	駐車場誘導							
49		村橋		会場入	説明	会場内誘導						客席清掃	
50		中本		会場入	説明	周辺道路警備					駐車場誘導		
51		長坂	リハーサル	音響・照明最終チェック			会場内誘導（補佐）			本番	グラウンド清掃済		
52		藤田	会場入	受付最終準備		受付対応					客席清掃		
53		田井			会場入／説明	駐車場誘導							
54		小林	会場入	案内看板準備	谷原先輩・森上煙火対応			説明	カラーコーン設置・会場周辺警備			外周清掃	
	谷原先輩			会場入り	周辺道路警備								
	森上煙火		13：00　会場入り リハ	最終確認						打上		撤収・清掃	

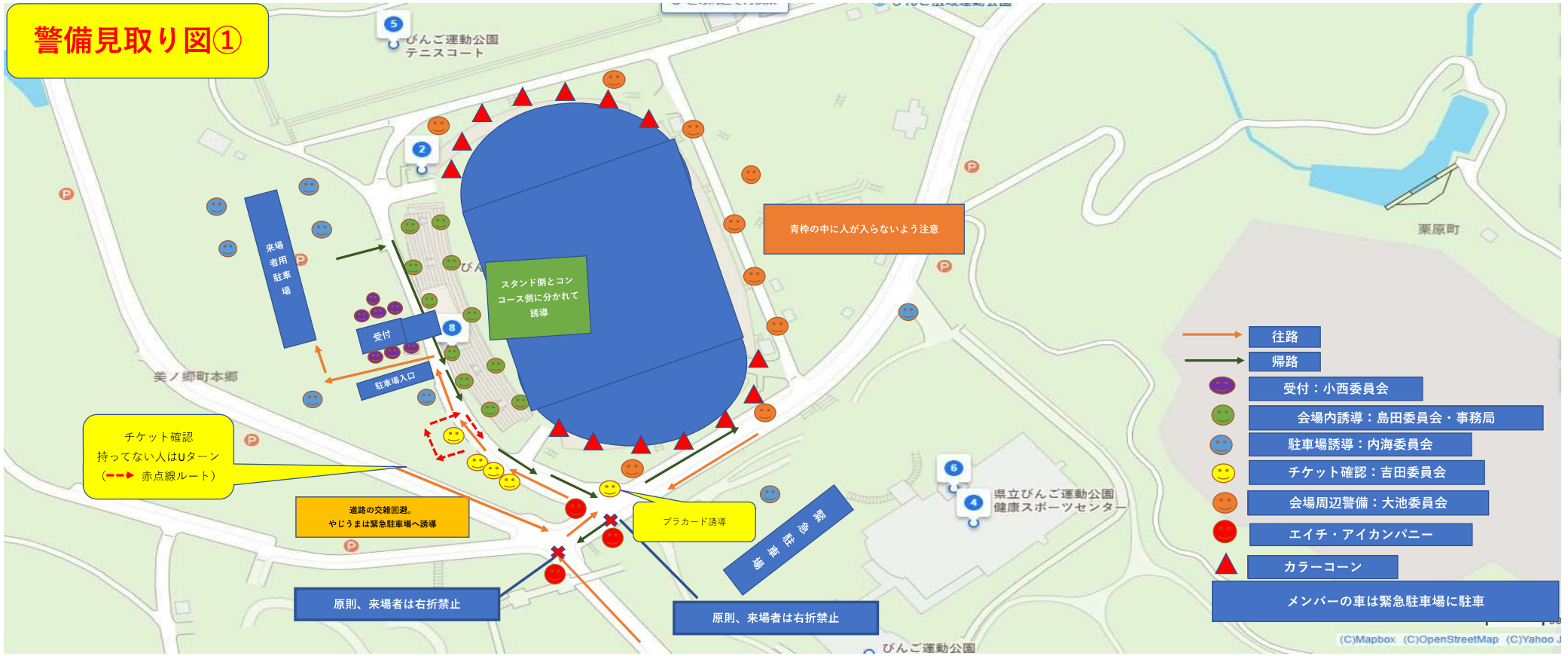
＜周辺地図とスタッフ配置場所（全体）＞



警備見取り図②
参照

警備見取り図①
参照

＜周辺地図とスタッフ配置場所（陸上競技場サイド）＞



＜周辺地図とスタッフ配置場所（野球場サイド）＞



火薬類（煙火）消費許可申請書

令和３年　　月　　日

尾道市消防局長　様

（代表者）　氏 名　（一社）尾道青年会議所
理事長　安楽城　大作

名称	おのみち２５２５プロジェクト						
事務所所在地（電話）	広島県尾道市土堂 2-10-3 （電話　0848-20-1110）						
職業	会社役員						
（代表者）　住　所 氏　名 （年　齢）	広島県尾道市高須町１１５８－１－８０３ 安楽城　大作 ３９歳						
火薬類の種類及び数量	1.5 号玉 4.5 cm	2 号玉 6 cm	2.5 号 7.5 cm	3 号玉 9 cm	4 号玉 12 cm	仕掛煙火 トラ・花束	仕掛煙火 小型煙火
			300			300	40
目的	尾道青年会議所の高められた結束力をもって、まちを活性化することを目的とします。						
場所	尾道市栗原町地先 広島県立びんご運動公園陸上競技場内						
日時（期間）	自　令和３年 11 月 6 日(土)　19:00 至　令和３年 11 月 6 日(土)　21:00（荒天時中止とする）						
危険予防の方法	火薬類取締法施行規則第５６条の４の各項目を遵守する以外に 別紙による危険予防の措置を行う。						

注　1　申請人が法人である場合には、法人名、代表者氏名を記載し、代表者印を押印すること。

2　この用紙の大きさは、日本工業規格Ａ列４とする

別記６
（煙火の場合）

火薬類（煙火）消費計画書

１　消費概要
令和３年　11月　６日　19時　00分　から　令和３年　11月　６日　21時　00分　まで

1.5号玉(4.5cm)　　発　　2号玉(6cm)　　発　　2.5号玉(7.5cm)　300発
3号玉（9cm）　　発　　4号玉（12cm）　　発　　5号玉(15cm)　　発
仕掛花火　トラ・花束　300本　　小型煙火 40台　　その他

仕掛花火の内容（種類，数量その他）

トラ・花束　300本
小型煙火（垂直型）　40台

別紙煙火消費プログラムに消費順序記載

２　煙火製造業者名
有限会社森上煙火工業所　代表取締役　森上　真夢
住所　岡山県岡山市北区真星1082　　TEL 086-299-0950

３　煙火打揚責任者及び従事者の氏名，年齢及び講習等保安教育受講年月日

氏名，年齢及び講習等保安教育受講年月日　別紙の通り

４　主催者側の行事の責任者及び副責任者の氏名，職業，当日の連絡先等

最高責任者　安楽城　大作　（尾道青年会議所　理事長）　090-9738-1578
責　任　者　吉田　雄太　（尾道青年会議所　副理事長）　090-9067-7084
立　会　人　山本　恭平　（尾道青年会議所　委員長）　080-9644-2843
立　会　人　高山　敦好　（尾道青年会議所　副委員長）　090-7770-2216

注　１　次の書類及び図面を添付すること。
(1) 煙火打揚従事者手帳の講習受講欄の写し，「煙火の消費に関する講習会」の受講証明書の写し又は保安教育を受けたことを証明するもの
(2) 申請位置図（２万５千分の１以上）
(3) 消費場所付近の状況図（２千５百分の１以上）
(4) 消費場所付近の詳細図
２　用紙の大きさは，日本工業規格Ａ列４とする。

煙 火 消 費 プ ロ グ ラ ム

2021/10/9

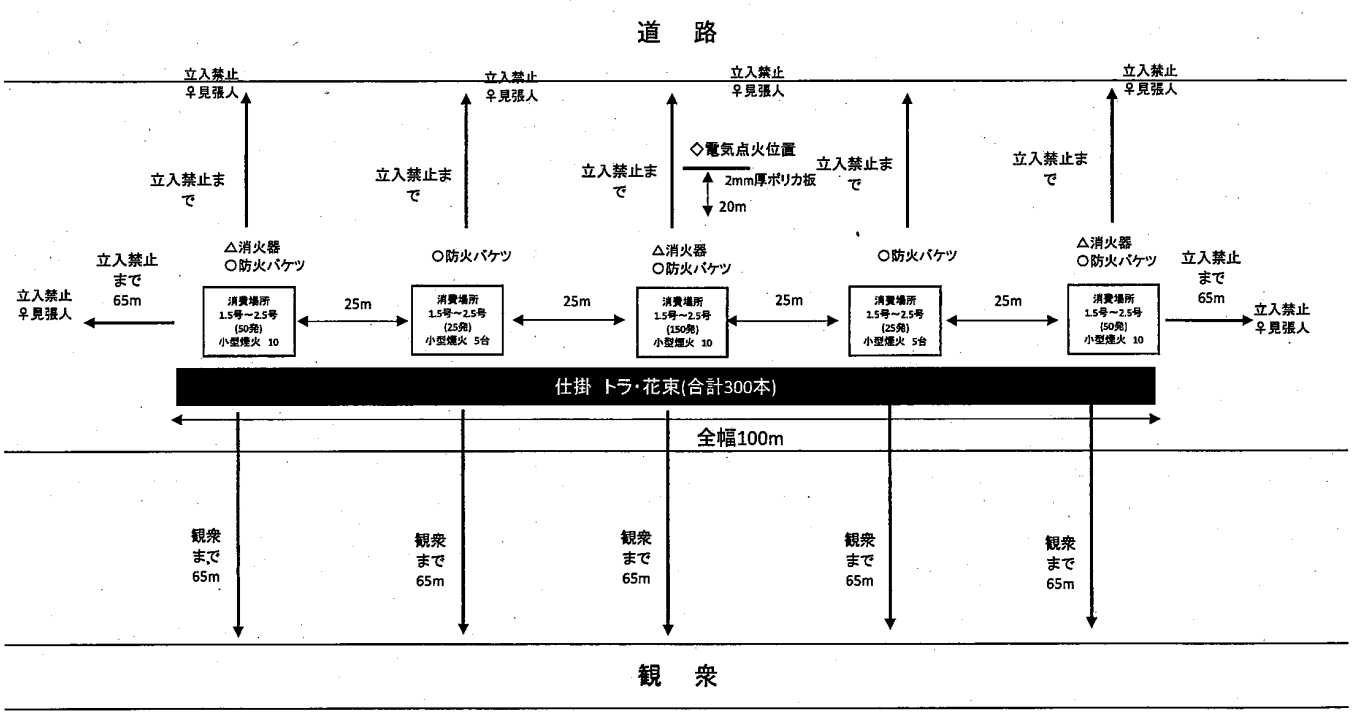
TIME	NO	種　別	1.5号	2号	2.5号	仕　掛 花束・トラ	仕　掛 小型煙火	備考
:	昼							
19 : 10	1	スターマイン			80	100	10	
19 : 13	2	スターマイン			30		5	
19 : 16	3	スターマイン			60	100	10	
19 : 19	4	スターマイン			30		5	
19 : 22	5	スターマイン			100	100	10	
	合　計		－	－	300	300	40	
	総発数							300

消費現場図

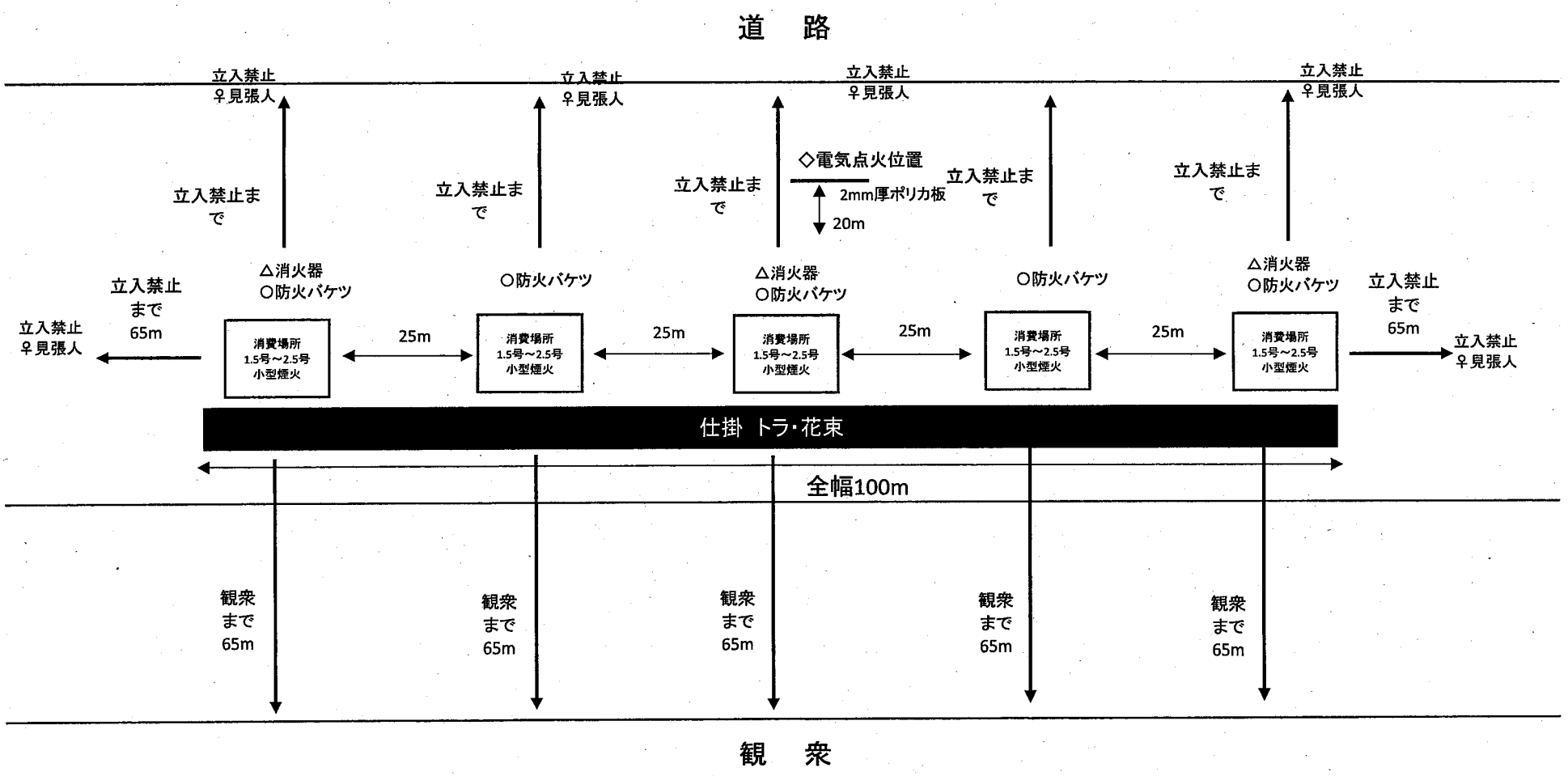

2.5号玉諸元
最大到達高度　80m
散開半径　25m
仕掛(トラ・花束)・小型煙火
最大到達高度　50m
広島県立びんご運動公園テニスコート
半径65m内立入禁止
♀見張人
♀見張人
広島県立びんご運動公園
複数のスポーツ施設やオートキャンプ場を…
♀見張人
仕掛 トラ・花束
観覧場所
♀見張人
♀見張人
半径65m内立入禁止
びんご食堂
広島県立びんご運動公園
健康スポーツセンター
打上場所には、
消火器・防火バケツ
を用意する。
Google
画像 ©2021 Maxar Technologies、地図データ ©2021　日本　利用規約　プライバシー　フィードバックの送信　50 m


申請位置図
申請位置
尾道市
尾道市立美木中
尾道市立美木原小
尾道市立西藤小
福山大
福山市立大成館中
広島県立松永高
ライオン松永通
ロイヤルスクール
備南自動車学校
福山市立神辺東小
如水館中学校 職員室
広島県立びんご運動公園 健康スポーツセンター
三原市立深小
尾道市立市民病院
尾道市立山波小
猫の細道
JA尾道総合病院
広島県自動車学校
尾道市立向東小
歌浦簡易郵便局
広島県尾道警察署
尾道中学
広島県立尾道商業高
三原市立木原小
レイヤ
Google

消費場所詳細図


道　路
立入禁止
♀見張人
立入禁止まで
◇電気点火位置
2mm厚ポリカ板
20m
△消火器
○防火バケツ
立入禁止まで65m
消費場所
1.5号～2.5号
(50発)
小型煙火 10
消費場所
1.5号～2.5号
(25発)
小型煙火 5台
消費場所
1.5号～2.5号
(150発)
小型煙火 10
25m
仕掛 トラ・花束(合計300本)
全幅100m
観衆まで65m
観　衆

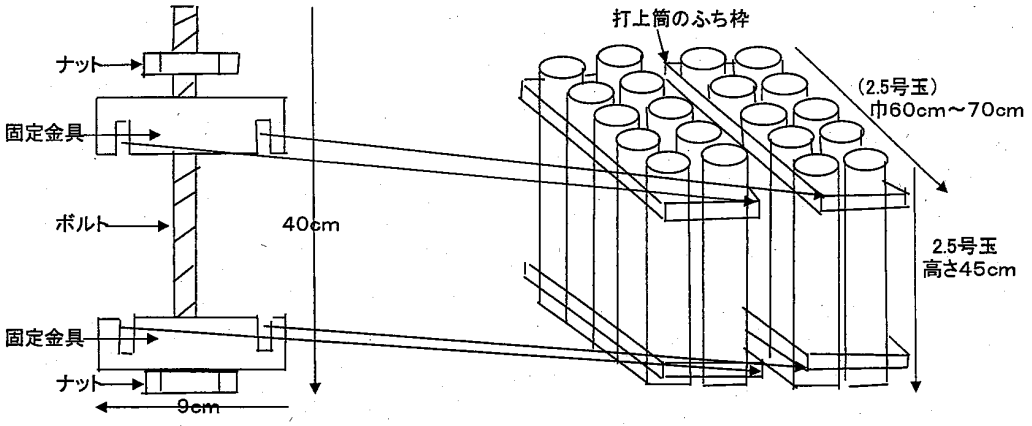
消費場所詳細図


道　路
立入禁止
♀見張人
立入禁止まで
△消火器
○防火バケツ
◇電気点火位置
2mm厚ポリカ板
20m
立入禁止まで
65m
立入禁止
♀見張人
消費場所
1.5号～2.5号
小型煙火
25m
○防火バケツ
仕掛　トラ・花束
全幅100m
観衆まで65m
観　衆

煙火打上筒の固定方法

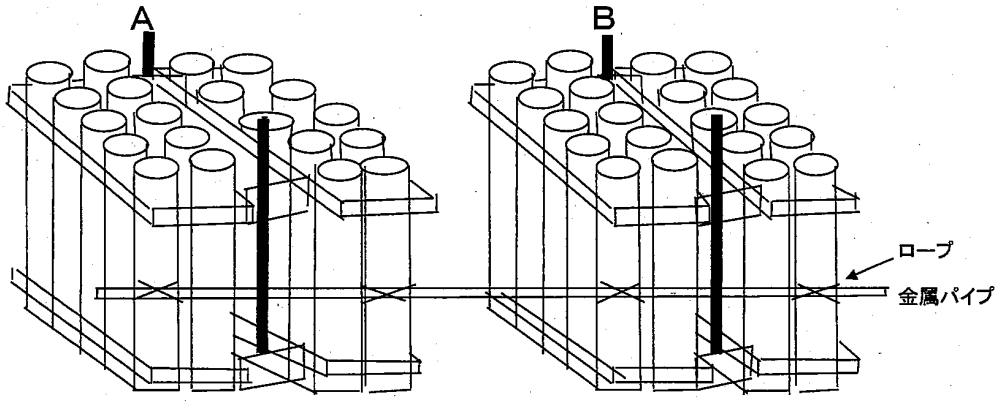
2.5号玉　(材質)ステンレス

☆ 固定金具の左右の溝を、打上筒(10連結)のふち枠の上下に組合わせナットを締めて
箱型に組み固定する。　　★仕込み後は防炎紙で覆いをして養生する。

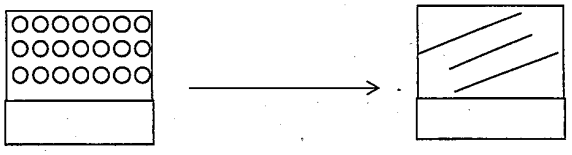


☆ 箱型が小さい時にはAとBの筒に金属製パイプを這わせロープで縛って連結固定する。

★ 仕込み後は防炎紙で覆い養生する。



小型煙火(箱型)　　★仕込み後は防炎紙で覆いをして養生する。



小型煙火は自重固定またはブロックとラッシングを用いて小型煙火と抱合せて固定を行う。

◎ (有)森上煙火工業所の点火方法

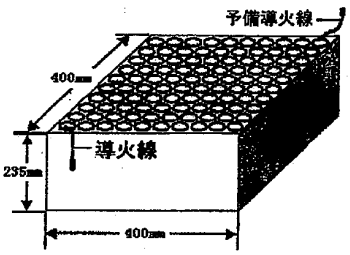
打上げ花火、仕掛花火ともにすべて電気点火方式(有線式)にて点火致します。

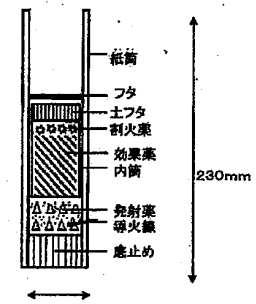
但し不着火の場合は飛散物を遮断する防護処置をほどこして直接点火する。(例2mm厚のポリカーボ板の盾
又は3mm厚のプラスチック箱56mm×40mm×32mmを使用する)

標準小型煙火明細書（垂直型打上）

品名	一箱入個(本数)		1個薬量(g) 効果薬	発射薬	割火薬		一箱薬量(g)	
小型煙火	１００		2260	500	368		3126	

構造図（形状・寸法）





内径 32mm	×100本
外径 39mm	

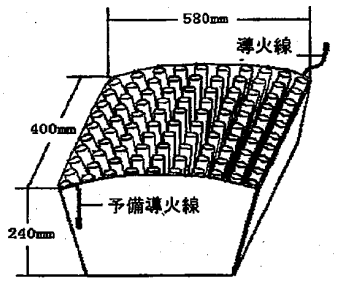
現象：導火線に点火すると、順次に各筒から発射薬にて効果薬が打ち揚げられる

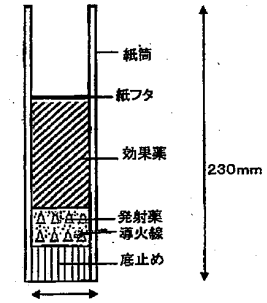
説明書要点：高度８０ｍ　散開半径１５ｍ

標準小型煙火明細書（扇型打上）

品名	一箱入個(本数)		1個薬量(g) 効果薬	発射薬	割火薬		一箱薬量(g)	
小型煙火	１００		1800	500	400		2700	

構造図（形状・寸法）





内径 32mm	×100本
外径 39mm	

現象：導火線に点火すると、順次に各筒から発射薬にて効果薬が打ち揚げられる

説明書要点：高度８０ｍ　散開半径１５ｍ

危険予防の方法（煙火）

1　別紙図面のとおり、消費場所から半径65m以内は立入禁止とし、
要所にはロープを張ったうえ見張り人を配置し、観客等の侵入防止を図る。

2　消防団、警戒員を各要所に配置する。

3　競技場のスプリンクラーにて事前散水、終了後の散水を行い、火災発生の防止を図ると共に、消費場所付近には満水の防火バケツ、消火器を用意する。

4　地元消防署、警察署等関係機関と十分協議し、安全の確保に努める。

5　観覧者が危険区域内に侵入した場合など、危険が予測される場合は、煙火の消費を一時中断する。

6　筒は別紙図面の通り、金属製連結金具を使用し、確実に固定する。

7　打上・仕掛煙火は、全て防炎紙で覆う。

8　点火は全て電気点火で行う。（ポリカーボネート板を使用する。）

9　筒を立てる場合は、筒を立てる位置の地面または、床面の状態に注意し、平らな面であることを確認して筒を立てる。

10　風向きと強風については十分注意し、風速10m/s以上の時（危険が予想される時）には煙火打上の中止若しくは、一時中断する。（観客席側への風向きで強く吹いている場合などは中止することを検討する。）

11　煙火消費中に事故等の緊急事態が発生した場合は、主催者は消費を中断して直ちに原因などの究明を行い、煙火の消費を再開する場合には、事故原因及び以降の煙火消費における安全が確保できたことを許可者に了解を得て再開する。

主催者立会人及び火薬類消費作業従事者名簿

日　時	令和　3年　11月　6日
場　所	備後運動公園

主催者立会人

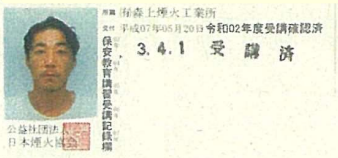
氏　　名	住　　所	電 話 番 号

火薬類消費作業従事者　　（但し年齢は保安講習受講日現在）

社員番号	区　分	氏　名	年齢	経験年数	保安手帳番号	保安講習受講年月日	住　　所
5	責　任　者	森　上　真　夢	34	10	2種HO－8W0064	令和3年4月1日	岡山市北区真星1082
3	従　事　者	溝　手　貴　敏	49	30	2種HO－8W0002	令和3年4月1日	岡山市北区河原1255
4	3	内　藤　正　博	37	18	2種免HO8W0046	令和3年4月1日	岡山市北区東山内578－1
6	4	杉　本　雅　幸	35	7	1種免HO8W0181	令和3年4月1日	真庭市西原267－7
8	5	黒　田　伸　一	65	32	2種HO－8W0059	令和3年4月1日	岡山市北区富田399
16	6	穴　田　勝　英	45	19	2種HO－8W0073	令和3年4月1日	高梁市下谷町4857－13
25	7	香　川　弘　志	34	9	2種HO－8W0121	令和3年4月1日	岡山市北区下足守1133
26	8	横　田　慎　司	35	11	2種HO－8W0132	令和3年4月1日	岡山市北区庄田853

煙火保安手帳の写し

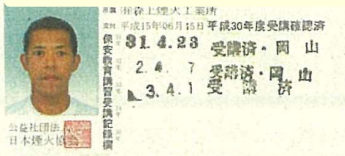










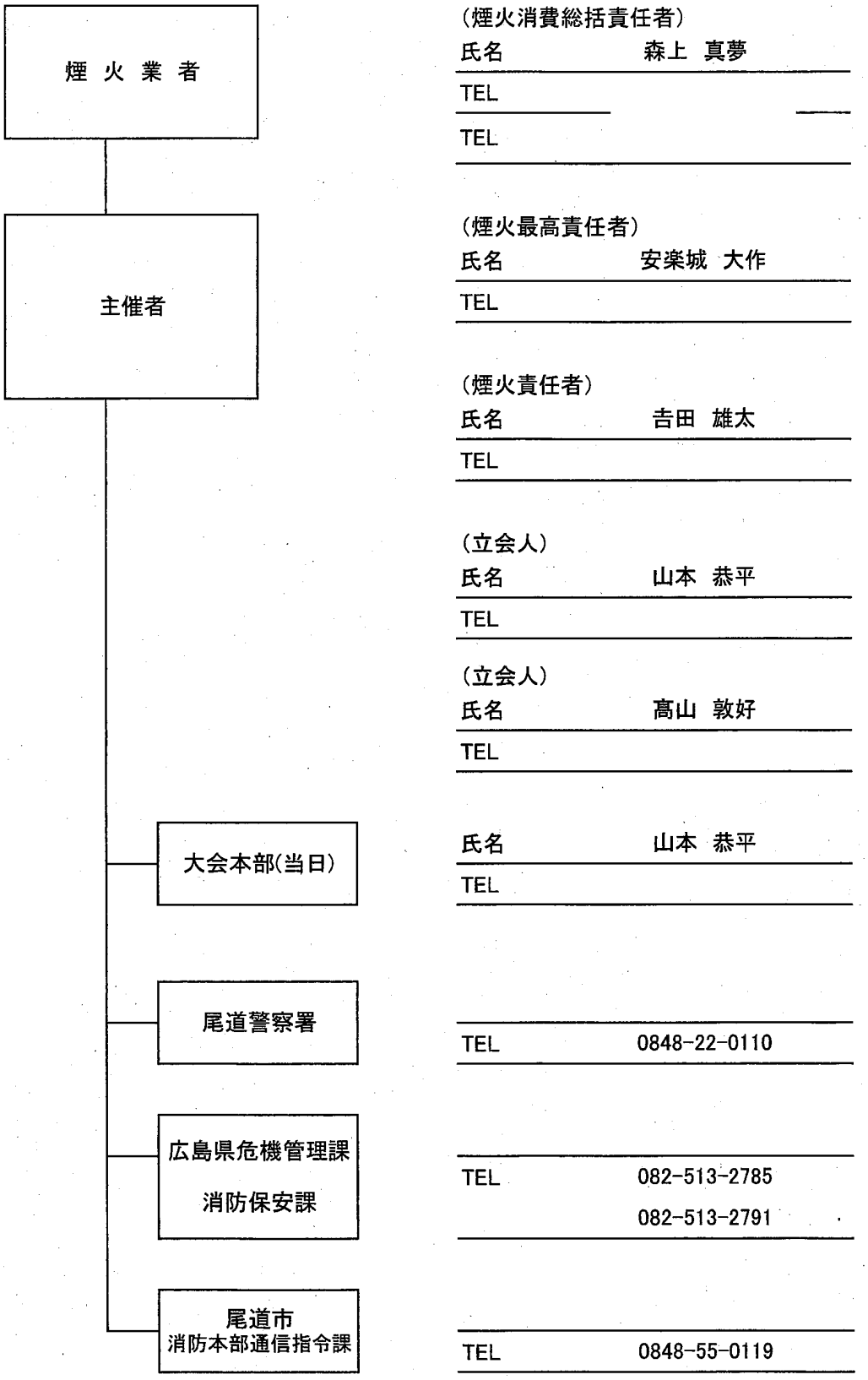




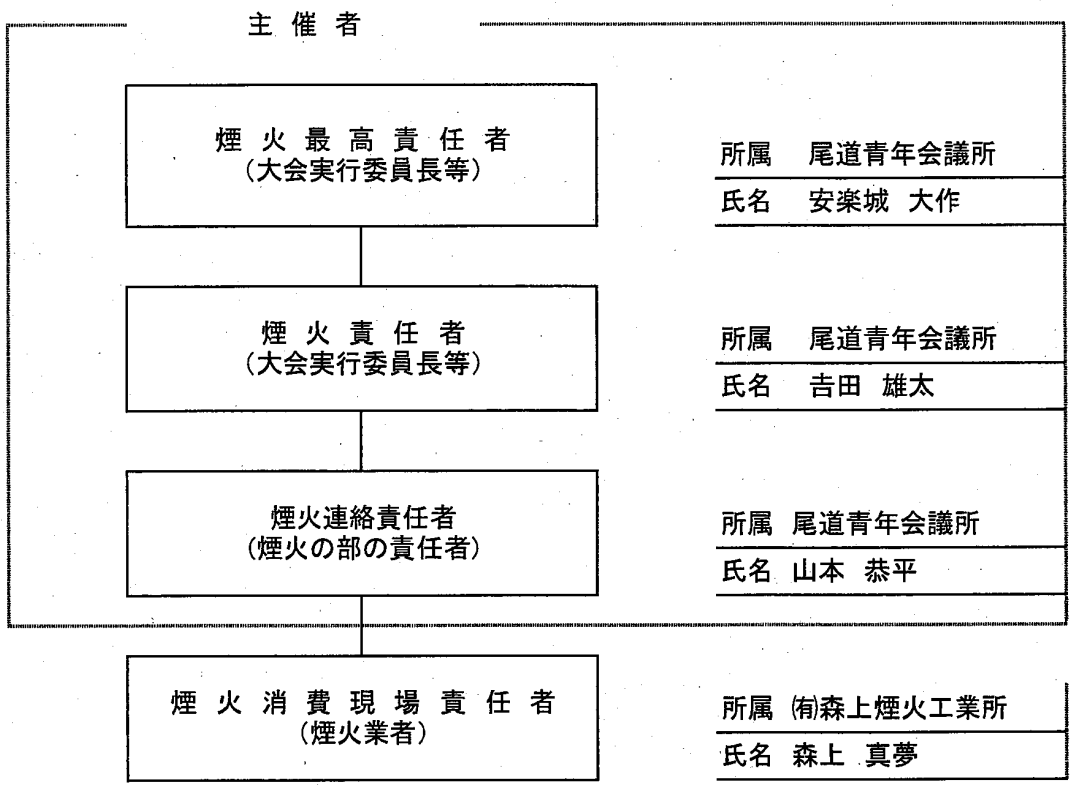




緊急連絡系統図


煙 火 業 者
（煙火消費総括責任者）
氏名 森上 真夢
TEL
TEL
主催者
（煙火最高責任者）
氏名 安楽城 大作
TEL
（煙火責任者）
氏名 吉田 雄太
TEL
（立会人）
氏名 山本 恭平
TEL
（立会人）
氏名 髙山 敦好
TEL
大会本部(当日)
氏名 山本 恭平
TEL
尾道警察署
TEL 0848-22-0110
広島県危機管理課
消防保安課
TEL 082-513-2785
082-513-2791
尾道市
消防本部通信指令課
TEL 0848-55-0119

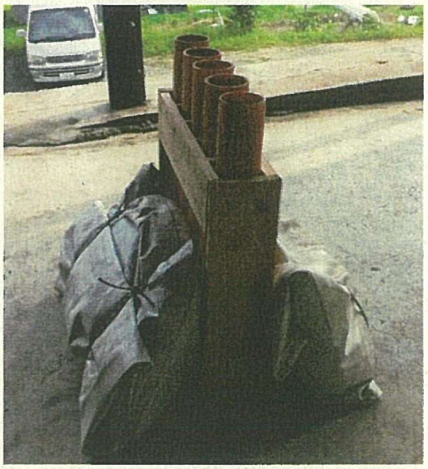
煙火消費保安管理組織図



仕掛詳細図

二次点火しない星（トラや花束）を打上げます。
仕掛煙火に該当する為、保安距離は20mで使用可能。

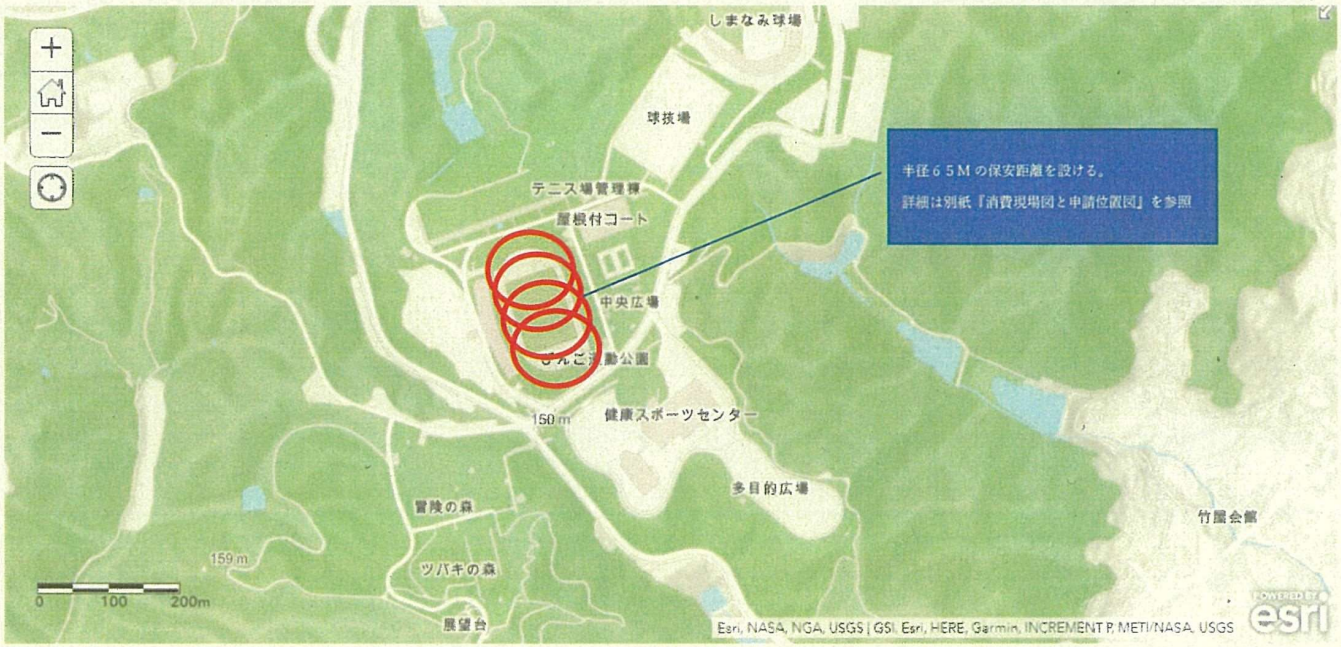
垂直（横から）



垂直（上から）



土嚢を両側2ヵ所に置き固定し、転倒防止を行う。


しまなみ球場
球技場
テニス場管理棟
屋根付コート
中央広場
健康スポーツセンター
150 m
多目的広場
竹屋会館
冒険の森
159 m
ツバキの森
展望台
0
100
200m
半径６５Ｍの保安距離を設ける。
詳細は別紙『消費現場図と申請位置図』を参照
Esri, NASA, NGA, USGS | GSI, Esri, HERE, Garmin, INCREMENT P, METI/NASA, USGS
esri

危険予防の方法（煙火）

1　別紙図面のとおり、消費場所から半径65m以内は立入禁止とし、
要所にはロープを張ったうえ見張り人を配置し、観客等の侵入防止を図る。

2　警戒員を各要所に配置する。

3　競技場のスプリンクラーにて事前散水、終了後の散水を行い、火災発生の防止を図ると共に、消費場所付近には満水の防火バケツ、消火器を用意する。

4　地元消防署、警察署等関係機関と十分協議し、安全の確保に努める。

5　観覧者が危険区域内に侵入した場合など、危険が予測される場合は、煙火の消費を一時中断する。

6　筒は別紙図面の通り、金属製連結金具を使用し、確実に固定する。

7　打上・仕掛煙火は、全て防炎紙で覆う。

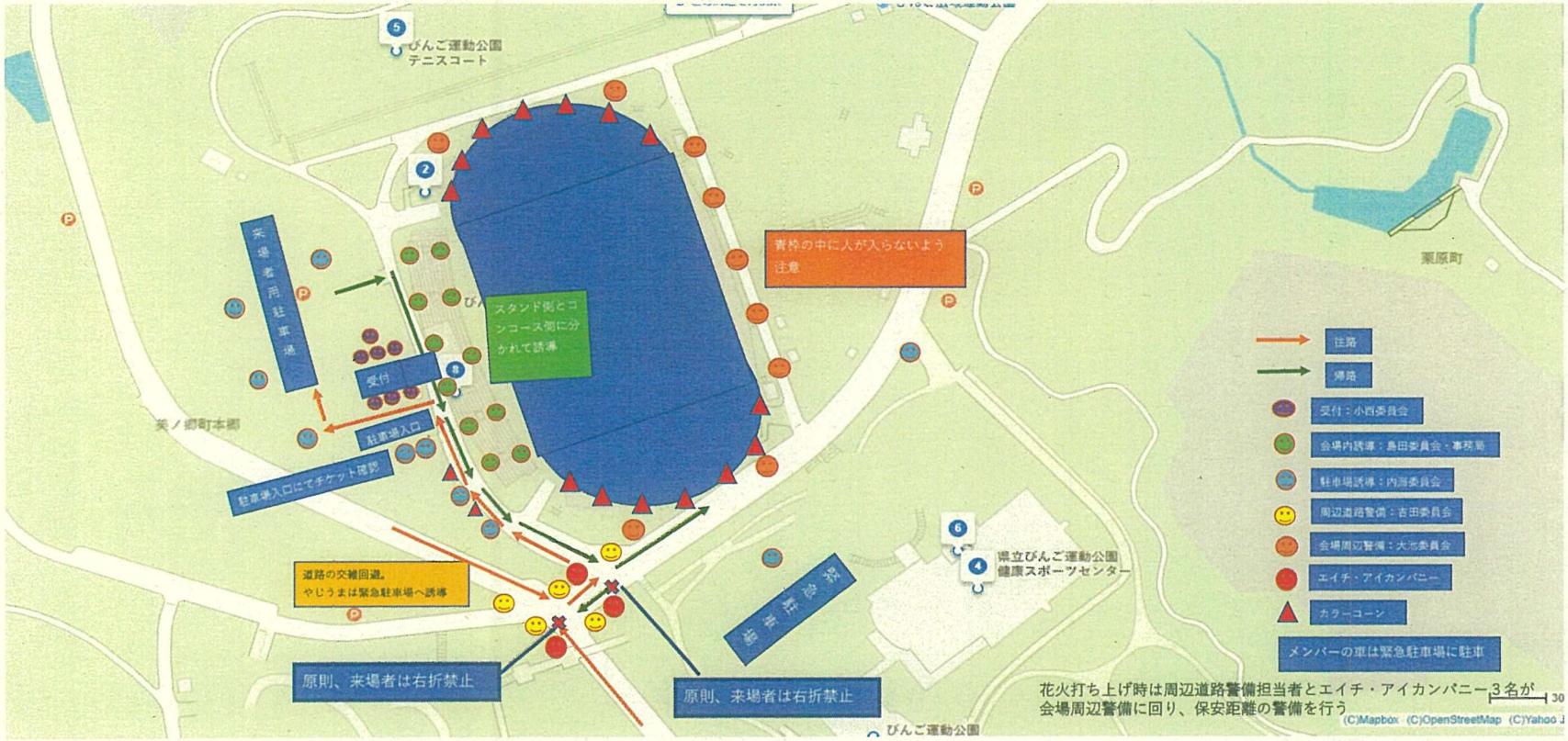
8　点火は全て電気点火で行う。（ポリカーボネート板を使用する。）

9　筒を立てる場合は、筒を立てる位置の地面または、床面の状態に注意し、平らな面であることを確認して筒を立てる。

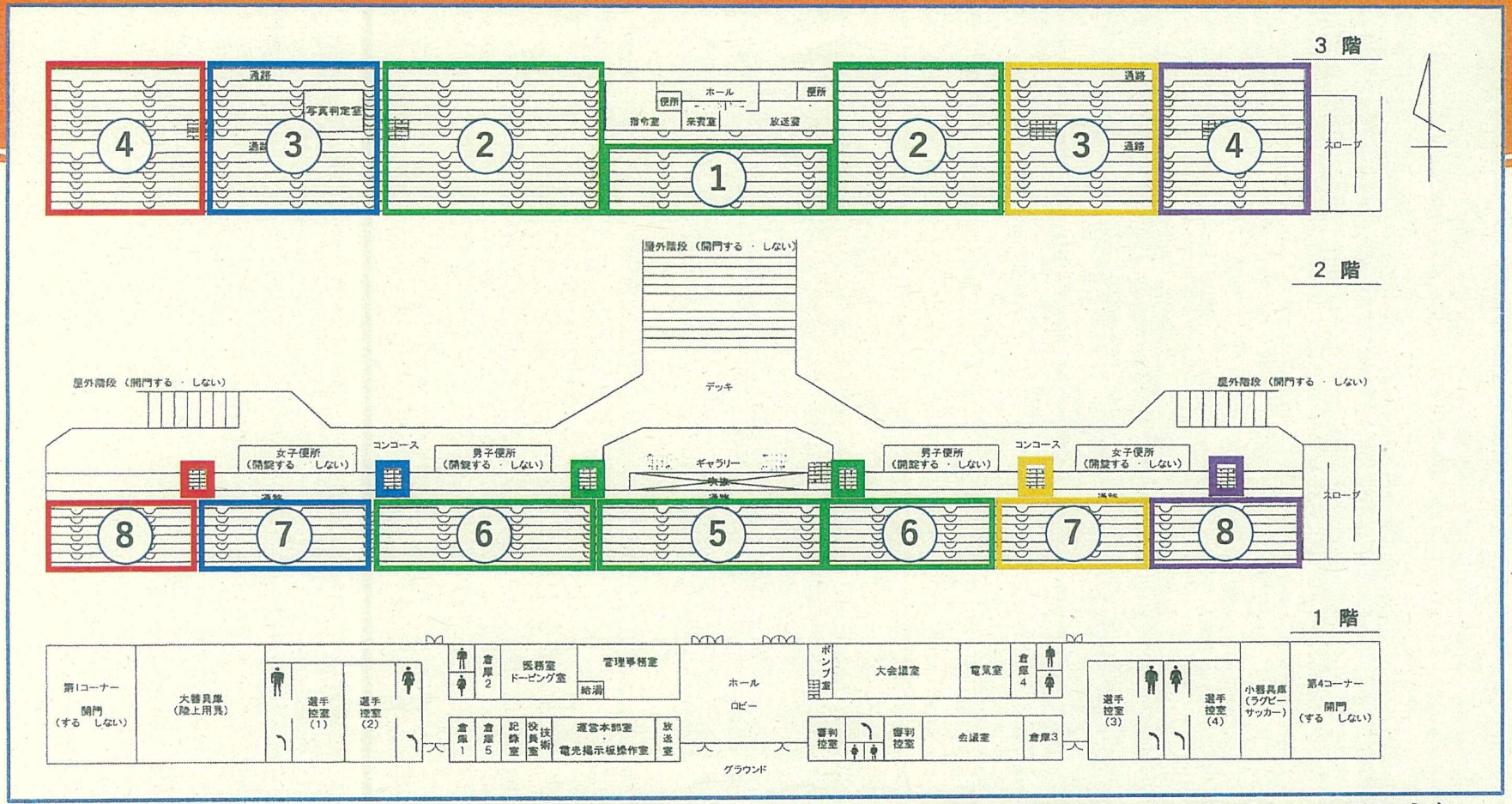
10　風向きと強風については十分注意し、風速10m/s以上の時（危険が予想される時）には煙火打上の中止若しくは、一時中断する。（観客席側への風向きで強く吹いている場合などは中止することを検討する。）

11　煙火消費中に事故等の緊急事態が発生した場合は、主催者は消費を中断して直ちに原因などの究明を行い、煙火の消費を再開する場合には、事故原因及び以降の煙火消費における安全が確保できたことを許可者に了解を得て再開する。

＜周辺地図とスタッフ配置場所＞



イベント会場内誘導（避難時含む）



同色のコンコースより退場を促す。①→⑧の順に誘導（3階席→2階席）

後援名義使用許可書

一般社団法人　尾道青年会議所
理事長　　安楽城　大作　様

令和３年７月９日付けで依頼のありました、尾道市の後援名義使用願については許可します。

行事名
おのみち２５２５プロジェクト

令和３年７月１５日

尾道市長　平谷祐宏

なお、尾道市後援名義使用許可基準に反する行為が認められた場合、使用許可を取り消すことがあります。

指令東建三管第1307号

尾道市土堂２丁目10-３
尾道商工会議所ビル３F
一般社団法人尾道青年会議所

令和3年9月14日付けで申請の都市公園の行為については，広島県都市公園条例（昭和55年広島県条例第29号）第2条の規定によって，次のとおり許可します。

令和3年10月28日

広島県東部建設事務所長　蒲原　幹生

1　行為の目的

おのみち2525ナイトプロジェクト（打ち上げ花火）を実施する。

2　行為の期間

令和3年11月6日(土)13:00から21:00まで
（準備，片付けを含む。）

3　行為をする公園名

広島県立びんご運動公園（尾道市栗原町997番地）

4　行為の場所

第１駐車場及び陸上競技場（外周部を含む）

5　許可条件

この行為に当たっては，都市公園法などの法令の規定及び次の条件を遵守すること。

(1)　行為の場所等を変更する場合は，直ちに公園管理者に届け出ること。

(2)　許可を受けた施設の使用にあたっては，事故が発生しないよう，十分な安全管理を行わなければならない。

(3)　許可書に記載されている内容及び条件に違反したとき，又は都市公園の管理に支障を生じたときは，許可を取消し，原状に回復させるよう指示することがある。

(4)　許可を受けた施設の使用に起因して第三者に損害を与えた場合は，許可を受けた者の負担において補償しなければならない。

(5)　許可を受けた施設の使用に起因する苦情・トラブル等については，許可を受けた者が対応しなければならない。

(6)　許可を受けた施設の使用に起因するごみ等の発生防止対策を講じるとともに，周辺

施設の清掃を行うこと。

(7) 許可を受けた施設において火気を使用した場合は，終了時に完全に消化したことを確認し，指定管理者へ報告すること。

(8) 新型コロナウイルス感染症防止対策については，指定管理者からの利用に係る指導を遵守すること。

この処分について不服がある場合は，この処分があったことを知った日の翌日から起算して３か月以内に，広島県知事に対して審査請求をすることができます。また，この処分があったことを知った日（広島県知事に対して審査請求をした場合は，当該審査請求に対する広島県知事の裁決があったことを知った日）の翌日から起算して６か月以内に広島県を被告として広島地方裁判所にこの処分の取消しの訴えを提起することもできます（訴訟において広島県を代表する者は，広島県知事となります。）。



様式第1号（第2条関係）

3.10.25
分類記号

許　可　申　請　書

2021年　9月　14日

広島県東部建設事務所所長　様

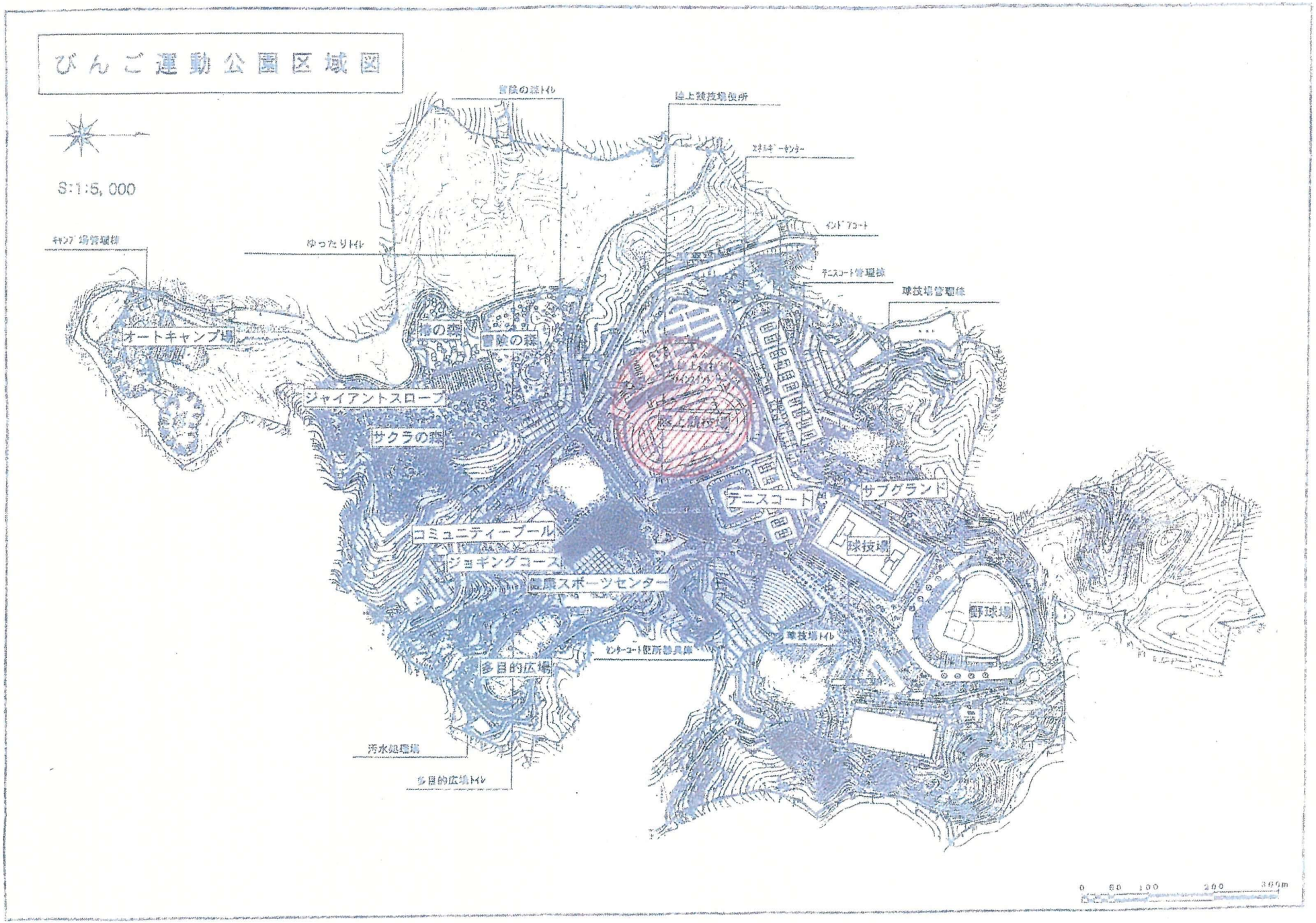
郵便番号 722-0035
申請者　住　所 広島県尾道市土堂2丁目10－3
尾道商工会議所ビル3F
一般社団法人 尾道青年会議所
氏　名　代表者 理事長 安楽城大作 ㊞
（法人にあっては、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名）
担当者　山本茶平

広島県都市公園条例第2条第１項前段の規定により、次の通り許可してください。

行為の種別	イベント（無料のショーイベント）
行為をする公園名	広島県立 びんご運動公園

行為の目的	おのみち2525ナイトプロジェクト 受付および会場案内　車の駐車誘導を行うため
行為の日時又は期間	2021年11月6日　13時～21時（準備片付け含む） ～ ~~2021年11月7日　10時～12時（準備、片付含む）~~
行為の場所	陸上競場エントランス、陸上競技場、陸上競技場外周
行為の内容	おのみち2525ナイトプロジェクト 受付および会場案内　車の駐車誘導を行うため。 火気使用（打ち上げ花火）を行うため

注１　行為の種別の欄には　例えば「物品の販売」「物品の頒布」などを記載すること
　２　行為をする公園名の欄には、行為をしようとする都市公園名を記載すること
　３　行為の場所については位置図を添付すること
　４　用紙の大きさは、日本工業規格Ａ列４とすること


びんご運動公園区域図
S:1:5,000
オートキャンプ場
ジャイアントスローブ
サクラの森
コミュニティープール
ジョギングコース
多目的広場
多目的広場トイレ
汚水処理場
ゆったりトイレ
陸上競技場便所
テニスコート
サブグランド
球技場
野球場
球技場トイレ
0 50 100 200 300m

テント設置見取り図



様式第20号

火　薬　類　消　費　許　可　証

指令消火第6号
令和3年10月25日

尾道市消防局長

住　　所	広島県尾道市土堂二丁目１０－３			
氏名（年齢） 又は名称	（一社）尾道青年会議所　理事長　安楽城　大作			
職　　業	会社役員			
火薬類の種類 及び数量	スターマイン（2．5号玉）　300個	仕掛煙火（トラ・花束）　300個	仕掛煙火　40台	――――――
	――――――	――――――	――――――	――――――
	――――――	――――――	――――――	――――――
目的	おのみち２５２５プロジェクト			
有効期間	令和３年１１月６日　から　令和３年１１月６日　まで　（延期日　　なし　）			
消費場所	広島県尾道市栗原町地先（広島県立びんご運動公園陸上競技場内）			
許可条件	危険予防の方法を厳守すること。			

※この許可証は，常に本人の手元に所持しなければならない。

＊この領収書は５年間大切に保管してください。

納入通知書兼領収書

広島県尾道市
３４２０５０

第 212 号	主管課	尾道市消防局
納入者住所 氏　　名	（一社）尾道青年会議所　様	

歳入ID	年度	会計	款	項	目	節
53	503	1	14	2	5	1

※数字は右詰で記入してください。

摘要

大型船関係許可等申請手数料　1　件

明細							
			7	9	0	0	円
							円
							円
計		¥	7	9	0	0	円

納期限	年　月　日

上記の金額を納入してください。

年　月　日

尾道市長

領収印

領収
-3.10.15
尾道市出納員
27

[redacted]銀行又は尾道市収納代理金融機関

（納入者保管）

一般社団法人　尾道青年会議所　事業報告（案）決算（案）

審議　事項

委員会名：地域教育実践委員会
委員長名：島田　昌広

（1）議案名　次世代育成事業の調査・研究・実践　事業報告（案）決算（案）に関する件

（2）事業名　テーマ　「おしごとウラがわ　探険バスツアー！」

（3）事業実施に至る背景

衣・食・住は人の生活に欠かせない要素ですが、そこから派生する様々な技術の発展により、人々の生活は見違える程、豊かになりました。しかし、物が溢れ、満たされることが当たり前になってしまうことで、自分の置かれている環境に「ありがとう」という気持ちを感じることが難しくなっています。子ども達には、自分たちの住むまちを支える大人達との関わりの中で、感謝の気持ちを育む機会が必要と考えます。それは子ども達にとって、地域を支える仕事の魅力を知ることにもつながります。

（4）事業目的（趣旨）

a．（対外）生活を支える環境には、働く人たちの「思い」があることを知ることで、人や物に対して感謝の気持ちが生まれます。日常が「ありがとう」という気持ちで満たされたまちは、きっと幸せで溢れています。そんなまちを創造する為、時代を担う子ども達に、地域を支える仕事の魅力を学びながら、「ありがとう」を感じる大切さを伝えることを目的とします。

b．（対内）子が親を見て育つように、我々親世代も子ども達から見られています。事業に真剣に向き合う姿を見せることで、子ども達に対して模範を示すことの大切さを再確認して頂くことを目的とします。

（5）事業概要

a．実施日時　２０２１年　１１月　６日（土）８：４５～１５：４５

b．場　　所　尾道市内　企業３社
・株式会社　佐藤工務店
・尾道造船　株式会社
・株式会社　啓文社

c．実施組織・推進リーダー　地域教育実践委員会　委員　岩井達也
委員　村上康
委員　中川裕智

（6）参加人員　内部　　９名　　外部　　３０名　　計　　３９名
（内部内訳：配偶者　　名、子ども　　３０名）

（7）事業の目的は達したか

一日で３社を訪問するタイトなスケジュールの中で、それぞれの企業での学びが断片的で希薄なものにならないように、バス内での事前講義を取り入れました。各企業の担当者様と打ち合わせを

重ね、基礎的な知識をバス内で学び、企業訪問ではより専門的なことや、見学・体験を通して実感できることを教えて頂きました。事前講義と企業訪問で内容を完結させることで、限られた時間を有効に使うことができたと思います。「ありがとうを感じる大切さを伝える」を目的とした事業でしたが、アンケートだけでなく、企業へのお礼のメッセージカードにも、「私たちが安全に使えるようにやってくれていることが伝わってきた」「私たちの生活を支えてくれている」等、感謝のコメントが多く見られました。また、ご協力頂いた企業の担当者様からも、「新しい形の見学・体験を実施することができて参考になった」「今後もこういった事業があれば協力したい」というお言葉を頂き、子ども達に地域を支える大人たちとのつながりを持ってもらう一助にもなったと思います。「楽しい」だけでなく、尾道の仕事の魅力を伝える中で、「感謝」の気持ちを育むことができたことから、本事業の目的は達したと考えます。

（8）実施上の問題点

・先着にもれた申込者へのご連絡や、参加者への直前の「体調・注意事項確認」の連絡がつながりづらいご家庭があったので、申込書に「連絡を取りやすい時間帯」を記入して頂くと、何度もご連絡する手間がかからなかったと思います。
・当初、開会式・閉会式ともに「尾道東公園」に集合して頂く様にご案内していましたが、解散時刻（１５：４５）は公園を利用する一般の方々で駐車場が混み合うことから、直前に閉会式を「株式会社味昆」の駐車場に変更することになりました。当日の受付時に「閉会式・解散場所の変更のお知らせ」を配布することになったので、事前に同曜日の解散予定時刻の現地調査が不十分だったと思います。
・基本的には開会式と閉会式は同じ場所で行う方が、参加者の混乱を防ぐことにつながると思います。なるべく企業の駐車場をお借りすることなく実施できるように、公共の施設等にご相談に伺う等、事前の駐車場の確保が重要だと感じました。

（9）次年度への引継事項

・写真や動画撮影は各企業の社内規定によって了承頂けないケースがあるので、事前に確認が必要です。本事業では、当初尾道造船様のみ写真と動画の撮影はＮＧとされていましたが、当日に撮影した写真を担当者様に確認して頂き、ご了承頂いた物に関しては使用許可を頂きました。
・バス内の事前講義を行いましたが、事前に移動時間を調査し、余裕を持ったタイムスケジュールを作成することが大切だと思います。バス内で参加者が体調を崩してしまう事態等も想定し、時間配分や人員配置、対応策を検討しておく必要があります。
・アンケートやメッセージカードを事業当日に書いてもらったことが効果的だったと思います。事業に対する率直な感想や、訪問した企業の担当者の皆さんへの感謝の気持ちや感動を素直に書いてもらえたと思います。
・啓文社での体験が予定の終了時間より１５分程過ぎてしまいました。計画段階で体験時間をもう少し長く設定すべきだったと思います。急遽本社での講義時間を短くして頂くことで調整しましたが、最後のアンケート・メッセージカードの記入時間も数分短くなったので、子ども達に余裕を持って書かせてあげるべきだったと思います。
・企業で子ども達に配布された資料や講義内容には、小学４年生～６年生には一部難しい内容もありました。企業での講義内容について、事前にシナリオ（配布資料）を頂く、可能であれば講義を見せて頂く等、打ち合わせ段階で確認が必要だと感じました。
・職場体験の事業を実施して、今後さらに対象年齢を広げ、参加者を増やしての実施も可能だと感じました。企業数を増やしての実施、申込時の企業の選択制、低学年（１年生～３年生）と高学年（４年生～６年生）に分けての実施、３社のご協力でもＡ社⇒Ｂ社⇒Ｃ社、Ｃ社⇒Ａ社⇒Ｂ社と２グループで時間帯をずらしての実施等、色々な方法で規模を拡大することができると思いま

す。この度ご協力頂いたどの企業の担当者様からも、「今後もできることは協力していきたい」というお言葉を頂きました。職場見学・体験を実施する際の参考になればと思います。

（１０）委員長所見

小学生対象の事業は、メンバーがいかに自然体で臨めるかが重要だと思います。ぎこちなさや緊張感は、子ども達に伝わってしまいます。入念な打ち合わせ、リハーサルを重ねることで、気持ちに余裕がうまれ、自信を持って子ども達と向き合うことができ、子ども達の笑顔を引き出せるのだと思います。

委員会メンバーが各企業との打ち合わせの中で、「委員会の思い」と「企業の思い」をしっかり伝え合い、担当メンバーが自分の言葉で講義内容を作り上げ、リハーサルの度にクオリティを高めてくれました。その結果、当日はメンバー全員がリハーサル以上の力を発揮し、事業を良い形で終えることができたのだと思います。

怪我やトラブルもなく、参加してくれた子ども達に喜んで頂けたのも、皆様のご指導・ご協力があったからこそだと感謝しております。本当にありがとうございました。

（１１）添付資料

事業収支計算書（案）
収支計算明細書（案）
アンケート集計結果（参考資料）
メッセージカード（参考資料）
企業お礼訪問（参考資料）
事前講義シナリオ・配布資料（参考資料）
閉会式・解散場所変更について（参考資料）
事業実施までの流れ（案）
事業を終えての対応（参考資料）

第１２回理事会　　２０２１年　１２月　６日

事業収支計算書（案）

事業名　おしごとウラがわ　探険バスツアー！

収入の部

大科目	中科目	小科目	細目	予算額	決算額	差異	備考
事業収入	事業費繰入収入	事業費繰入収入		300,000	300,000	0	
	事業費繰入収入	事業予備費繰入収入					
	登録料収入	登録料収入		15,000	15,000	0	参加費／500円×30名
	販売収入					0	
	広告料収入					0	
	負担金収入					0	
	雑収入					0	
補助金等収入	国庫補助金収入					0	
	地方公共団体補助金収入					0	
	民間補助金収入					0	
	国庫助成金収入					0	
	地方公共団体助成金収入					0	
	民間助成金収入					0	
寄付金収入	寄付金収入					0	
	募金収入					0	
収入合計				315,000	315,000	0	

支出の部

大科目	中科目	小科目	細目	予算額	決算額	差異	備考
事業費支出	事業	会場設営費支出	人件費支出			0	
			食事代支出	15,000	15,000	0	やすもと（@500円×30名）
			会場費支出			0	
			設営費支出	57,750	57,530	220	
			運送費支出			0	
			レンタル料支出			0	
		小計		72,750	72,530	220	
		企画演出費支出	人件費支出			0	
			食事代支出			0	
			企画費支出			0	
			演出費支出	24,880	22,421	2,459	
			旅費交通費支出			0	
		小計		24,880	22,421	2,459	
		本部団関係費支出	人件費支出			0	
			食事代支出			0	
			会場費支出			0	
			設営費支出			0	
			旅費交通費支出			0	
			通信費支出			0	
			運送費支出			0	
			消耗品費支出			0	
			レンタル料支出			0	
			保険料支出			0	
			渉外費支出			0	
		小計		0	0	0	
		講師関係費支出	食事代支出			0	
			旅費交通費支出			0	
			宿泊費支出			0	
			保険料支出			0	
			諸謝金支出			0	
			会合費支出			0	
			記念品代支出	30,000	30,000	0	（有）桂馬蒲鉾商店（10,000円×3社）
		小計		30,000	30,000	0	
		広報費支出	運営費支出			0	
			会場費支出			0	
			設営費支出			0	
			通信費支出			0	
			消耗品費支出			0	
			レンタル料支出			0	
			作成費支出	26,400	26,400	0	紙誠
			PR費支出			0	
		小計		26,400	26,400	0	
		資料作成費支出	通信費支出			0	
			資料費支出	180	180	0	アンケート・しおり（30名分）
			消耗品費支出			0	
			レンタル料支出			0	
			作成費支出		0	0	
		小計		180	180	0	
		報告書作成費支出	通信費支出			0	
			資料費支出			0	
			消耗品費支出			0	
			レンタル料支出			0	
			作成費支出			0	
		小計		0	0	0	
		懇親会費支出	人件費支出			0	
			会場費支出			0	
			設営費支出			0	
			旅費交通費支出			0	
			運送費支出			0	
			レンタル料支出			0	
			保険料支出			0	
			飲食費支出			0	
			アトラクション費支出			0	
		小計		0	0	0	
		渉外費支出	役員渉外費支出			0	
			記念品代支出			0	
		小計		0	0	0	
		旅費交通費支出	旅費支出			0	
			交通費支出			0	
			宿泊費支出			0	
		小計		0	0	0	
		参加記念品代支出				0	
		保険料支出		4,470	4,470	0	賠償責任保険
		通信費支出				0	
		販売物品仕入支出				0	
		雑費支出				0	
	事業予備費支出			156,320			
余剰金					158,999		
支出合計				315,000	315,000		

収支計算明細書(案)

事業名　おしごとウラがわ　探険バスツアー！

＜収入明細書＞

中　科　目	小　科　目	細目	摘　　要	予算額	決算額	差異	備考
事業費繰入収入	事業費繰入収入			300,000	300,000	0	
登録料収入	登録料収入		参加費／500円×30名	15,000	15,000	0	
						0	
						0	
						0	
			合　　計	315,000	315,000	0	

＜支出明細書＞

中　科　目	小　科　目	細目	摘　　要	予算額	決算額	差異	備考
事業費支出	会場設営費支出	設営費支出	おのみちバス貸切	57,200	57,200	0	大型バス一台
		設営費支出	消毒液・絆創膏・ガーゼ・包帯・テープ	550	330	220	ダイソー
		食事代支出	昼食代	15,000	15,000	0	やすもと（@500円×30名）
						0	
						0	
						0	
						0	
			小　　計	72,750	72,530	220	
	企画演出費支出	演出費	お菓子	15,000	13,949	1,051	お菓子本舗
		演出費	ビニール袋	110	110	0	ダイソー
		演出費	現像代	4,500	3,750	750	せいのカメラ店（25円×5枚×30名）
		演出費	封筒	660	660	0	ダイソー
		演出費	切手代	2,520	2,520	0	郵便局
		演出費	コルクボード	990	990	0	ダイソー
		演出費	メッセージカード	220	220	0	ダイソー
		演出費	画鋲	330	110	220	ダイソー
		演出費	シール	550	112	438	ダイソー
			小　　計	24,880	22,421	2,459	
	講師関係費支出	記念品代支出	訪問企業記念品	30,000	30,000	0	（有）桂馬蒲鉾商店（10,000円×3社）
						0	
						0	
						0	
			小　　計	30,000	30,000	0	
	広報費支出	作成費支出	チラシ印刷・デザイン作成料	26,400	26,400	0	紙誠
						0	
						0	
						0	
						0	
						0	
						0	
			小　　計	26,400	26,400	0	
	資料作成費支出	資料費支出	アンケート	90	90	0	事務局（@3円×30名）
		資料費支出	しおり	90	90	0	事務局（@3円×30枚）
						0	
						0	
						0	
						0	
						0	
			小　　計	180	180	0	
	参加記念品代支出					0	
	保険料支出		賠償責任保険	4,470	4,470	0	東京海上日動火災保険株式会社
	通信費支出					0	
	販売物品仕入支出					0	
	雑費支出					0	
事業予備費支出				156,320			
余　剰　金					158,999		
支　出　合　計				315,000	315,000		

おしごとウラがわ　探険バスツアー

アンケート集計結果（参考資料）

●参加人数：３０名
　回収枚数：３０枚

（学年内訳）
・４年生／１９名　・５年生／１０名　・６年生／１名

1. みんながふだん生活しているウラがわで、たくさんの人ががんばっているのが、わかりましたか？

□わかった・・・・・・３０名
□わからなかった・・・・０名

2. たくさんの人ががんばっていることが、自分たちの生活を支えていることがわかりましたか？

□わかった・・・・・・３０名
□わからなかった・・・・０名

3. みんなの生活をささえてくれている人たちに、「感謝」のきもちをもてましたか？

□もてた・・・・・・・３０名
□もてなかった・・・・・０名

4. バスの中のお話は、よくわかりましたか？

□よくわかった・・・・２２名
□すこしわかった・・・・８名（４年生⇒６名、５年生⇒２名）
□むずかしかった・・・・０名

５．今日見学に行った会社の人のお話は、よくわかりましたか？

□よくわかった・・・・２５名
□すこしわかった・・・・５名（４年生⇒３名、５年生⇒２名）
□むずかしかった・・・・０名

6. また同じようなイベントに参加したいと思いますか？

□おもう・・・・・・・２８名
□どちらでもない・・・・２名（４年生⇒１名、５年生⇒１名）
□おもわない・・・・・・０名

さとう工む店さんへ

家の作り方や大きなしせつの作り方は、いろいろな作りかたがあるのがわかりました。ありがとうございます。

佐藤工務店さんへ

今日は見学させてくださり、ありがとうございました。

わたしはスミレようち園にかよっていたので、少しうれしかったです。

また行きたいと思いました。

佐とう工む店さんへ

おうちの、作り方などを、教えてくださってありがとうございました。

みんなでがんばって作っていることがよくわかって、すごいなと思いました。

佐藤工む店さんへ

とっても分かりやすく教えていただきありがとうございました。

これからもけんちくをがんばってください。よろしくおねがいします！

佐藤工務店さんへ

工事のこと、家のことにきょうみがなかったけど、話を聞いて、きょうみがもてました。

本日は、ありがとうございました。

さとうこうむてん さんへ

お急い中ありがとうございました。けんちくのことなど、けんちくのぎじゅつをおしえてくださり、よく分かりました。私たちが安全に使えるように、てまひまかけてやってくれていることが伝わってきました。

さとうこうむてんさんへ

たて物を作るため事には、さいしょに、いろいろなことをしているということが分かりました。

見学させていただいてありがとうございました。

佐藤工務店さんへ

メガホンを使わず、がんばってみんなが聞こえやすい声で説明してくれてありがとうございました。

新しくできるようちえんを見るのを楽しみにしています。がんばってください！

左とう工む店さんへ ♡

今日は、いろいろなことを教えて下さり、ありがとうございました。知らないこともあって、すごいな、と思いました。

佐とうこうむいんさんへ、

ようち園を作り中だったけど、ていねいに教えてくださりありがとうございました。

尾道造舟台さんへ
いつもこの世界のみんなの
ためにはたらいてくださり
ありがとうございます。
こんなに舟台を造るのが大変だ
とは知りませんでした。ありがとう
ございます。これからはがん
ばってください。

尾道造船さんへ
尾道造船さんのところでは、ふね
ひんや、いろいろな物があって、とても、
自分にとっては、とてもたいへんな仕事
だなと思いました。

尾道造船さんへ
船があるおかげで、私たちの
生活がささえられていることが
わかりました。ありがとうございました。

おのみちぞうせんさんへ
ぼくは、舟台のことをおしえ
てもらったとき、尾道の船は
とてもおもしろくてかっこいい
と思いました。

尾道造舟台さんへ
うしだんあまり見られないところを
たくさん見せてくれてありがとう
ございました。

尾道造舟台所さんへ
説明とても分かりやすかった
です。
しん水式全女子に行ます。
ありがとうございました。

尾道ぞう舟台さんへ
今日はたくさんのことを教えて下
さり、ありがとうございました。
これがらもがんばって下さい。お
うえんしています!

尾道造舟台さんへ
舟台をつくるのに2年もかかることを
聞いて、おどろきました。
今日は、けん学させていただき、
ありがとうございました。

尾道造船さんへ
今日は、本当にありが
とうございました。いろいろ
なことが分かりました。

おのみちぞうせんさんへ
お急がしい中ありがとうござ
いました。船はどうやってできる
か・楽しきてんがあることを教え
てくださって、よく分かりました。
けっこう集中してやらないとだな、と
思いました。

啓文社さんへ
いつも利用させてもらっています。買う時に「なんでこんなにキレイなんだろな？」と思うときがあります。それは啓文社のみなさんが努力しているからと知りました。大変かもしれませんがこれからもよろしくおねがいします。

啓文社さんへ、
今日は、体験させていただき、ありがとうございました。
教科書いつもありがとうございます。
啓文社さんの話を聞いて、しょ来働きたいと思いました!!

啓文社さんへ
本のレジをするだけでなく、モップで本にのっている、ほこりをとったりしていることをしって、すごいなと思いました。私もはたらきたいなと思います。

啓文社さんへ
お仕事体験をさせていただきありがとうございました。たのしかったし、とてもいい経験になりました。
またお店に行き次はお客さんとしてたくさん啓文社さんに行きたいです。

啓文社さんへ
今日はたくさんのことを教えて下さり、勉強になりました。お仕事たいけんで、しそがしいんだな、と思いました。私もここで働きたいな、と思いました。

啓文社さんへ
時間きちょうな体馬食をさせていただき、ありがとうございます。わたしも本やさんではたらきたいと思いました。

けい文社さんへ
今日は、いろいろな体馬食をして楽しかったです。いろも学校の本をありがとうございます。

けい文社さんへ
けい文社では、お客さんのために、本をきれいに、そうじしたり、ラッピングしたり、きれいにそろえたりして、お客さんのために、たくさんしているんだなと思いました。エプロンと、見学させていただいてありがとうございました。

啓文社のみなさんへ
今日はレジや本のそうじその他ともおもしろかったです。
本が好きになりました。
井上さんその他のみなさんありがとうございました。

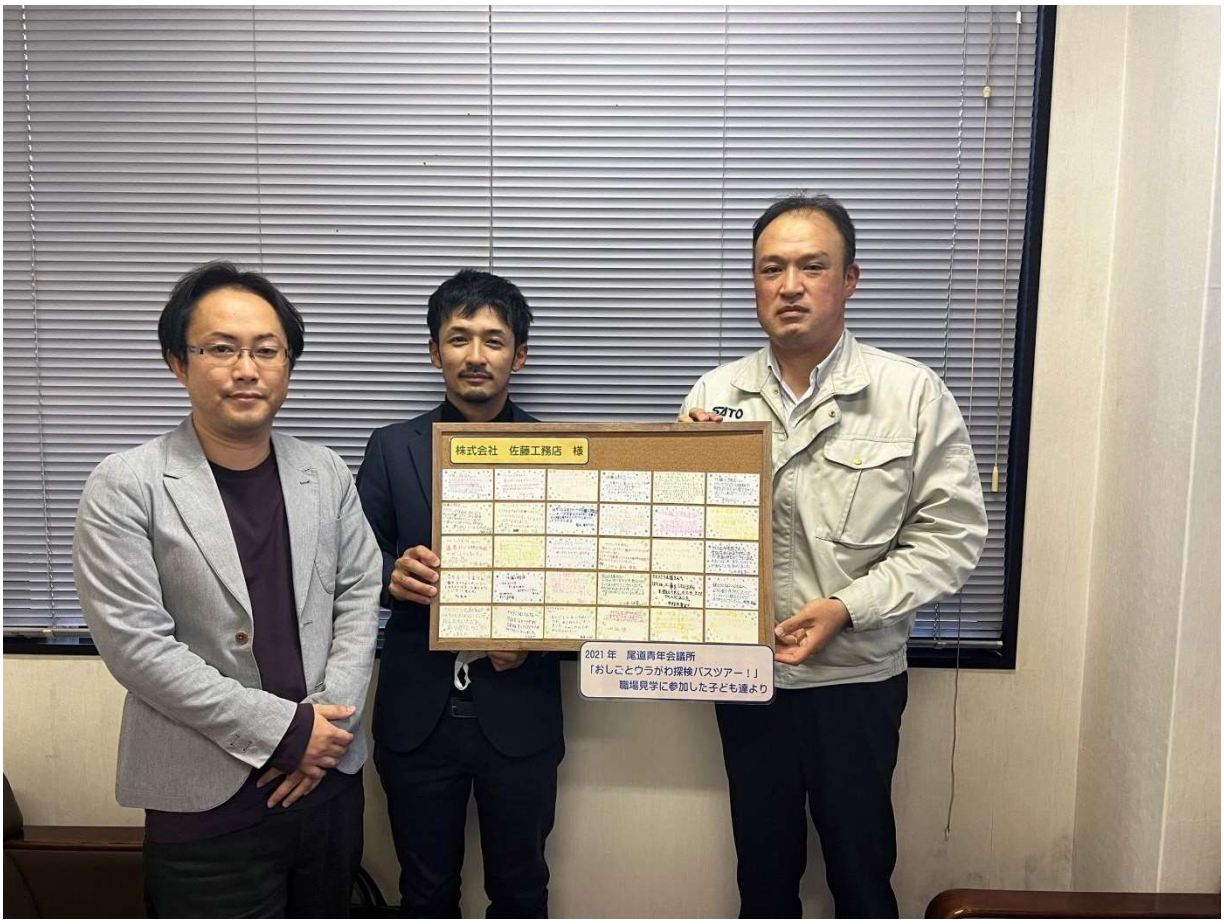
けい文社さんへ
全対応します。
せっ客はとてもきんちょうしました。
本のせいり、そうじ、などはとても楽しかったです。
井上さんその他のみなさん、ありがとうございました。

【株式会社　啓文社 様　お礼訪問（11 月 12 日）】



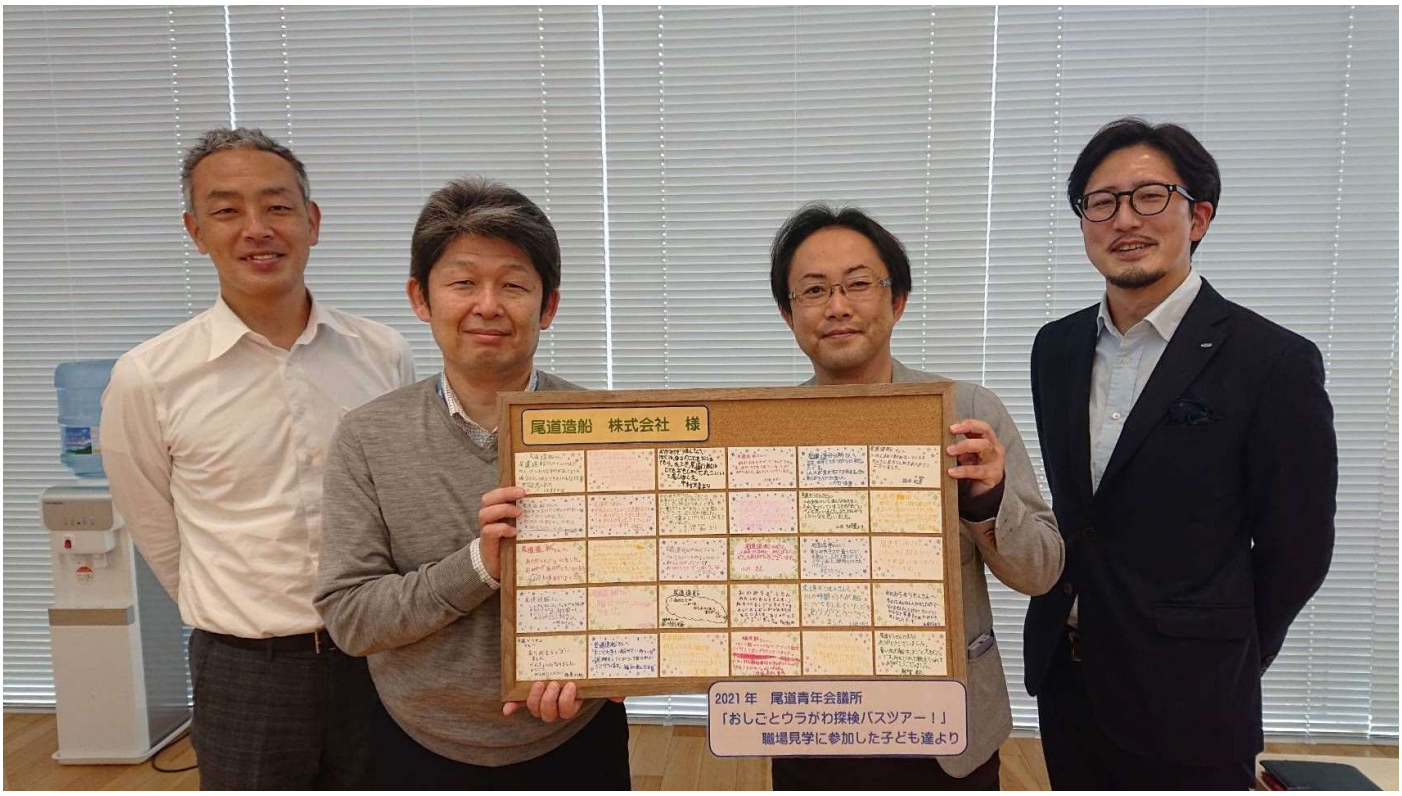


【株式会社　佐藤工務店 様　お礼訪問（11 月 15 日)】





【尾道造船　株式会社 様　お礼訪問（11 月 15 日)】





佐藤工務店／事前講義シナリオ
（講義担当／村上康、フォロー／大西貴明）

おはようございます。
今日は、「おしごと裏側探検バスツアー」に参加してくれてありがとう。私は、尾道青年会議所の村上といいます。
これから見学に行く幼稚園ですが、佐藤工務店という建設会社が建設しています。佐藤工務店さんは、尾道市で約 50 年色々な建物や公共の施設などをつくっています。最初の見学場所に到着するまでの間、バスの中で佐藤工務店さんが実際に関わった建物や工事の写真などを見ながら建築、土木の仕事についてお話していきます。説明の途中でクイズを出したりするのでしっかり聞いててね。

みんな、建築や土木って言葉を聞いたことがあると思うけど、それぞれどういった仕事か知っているかな？
建築は、ビルや家、学校など中で人が生活したりする建物をつくる仕事の事を言います。
土木は、道路やトンネル、ダム、橋など人々の生活を便利にするものをつくる仕事の事を言います。
では、建築の仕事を見ていきましょう。まず、みんなが一番なじみがある家ですね。次にみんなも通ったと思いますが、幼稚園（別の幼稚園ですが、建てている所をこれから見に行きますね。今日は見学場所で実際に幼稚園ができるところ見ながら詳しく教えて貰えるので楽しみにしていてね）では、ここで問題です

Q この２枚の写真はある建てものを建てているところの写真です。
とても大きそうですね～。これは何を建てている所の写真でしょう。

A　図書館
B　市役所
C　美術館

正解は、Ｂ市役所です。市役所も生活には欠かせないですね。

次に土木の仕事を見ていきましょう。
これは、国道２号線とＪＲの線路がある交差点の写真です。こういった場所は、昼間は車がたくさん通り、電車も通ってます。昼間に工事をしたら車などは通れなくなって困りますよね？　ということで、この写真のようにこういった場所では、みんなが寝ている夜中に工事をしているんですね。このように夜中に工事をしてくれているおかげで、昼に快適に道路

を走ることができるですね。とてもありがたいですね。では、ここで問題です。

Q これは、道路をつくる時などによく使われる機械。モーターグレーダーといいます。
この機械は、なにをする機械でしょう。

A　穴を掘る機械
B　舗装を剥がす機械
C　土を平らにする機械

正解はCです。この写真のように舗装をするまえに下の土や砂利平らにします。このように平らにしなで舗装をしてしまうと凸凹の道ができて車が揺れて上手く走れませんね。車酔いしちゃいます。

次にこれは配水池といって飲み水を溜めるタンクです。こういったものも造ってます。これが山の上にあることで管を通ってみんなが蛇口をひねるといつでも美味しい水を飲むことができるよ。ありがたいね。

ここまでは、建設会社の仕事っていうイメージがつきやすかったりする内容だったと思うけど、ここからは、こんな意外な仕事もしてるよって内容を話していきます。

まずこれ。川の土砂を取り除いている写真です。川の土砂は定期的に取り除いて掃除をしないと大雨が降ったときなどに川の水が溢れてみんなの家が水に浸かってしまいます。そうならないように、このようにショベルカーで川の掃除をしているよ。このことを専門用語で浚渫をいいます。ありがたいですね。

次に道路の草刈りをしている写真です。小さな道などは、地元に住んでいる大人たちが普段草刈り等をしていますが。このように大きい道路で車がたくさん通っているところは危険なので建設会社の人が草刈りをしてくれているよ。これが草刈り前の写真。これが草刈り後の写真。こんなに違うね。ビックリだね。このように建設会社の人が定期的に草刈りをして安全に通ることができるから。みんな安心して学校に通ったり、友達の家に遊びに行ったりできるね。ありがたいね。

これは、除雪している写真です。実は、除雪も建設会社の仕事なんだね。尾道でも、たまに雪が降るけど、その時は、朝５時くらいに市役所から雪が積もってので除雪して下さい。って電話が掛かってきます。そしたら、建設会社の人が、機械を使ってみんなが起きる前の除雪をして、安心して通れるようにするんだよ。ありがたいね。

これは、みんなも街中で見かけたことがあると思うけど、コンクリートミキサー車です。建築や土木といえば、マンションを建てたり、ダムを造ったりするのに、コンクリートを使いますが、工場で練ったセメントを後ろの丸い部分でグルグルと混ぜながら工事現場まで運ぶトラックです。ではここで問題です。

Q 実はセメントは、工場で練った段階から固まり始める為、ある時間以内に工事現場で流し込まないといけません。この時間を過ぎてしまうと決められた強さがでない為、大きい地震などがきたらコンクリートが割れてしまいます。コンクリートは、混ぜ合わせてからどれくらいで使わないといけないでしょう。

A　90 分
B　6 時間
C　12 時間

正解は、A90 分です。90 分とは意外と短いですよね。みんなが、安全に暮らすことができる建物をつくるには、このように時間との勝負の仕事もあるんですね。

私からの話は、ここまでになります。ここからは、佐藤工務店さんが、実際の現場を見ながら建物ができるまでを詳しくお話してくれるので、しっかり見学してきてね。佐藤工務店さんからもクイズがあるよ。

①



②



③



④




⑤


7


6


8
SUMITOMO

9



モーターグレーダー

10



11



12




13


15


14


16


17
62

尾道造船／事前講義シナリオ
（講義担当／中川裕智、フォロー／原田知晴）

１．尾道造船どんな会社？

こんにちは。これから行く尾道造船さんの話をする中川です。宜しくお願いしますね。皆は、尾道造船っていう会社の名前を聞いたことがありますか？尾道造船さんは、会社が出来て７８年目です。売り上げは５２５億円を記録している、船を造る会社です。そんなすごい会社が尾道に有ります。では、会社で働いてる人はどれくらいいると思いますか？

協力してくれてる人たちを全て含めると約１０００人もの方が力を合わせて船をつくっています。逆に言えば、１０００人の人達が関わらないと船は作れない、ということです。

２．どんな種類の船を作っている？

じゃあ、船をつくるといっても、船にも色々な種類があるよね。尾道造船さんではどんな船をつくるのでしょうか。ガソリンを運ぶ船、小麦や石炭を運ぶ船、車・トラックを運ぶ船、フェリーのような人を運ぶ船、などをつくっているよ。

さあ、ここで問題です。尾道造船さんで造られた船で一番大きい船は何番でしょう？

A．人を運ぶフェリー　　B．タンカー　　C．貨物船

正解は、Bです。１１万トンの巨大な船です。長さ２５０メートル、横幅４２メートルで想像を超える大きさですね。

３．どうやって造るの？

こんな大きい船を、どうやって造っているか気になるよね？船が出来るまでの工程を話していくね。

船をつくりたい、と思っても買ってくれる人がいないといけないよね。そこで、船が欲しい人に、私の会社ではこんな船が出来ますよ、と提案していきます。例えば、ある程度の船のデザインを見せながら、沢山の荷物が積めて、燃費もこんなに良いので環境にもお財布にもうれしいですよ、とアピールしていきます。勿論、買いたい人の要望を聞いて、より良い船を提案します。買主が、尾道造船さん提案した船がよいので造って下さいと申し込みがあれば、契約成立です。

契約成立後、起工式をやります。これは、無事に完成することを祈ってやります。ここから、本格的に造り始めます。

まずは、船を造るのに必要なモノを買っていきます。大きいものから小さいものまで揃えます。

では、ここで問題です。一番大きなものは何でしょう？

A．エンジン　B．プロペラ　C．鉄板

正解は、Aです。船の心臓であるエンジンは、長旅を支える為に造っていると、どうして

も大きくなってしまうようです。

船を造る工程の話の続きをいきます。買ってきた鉄板・鋼材をまずは切っていきます。大部分はコンピュータによって切っていきます。ロボットでも出来ない、繊細な作業が必要な部分は職人さんの手作業でやっていきます。組み立てる時に少しでもズレたら船は完成しないので、職人さんの手作業は凄く気を遣ってやっています。船の材料はとても大きく重いモノが沢山あるので、実際に尾道造船さんで見て確認してみて下さいね。凄い迫力でビックリしますよ。

切った鋼材や部品をバーナー使ってくっつけていきます。このくっつけて作業を溶接と言います。よく覚えておいて下さい。溶接ってわかるかな？部品をくっつけて、大きなブロックをつくります。ブロックには大・中・小があり、大きなブロックは一つで５０トンにもなります。これらの様々な大きさのブロックを組み合わせれば、船の基本部分が完成します。

最後に、エンジン・プロペラなどを取り付け、塗装をした後に進水式をして、細かい部品を付けて、買主に引き渡されます。進水式は、尾道造船さんでもしているので、見学することができますよ。今日は、残念ながら進水式はないけど、お父さんかお母さんと見学に行ってみて下さいね。鉄の塊の船が進水するところは迫力満点だよ。

では、クイズです。ここまで説明した船を造る工程だけど、完成までどれくらいの期間かかると思いますか？

Ａ．１ヶ月　　Ｂ．１年　　Ｃ．２年

正解は、Ｃ。図面を引くところから考えて２年もかかります。

これぐらい時間をかけて丁寧に造っているのは、船に乗る人たちの命や安全を守るためです。船に小さな欠陥でもあれば、海の上で故障し沢山の人の命を危険にさらしてしまうので、十分に確認作業をして作り上げているのです。快適な船を造ることと、人の命を守ることが、船を造る会社の使命なのです。

４．なぜ船が必要なの？

ここまで、尾道造船さんや船の作り方の話をしてきたけど、なぜ船が必要だと思いますか？船は世界中に荷物を運ぶ役割があります。でも、それなら飛行機で運んだ方が速いから良いと思いませんか？

日本はいろいろなモノを輸出や輸入して、皆の生活を豊かにしてるね。例えば、小麦、石油などですね。日本全国を支えるには、ものすごい量が必要になってくるね。飛行機は速いけど量は多く詰めないし、費用も高い。一方、船は、一度に多くの荷物を運ぶことができる、唯一の乗り物なんだ。みんなの生活を支えるのに、欠かせない乗り物が船なんだよ。

５．注意事項

これで、私からの話を終わります。最後に、尾道造船さんの見学をする時の注意事項を説明します。

①案内の方の話をよく聞いて下さい
②じゃれ合うことはしないで下さい
③場内のモノは触らないで下さい
④写真・ビデオは禁止です
⑤トイレは見学前にすます

以上の事、をしっかり守って下さいね。怪我につながります。では、楽しんできてね。

尾道造船ってどんな会社？？

みんなで船づくりを勉強してみよう！！

1

みなさん、こんにちは！
今日は私たちの働く尾道造船のことや、
船づくりについて興味をもって
もらえるように紹介したいと思います！

ぼくの名前は
おのぞうくんです！

2

尾道造船という名前を
聞いたことありますか？





尾道市山波町にある、創立78年目の
造船所です。

3

尾道造船ではどんな船を
つくっているか知っていますか？









4



この船はガソリンを
運んでいるよ！





この船は小麦や石炭を
運んでいるよ！





5



この船は車(トラック)を
運んでいるよ！



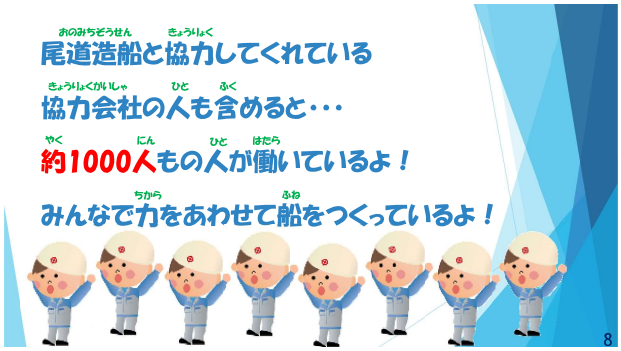


この船は人を
運んでいるよ！



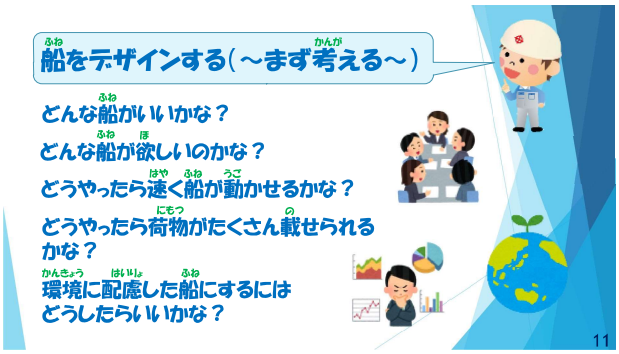
6

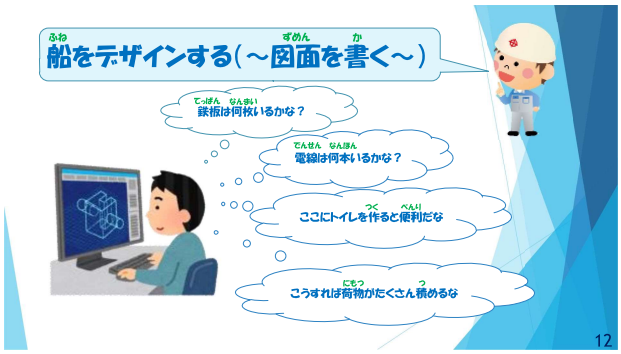

尾道造船で働いている人は
どれぐらいいるの？
尾道造船
7

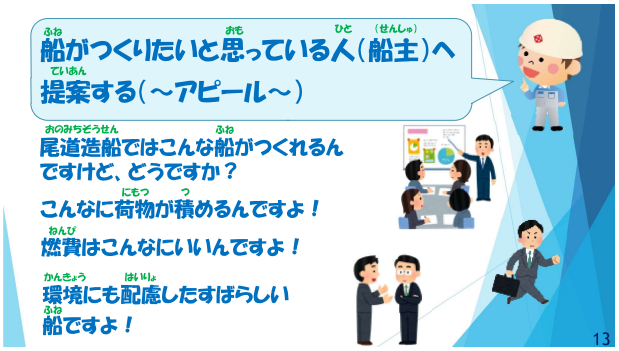

尾道造船と協力してくれている
協力会社の人も含めると・・・
約1000人もの人が働いているよ！
みんなで力をあわせて船をつくっているよ！
8


船って、どうやってつくってるの？？
9


船のつくり方
パーツに切断
組 立
塗装・艤装品の取付け
船台で船の形に
進 水
出港
残りの艤装品の取付け
試運転
引渡し
10

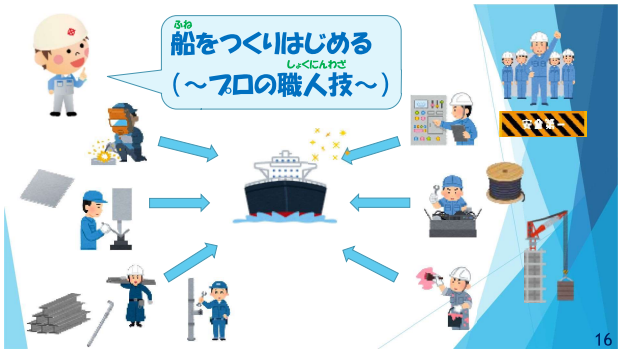

船をデザインする（～まず考える～）
どんな船がいいかな？
どんな船が欲しいのかな？
どうやったら速く船が動かせるかな？
どうやったら荷物がたくさん載せられるかな？
環境に配慮した船にするにはどうしたらいいかな？
11


船をデザインする（～図面を書く～）
鉄板は何枚いるかな？
電線は何本いるかな？
ここにトイレを作ると便利だな
こうすれば荷物がたくさん積めるな
12


船がつくりたいと思っている人（船主）へ
提案する（～アピール～）
尾道造船ではこんな船がつくれるんですけど、どうですか？
こんなに荷物が積めるんですよ！
燃費はこんなにいいんですよ！
環境にも配慮したすばらしい船ですよ！
13


ありがとうございます！がんばります！
尾道造船で船つくります！
商談成立
いい船つくるぞ！
エイエイオー！
14

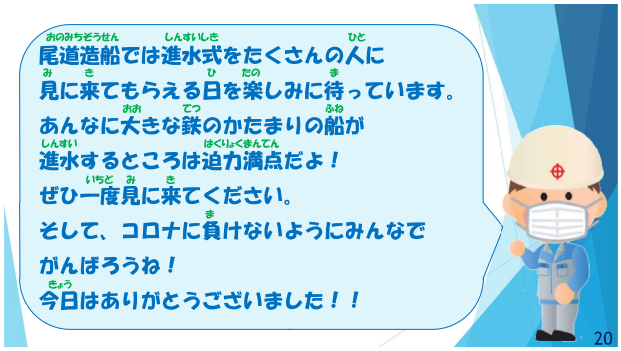

船をつくるのに必要なものを買う
（～大きなものから小さなものまで～）
発電機
業務用冷蔵庫
救命艇
アンカー
プロペラ
ベッド
おふろ・トイレ
電線
鋼材
ネジ
15


船をつくりはじめる
（～プロの職人技～）
16


尾道造船の進水式
実際の船はこんなかんじだよ！！
おめでとう！
17


船は世界中に荷物を運ぶ
大切な役割があるんだ
18


日本はいろんな物を輸出や輸入して、みんなの生活を豊かにしているんだ。
その荷物を運んでいる乗り物は他にもあるけど、一度に多くの荷物を
運ぶことができる乗り物は世界中で船だけなんだ！
尾道造船でつくっている船も世界中の海で活躍しているよ！
みんなの住んでいる尾道からも世界につながっているんだね！
19


尾道造船では進水式をたくさんの人に
見に来てもらえる日を楽しみに待っています。
あんなに大きな鉄のかたまりの船が
進水するところは迫力満点だよ！
ぜひ一度見に来てください。
そして、コロナに負けないようにみんなで
がんばろうね！
今日はありがとうございました！！
20

啓文社／事前講義シナリオ
（講義担当／岩井達也、フォロー／村上直弘）

みなさん、こんにちは。
わたしは尾道青年会議所の岩井といいます。
これから最後の会社訪問ということで担当させていただきます。

ここで一つ質問ですが、
みんなの使ってる教科書はどこから買っているか知ってますか？
　→実は尾道市内の学校の教科書はほとんどが啓文社さんから買っています。
これから行く啓文社コア福山西店は本を販売しているお店で約15年前にお店ができました。ここで皆さんにお仕事体験をしてもらいます。そのあと本社に行って本社の人から啓文社についてのさまざまなお話を聞きにいきましょう。

ちなみに本、雑誌、まんがはみんな読みますか？
読まない人でも今日見学すると本に興味がわくかもしれません。

ここでクイズです。第9問目になります。
　Q これから行くお店で本が一番売れる月は？
　　① A　6月（梅雨）雨で家にいることが多く本が売れる説明
　　② B　8月（夏休み）夏休みで本屋行くことが多い説明
　　③ C　12月（クリスマス）

啓文社コア福山西店に行ったことがある人いますか？
行ったことがある人は知っているかもしれませんが、
啓文社さんなどの本屋さんは、最近本以外のものも売っているところが多いです。
理由としては本に関係する商品も同時に販売するというところがあるそうです。
いろいろなお店に行かなくても一つのお店で商品が揃うというのはお客さんにとってもいいですね。

ここでもう一つクイズです。第10問目になります。
　Q これから行く店舗で販売していないものは何でしょう？
　　④ A　サプリメントとかお薬
　　⑤ B　赤ちゃん服（キャラクターもの）
　　⑥ C　お出汁（病院の先生が考えた体にいいもの）

それでは、ここから皆さんの教科書がどのようにして手元に届くのかを説明します。
啓文社は本を作っているわけではなく、販売しているところです。

⑦　実は出版会社や印刷会社で本を作っています 。

⑧　そのまま啓文社などの本屋に届くと思うかもしれませんが、そうではありません。

⑨　実は出版会社と啓文社などの本屋さんの間に取次会社と呼ばれる問屋にいきます。
取次会社とは皆の人数分の教科書を集めてお店に届ける会社のことです。

このように実は教科書などの本はみんなの手元に届くまでに色々な会社や人が多く関わってできているということを覚えておいてください。

ここで最後の質問です、第 11 問目になります。
Q お店で売れ残った本はどうなるでしょう？

⑩　A　店舗で廃棄処分にする

⑪　B　お店の人たちが格安で買い取る

⑫　C　出版社に返却（売り場に陳列できる量に限界があるため。もっと売れる本を置くため）

もうそろそろお店に到着しますので啓文社でのお仕事体験の流れの説明します。
まず体験してもらうお仕事は全部で 5 つあります。

⑬　一つ目がレジ打ちを含めた接客といわれるお仕事

⑭　二つ目が商品を綺麗に並べる商品陳列

⑮　三つ目が取次会社から届いた新しい本を段ボールから取り出す開花業務

⑯　四つ目が売れ残った商品の返品作業

⑰　五つ目が店頭整理です

この 5 つのお仕事を班ごとに同時に分かれてやってもらいます。
例えば接客からスタートする班は次のお仕事をしてもらう、店頭整理からスタートする班は次のお仕事に移るというようになっています。

最後に本屋さんで働く人たちの実際のアンケートを一部紹介します。
「本屋さんで働いてよかったと思うこと」について。

1，本と接することでいろいろな本を読みたくなった

2，お客さんが店内で本を探している時に、探していた本を見つけて喜んでもらえたこと

3，新刊情報をいち早く入手できる

４，これは極まれにですが、本の作家さんに出会える

以上のことをメリットと思っている店員さんが多いという結果になっています。

今日は自分が啓文社の店員さんだと思ってお仕事体験に臨んでください。　以上

クイズ（9 問目）の
イラスト（選択肢 A）
※シナリオ①



クイズ（9 問目）の
イラスト（選択肢 B）
※シナリオ②



クイズ（9 問目）の
イラスト（選択肢 C）
※シナリオ③



クイズ（10 問目）の
イラスト（選択肢 A）
※シナリオ④



クイズ（10 問目）の
イラスト（選択肢 B）
※シナリオ⑤



クイズ（10 問目）の
イラスト（選択肢 C）
※シナリオ⑥



シナリオ⑦の説明





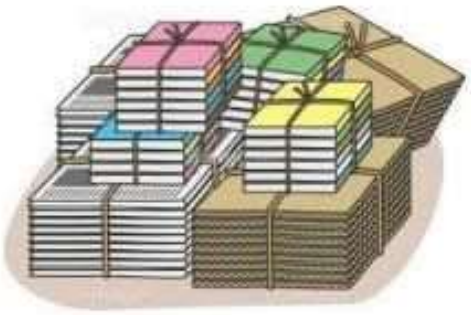
シナリオ⑨の説明



シナリオ⑧の説明



クイズ（11 問目）の
イラスト（選択肢 A）
※シナリオ⑩



クイズ（11 問目）の
イラスト（選択肢 B）
※シナリオ⑪



クイズ（11 問目）の
イラスト（選択肢 C）
※シナリオ⑫



シナリオ⑬の説明
※体験「接客」について



シナリオ⑮の説明
※体験「開化業務」について



シナリオ⑭の説明
※体験「商品陳列」について



シナリオ⑰の説明
※体験「店頭整理」について



シナリオ⑯の説明
※体験「返品作業」について



「おしごとウラがわ探検バスツアー！」にご参加の皆様　　当日緊急連絡先；080-2911-0424（岡本）

≪閉会式・解散場所の変更のお知らせ≫

イベント終了の時間帯に、尾道東公園が混み合いますので、急遽、閉会式・解散場所が変更となりました。直前の変更となり、申し訳ございません。お迎えの際、お間違えのないよう、お願い致します。

≪変更場所≫

尾道東公園　⇒　**株式会社　味昆（駐車場）【尾道市東尾道 12-1】※15：35 閉会式、15：45 解散**







≪事業実施までの流れ≫（案）

≪企業選定の経緯≫

事業目的である、“「ありがとう」を感じる大切さを伝える”ために、企業選定をする上で以下の点が重要と考えました。

① 子ども達が仕事を身近に感じられること （※下記の理由で合致）

・道路・建物等、子ども達の生活をささえる仕事である。（佐藤工務店）
・学校教材も扱っており、本は子ども達にとって学習ツールでもっとも身近なものである。（啓文社）
・尾道に住む子ども達にとって、造船は必ず目にする仕事である。（尾道造船）

② 仕事に魅力を感じられること （※下記の理由で合致）

・ものが造り上げられていく過程を間近で見ることができる。（佐藤工務店・尾道造船）
・たくさんの人と一緒に、一つのものを造り上げる達成感がある。（佐藤工務店・尾道造船）
・住宅や土木等、人々の生活を豊かにし、たくさんの人に喜んでもらえる。（佐藤工務店）
・色々な本に出会い、たくさんのお客さんと関わりながら、本の魅力を伝えていくことができる。本が身近にあることで、常に新しい「学び」のある仕事である。（啓文社）

③ 尾道をより好きになってもらえること （※下記の理由で合致）

・尾道を支える歴史のある企業である。（佐藤工務店・尾道造船・啓文社）

≪打ち合わせの内容≫

1回目：事業実施に至る「背景・目的」をお伝えし、子ども達に何を学んでほしいのかを明確にする。こちらの要望等もお伝えし、対応可否を確認する。委員会メンバーによる事前講義の範囲、訪問時に学ぶ範囲を話し合う。また事前講義の参考となる資料の提供をお願いする。

2回目：事前講義（シナリオ・クイズ）と訪問時に学ぶ内容を確認し合う。企業の見学・体験中の子ども達の動線や、細かいタイムスケジュールを検討する。

3回目：事前講義・見学（体験）内容の最終確認をする。当日の注意事項や、イレギュラー対応等を確認する。

≪事前講義に関して企業からの要望≫

【佐藤工務店】

建築中の建物の前で、少し専門的な話をしていくので、事前講義やクイズは「建築・土木」の基本知識を中心に話してほしい。

【尾道造船】

見学では、船の内部や建造の工程等細かい部分を説明するので、事前講義やクイズは、尾道造船の会社の紹介や、船の種類（それぞれ船の役割）を中心に話してほしい。

【啓文社】

体験直前の事前講義なので、本屋さんの仕事を「楽しそう！」と思えるようなクイズにしてほしい。

【事業を終えての対応】

（参考資料）

① 参加者にお礼の手紙を郵送

② 集合写真１枚とお子さんの見学・体験中の写真を４枚（計５枚）を同封

③ お子さんの見学・体験中の動画を見て頂けるように、QR コードを手紙に添付

※動画は 25 分程度となっております。

※視聴期限：2022 年 3 月 31 日

【QR コード】

≪動画内容≫

1. バス到着（佐藤工務店／建設現場）







2. 佐藤工務店／建設現場見学

・担当の佐藤さんから建築・土木のお話を伺いました。





3.　啓文社コア福山西店／職場体験 ⇒ 啓文社本社での講義

・5 班に分かれて、5 つの業務を体験しました。



○新しい本を段ボールから取り出す開花業務



○売れ残った商品の返品作業



○接客業務



○店頭整理



○商品陳列



○お楽しみのアイスタイム

・尾道造船／見学風景（動画無）

※動画撮影は NG の為、使用許可を頂いた写真となります。



○見学に出発



○講義を受けながら見学



○会議室をお借りして昼食



○集合写真

一般社団法人　尾道青年会議所　事業計画（案）予算（案）

審議　事項

委員会名：総務広報委員会
委員長名：小西　琢真

（1）議案名
卒業例会行事　事業計画（案）予算（案）に関する件

（2）事業名
卒業例会　テーマ「恩返し　～感謝と敬意～」

（3）事業実施に至る背景
今年は８名のメンバーが尾道青年会議所をご卒業されます。卒業生の新たなステージへの旅立ちを祝福するとともに、私たちを導いて下さった卒業生へ感謝と敬意を表し恩返しする場として「卒業例会」を開催する必要があります。

（4）事業目的（趣旨）
ａ．（対外）
ｂ．（対内）卒業生の皆さまが尾道青年会議所に入会してからこれまで、前向きに楽しくご活動されてきた思い出を振り返り、感謝の気持ちを共有し、敬意をもって卒業生を祝福することを目的とします。

（5）事業概要
ａ．実施日時　２０２１年１２月１５日（水）　例会セレモニー　１８：３０～１８：４０
受付・ＯＢ入場　１８：４５～１９：００
卒業式　１９：００～２１：００
ｂ．場　　所　尾道国際ホテル
ｃ．予算総額　￥３７５，５７０円（詳細は別紙予算書）
ｄ．参加人員　内部　７３名　　外部　５２名　　計　１２５名
（内部内訳：現役会員　５７名　新入会員　　８名　卒業生　８名　）
（外部内訳：特別会員　２７名　ＯＢ会員　２５名（仮））
ｅ．動員計画
ｆ．外部協力者
ｇ．実施組織・推進リーダー　総務広報委員会　委員　森田　洋一郎
亀田　康寿
ｈ．実施手順・プログラム

２０２１年１０月２６日（火）	第１０回正副理事長会議	協議
２０２１年１１月　８日（月）	第１１回理事会	協議
２０２１年１１月２６日（金）	第１１回正副理事長会議	審議
２０２１年１２月　６日（月）	第１２回理事会	審議
２０２１年１２月１５日（水）	実施	

（６）事業内容（目的達成のための手法説明）

本例会は、①挨拶・ＯＢ紹介、②オープニング映像、③卒業生紹介・送辞・答辞（代表者挨拶を含む）、３つの構成とします。

①最初に理事長と安保会長に挨拶をして頂き、これから卒業式が始まる厳粛な雰囲気を醸成します。次にご来場くださったＯＢを紹介することで、多くの方から卒業生へ祝福の言葉を送って頂きます。

②オープニング映像では、卒業生がどのようなＪＣ活動を行ってきたか、約３分間の映像を用いて振り返ります。卒業生との思い出を皆さんで共有し、送辞に感情移入しやすい設えとします。

③卒業生の入会から今日に至るまでの活動の軌跡をショートムービーにて紹介致します。選曲は、卒業生のリクエスト曲を流すことで、送辞・答辞へ向かう気持ちを高めてもらいます。その後、送辞・答辞は例年同様の流れをとり、送る側と送られる側の思いを伝えます。

（７）過去の検証・本年の工夫と期待される効果

①今年度は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、去年と同様に懇親会を無くした卒業例会を企画しました。

②ＯＢ席を会場の奥側とする事で、現役メンバーでお出迎えする体制を整えます。

③卒業生へアルバムを作成し、贈らせて頂きます。例年、写真データをＤＶＤに焼いてお渡ししていますが、紙媒体のアルバムとすることで見て頂ける機会が増えると考えています。なぜなら、今年のＪＣライフはデータではなく紙でお配りすることで、より多くのメンバーに読んで頂けました。同様に思い出の写真もデータでお渡しするより、紙でお渡しするのが良いと考えました。

④今まで以上に敬意が伝わるように会場のビニールクロスを布クロスに変更し、生花を演台に設えます。またＯＢ席へは温かいお茶をご用意させて頂きます。感染拡大対策として、ペットボトルとします。

⑤さらに本例会テーマにある「敬意」をより表現する為、そして厳かな設えとする為、卒業生入退場経路全てにレッドカーペットを敷きます。

（８）審議のポイント

内容・予算について

（９）会議での意見とその対応

意見）感謝と敬意について思いを教えてください。

対応）厳粛な雰囲気の卒業式とすることで、敬意を表したいと考えております。そして卒業生には手作りのアルバムをプレゼントする事で感謝を伝えます。

意見）卒業例会は全員で協力して行う必要があると思います。その為には、もう少し資料があるとわかりやすいと思います。

対応）他委員会の動きが分かる資料を追加させていただきました。

意見）送辞の前のＯＢからの一言についてですが、送辞の前にいただく形となりますが、送辞がやりにくくならないでしょうか

対応）送辞前の卒業生紹介をショートムービーに変更させていただきました。

意見）造花を用意するとありますが、生花の方が良いのではないでしょうか。
対応）生花に変更しました。

意見）オープニングムービーが３分ということでしたが、８名の卒業予定者がおりますが、どのように分配されるのでしょうか。一人あたりの時間が短くなるように思います。
対応）ムービーが長すぎると間延びしてしまうので、３分程度で作成を考えております。

意見）テーマが「恩返し」ということですが、違和感があります。卒業生を送り出す会なので、「旅立ち」など卒業生が主役のテーマの方が良いのではないでしょうか。
対応）先輩との出会いに感謝し、先輩方が今まで繋いでこられたバトンを残された私たちがしっかりと受け取ることで、安心してご卒業して頂くことが恩返しにつながると考えます。

意見）花束を卒業生に渡すのは委員会メンバーなのでしょうか。また、予算に花束が上がっておりません。
対応）花束は卒業生の所属する委員長よりお渡していただきます。花束代に関しては、現役会員で特別会計により均等に振り分けさせて頂きます。ご理解をよろしくお願い致します。

意見）ショートムービーは作成した方が良いのではないかと感じました。また、卒業生の登壇時のＢＧＭはどうなっているのでしょうか。卒業生それぞれの思い入れのある曲を使われた方が良いかと思います。
対応）ショートムービーを作成し、そこで卒業生のリクエスト曲を使わせていただきます。

意見）卒業生に渡すのが「ＣＤ－Ｒ」になっておりますが、映像等渡すのであれば「ＤＶＤ―Ｒ」の方が良いかと思います。
対応）ＤＶＤ－Ｒに変更しました。

意見）ショートムービーを辞めたところで、パワーポイントの決定的な良さがあれば教えて下さい。
対応）設えをショートムービーに切り替えました。

意見）それぞれ卒業生を紹介するということですが、歴に差がありますが、紹介のボリュームが大分違ってきたりしないでしょうか。
対応）紹介動画の時間配分を全員同じとすることで、歴の差は出てきません。

意見）タイムスケジュールについて、全体的に短く設定されているように感じます。時間配分について再度精査された方が良いのではないかと思います。
対応）再度検討し、変更させて頂きました。

意見）案内文にコロナ対策が書かれておりますが、昨年は「チェックシート」がありましたが、そういった物は無いのでしょうか。

対応）資料に付け加えさせて頂きました。

（10）他委員会への依頼事項等

①卒業生を現役メンバー全員でお祝いし、盛大に送り出したいと思いますので、各委員長にはメンバーの方々に出席の案内をよろしくお願いいたします。

②例会開始時刻が変更しております、周知徹底をよろしくお願いします。

③花束代については、特別会計より現役メンバーで均等に振り分けさせて頂きます。ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

④受付や先輩方のお出迎え等をメンバー全員で対応する必要があります。各委員長には改めでご案内いたしますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

（11）添付資料

事業収支予算書（案）
収支予算明細書（案）
１２月例会セレモニー次第（案）
卒業式次第（案）
タイムスケジュール（案）
卒業例会概要（案）
会場レイアウト（案）
追加備品（参考資料）
アルバム費見積書（参考資料）
会場費見積書（参考資料）
動画作成費見積書（参考資料）
送辞用紙見積書（参考資料）
看板レイアウト（案）
看板作成費（参考資料）
感染拡大防止対策（参考資料）
健康状態確認書（参考資料）

第１２回理事会　２０２１年　１２月　６日

事業収支予算書（案）

事業名　　卒業例会 テーマ「恩返し ～感謝と敬意～」

収入の部

大科目	中科目	小科目	細目	前年度予算	本年度予算	差 異	備 考
事業収入	事業費繰入収入	事業費繰入収入		60,000	60,000	0	
	事業費繰入収入	事業予備費繰入収入		221,706	315,570	-93,864	
	登録料収入					0	
	販売収入					0	
	広告料収入					0	
	負担金収入					0	
	雑収入					0	
補助金等収入	国庫補助金収入					0	
	地方公共団体補助金収入					0	
	民間補助金収入					0	
	国庫助成金収入					0	
	地方公共団体助成金収入					0	
	民間助成金収入					0	
寄付金収入	寄付金収入					0	
	募金収入					0	
収入合計				281,706	375,570	-93,864	

支出の部

大科目	中科目	小科目	細目	前年度予算	本年度予算	差 異	備 考
事業費支出	事業	会場設営費支出	人件費支出			0	
			食事代支出		9,900	-9,900	国際ホテル
			会場費支出			0	
			設営費支出	205,000	274,720	-69,720	国際ホテル、メディアジャンクション
			運送費支出			0	
			レンタル料支出		16,500	-16,500	国際ホテル
		小計		205,000	301,120	-96,120	
		企画演出費支出	人件費支出			0	
			食事代支出			0	
			企画費支出			0	
			演出費支出	13,750	37,265	-23,515	花のよしはら、紙誠、YUUKIDesign
			旅費交通費支出			0	
		小計		13,750	37,265	-23,515	
		本部団関係費支出	人件費支出			0	
			食事代支出			0	
			会場費支出			0	
			設営費支出			0	
			旅費交通費支出			0	
			通信費支出			0	
			運送費支出			0	
			消耗品費支出			0	
			レンタル料支出			0	
			保険料支出			0	
			渉外費支出			0	
		小計		0	0	0	
		講師関係費支出	食事代支出			0	
			旅費交通費支出			0	
			宿泊費支出			0	
			保険料支出			0	
			諸謝金支出			0	
			会合費支出			0	
			記念品代支出			0	
		小計		0	0	0	
		広報費支出	運営費支出			0	
			会場費支出			0	
			設営費支出			0	
			通信費支出			0	
			消耗品費支出			0	
			レンタル料支出			0	
			作成費支出			0	
			PR費支出			0	
		小計		0	0	0	
		資料作成費支出	通信費支出			0	
			資料費支出			0	
			消耗品費支出			0	
			レンタル料支出			0	
			作成費支出	15,120	33,310	-18,190	エディオン尾道店、紙誠
		小計		15,120	33,310	-18,190	
		報告書作成費支出	通信費支出			0	
			資料費支出			0	
			消耗品費支出			0	
			レンタル料支出			0	
			作成費支出			0	
		小計		0	0	0	
		懇親会費支出	人件費支出			0	
			会場費支出			0	
			設営費支出			0	
			旅費交通費支出			0	
			運送費支出			0	
			レンタル料支出			0	
			保険料支出			0	
			飲食費支出			0	
			アトラクション費支出			0	
		小計		0	0	0	
		渉外費支出	役員渉外費支出			0	
			記念品代支出			0	
		小計		0	0	0	
		旅費交通費支出	旅費支出			0	
			交通費支出			0	
			宿泊費支出			0	
		小計		0	0	0	
		参加記念品代支出			0	0	
		保険料支出			0	0	
		通信費支出			0	0	
		販売物品仕入支出			0	0	
		雑費支出			0	0	
	事業予備費支出			47,836	3,875	43,961	
支出合計				281,706	375,570	-93,864	

収支予算明細書（案）

事業名　卒業例会　テーマ「恩返し　～感謝と敬意～」

＜収入明細書＞

中　科　目	小　科　目	細目	摘　　要	予算額	備考
事業費繰入収入	事業費繰入収入			60,000	
	事業予備費繰入収入			120,000	
			正会員@2,178×65名	141,570	例会食事代を繰入
			特別会員@2,000×27名	54,000	例会食事代を繰入
合　　計				375,570	

＜支出明細書＞

中　科　目	小　科　目	細目	摘　　要	予算額	備考
事業費支出	会場設営費支出	設営費支出	看板代	7,000	(有)メディアジャンクション
		設営費支出	会場使用料	193,600	尾道国際ホテル
		設営費支出	テーブルクロス（白布に変更）	21,120	尾道国際ホテル
		レンタル料	スクリーン大（縦2.4m×横2.7m	16,500	尾道国際ホテル
		食事代	緑茶300ml@150×60名	9,900	尾道国際ホテル
		設営費支出	生花	22,000	尾道国際ホテル
		設営費支出	レッドカーペット	31,000	オークリッチ
	小　　計			301,120	
	企画演出費支出	演出費支出	コサージュ@1,100×8名	8,800	花のよしはら
			送辞用紙@385×9名	3,465	紙誠㈱
			映像作成費	25,000	YUUKIDesign
	小　　計			37,265	
	資料作成費支出	作成費支出	DVD-R（10枚入り）	750	エディオン尾道店
		作成費支出	アルバム@8名	32,560	紙誠
	小　　計			33,310	
	小　　計			0	
	小　　計			0	
	参加記念品代支出				
	保　険　料　支　出				
	通　信　費　支　出				
	販売物品仕入支出				
	雑　　費　　支　　出				
事業予備費支出				3,875	
合　　計				375,570	

一般社団法人　尾道青年会議所

１２月例会セレモニー　次第

日時：２０２１年１２月１５日（水）
１８：３０　～　１８：４０
場所：尾道国際ホテル

１．	開　会	１８：３０
２．	点　鐘	
３．	国家並びにＪＣソング斉唱	
４．	ＪＣＩクリード唱和	
５．	ＪＣＩミッション並びにＪＣＩビジョン唱和	
６．	ＪＣ宣言文朗読並びに綱領唱和	
７．	紹介事項	
８．	配布資料の確認	
９．	理事長挨拶	１８：３５
１０．	報告連絡事項	
	①理事長報告	
	②委員会報告	
	③出向者報告	
	④同好会報告	
	⑤その他	
１１．	連絡事項	
	事務局連絡	
１２．	直前理事長総評	
１３．	閉会	
１４．	点鐘	１８：４０

一般社団法人　尾道青年会議所

卒業式　次第

日時：２０２１年１２月１５日（水）
１９：００
場所：尾道国際ホテル

１．	開　会	１９：００
２．	卒業生入場	
３．	理事長挨拶	
４．	髙橋宏明シニアクラブ会長挨拶	
５．	ＯＢ紹介	
６．	祝電紹介	
７．	オープニングムービー	
８．	委員長挨拶	
９．	卒業生紹介　送辞・花束贈呈・答辞	
１０．	現役会員代表送辞	
１１．	卒業生代表答辞	
１２．	エンディングムービー	
１３．	副理事長謝辞	
１４．	卒業生退場	
１５．	閉会	２１：００

２０２１年　卒業例会タイムスケジュール（案）

日時　２０２１年１２月１５日（水）

場所：尾道国際ホテル

【タイムスケジュール】

０．例会セレモニー	１８：３０	１０分
受付準備	１８：４０	５分
受付　ＯＢ入場	１８：４５	１５分
１．開会	１９：００	１分
２．卒業生入場	１９：０１	２分
３．理事長挨拶	１９：０３	５分
４．髙橋宏明シニアクラブ会長挨拶	１９：０８	５分
５．ＯＢ紹介	１９：１３	５分
６．祝電紹介	１９：１８	１分
７．オープニングムービー	１９：１９	３分
８．委員長趣旨説明	１９：２２	１分
９．卒業生紹介　送辞・花束・答辞	１９：２３	８０分

・紹介ＰＰ　１分
・登壇・降壇　１分（各０．５分）
・送辞・答辞　６分（各３分）
・花束　１分

一人当たり　９分×８名＝７２分（＋予備８分）

10. 現役会員代表送辞	２０：４３	５分

・卒業生登壇（２分）
・代表送辞　今岡理事長予定者（３分）

11. 卒業生代表答辞	２０：４８	５分

・代表答辞　卒業生代表（３分）
・卒業生降壇（２分）

12. エンディングムービー	２０：５３	３分
13. 副理事長謝辞	２０：５６	２分
14. 卒業生退場	２０：５８	２分
15. 閉会	２１：００	
ＯＢお見送り	２１：００	

【タイムスケジュール】**（オンライン形式）※緊急事態宣言等の場合**

卒業生及び主要な方は、国際ホテルで実施し、その他のメンバーは ZOOM にて参加して頂きます。

0．例会セレモニー	１８：３０	１０分
２０分休憩		
1．開会	１９：００	1分
2．卒業生入場	１９：０１	2分
3．理事長挨拶	１９：０３	5分
4．髙橋宏明シニアクラブ会長挨拶（動画にて）	１９：０８	5分
5．オープニングムービー	１９：１３	3分
6．委員長趣旨説明	１９：１６	1分
7．卒業生紹介　送辞・花束・答辞	１９：１７	８０分

・紹介ＰＰ　1分
・登壇・降壇　1分（各０．５分）
・送辞・答辞　6分（各3分）
・花束　1分

一人当たり　9分×８名＝７２分（＋予備８分）

8．現役会員代表送辞	２０：３７	5分

・卒業生登壇（2分）
・代表送辞　今岡理事長予定者（3分）

9．卒業生代表答辞	２０：４２	5分

・代表答辞　卒業生代表（3分）
・卒業生降壇（2分）

10．エンディングムービー	２０：２７	3分
11．副理事長謝辞	２０：３０	2分
12．卒業生退場	２０：３２	2分
13．閉会	２０：３４	

２０２１年　卒業例会概要（案）

【テーマ】　　「恩返し　～感謝と敬意～」

日時　２０２１年１２月１５日（水）

場所：尾道国際ホテル

【例会セレモニー】

①例会セレモニーをＯＢ会員入場前に行うことで、ＯＢ会員が卒業式に集中できるようにします。

【開場・OB 入場】

①OB 席を会場の奥側に設えています。現役メンバー全員拍手をもって先輩をお出迎えし、気持ちよく卒業式へ参加して頂けるようにします。

②例会セレモニー終了後は、OB お出迎えの為、速やかに入口の両サイドにお集まりください。

③喫煙所の使用は控えてください。

③受付は例年事務局対応となっております。

④クローク係に関しては、他委員会にお願いします。

⑤理事長、専務は入口で諸先輩方をお出迎えして頂き、席へのアテンドは副理事長にお願い致します。

【卒業生入場】

①歴の長い卒業生が中央側の席に座るため、歴の短い順に入場してもらいます。

②卒業生が通る道にレッドカーペットを敷く事で敬意を表し、厳粛な雰囲気を醸成します。

【理事長挨拶・安保会長挨拶】

①式の初めに理事長と安保会長から挨拶を頂き、卒業式に向けて出席者全員の気持ちを一つにします。

【OB 紹介】

①先輩のお名前をお呼びして、お祝いの言葉をもらいます。懐かしい先輩方からお言葉を頂くことで、卒業への気持ちをより一層高めます。

②祝電を受付にて閲覧できることを紹介します。

【オープニング】

①卒業生全員を３分間の動画で紹介し、厳粛な卒業式の雰囲気を演出いたします。

【卒業生紹介　送辞・花束・答辞】

①送辞の前に、ショートムービーを上映し、卒業生を紹介します。

②厳粛な雰囲気で行うため、送辞は一人で述べてもらいます。

【代表送辞・代表答辞】

①今岡理事長予定者より代表送辞をして頂きます。

②最も歴の長い加度卒業予定者から代表答辞をして頂きます。

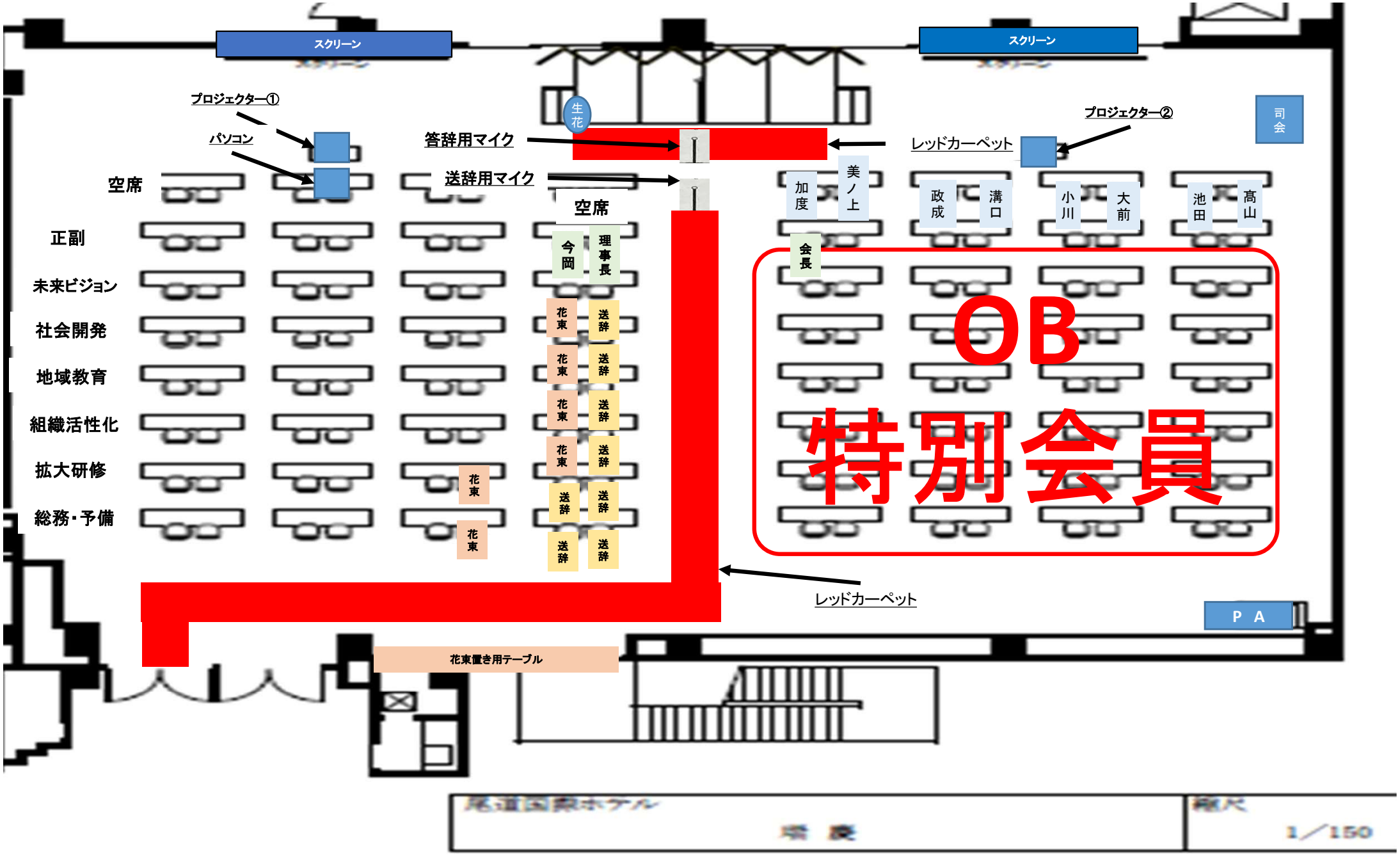
【エンディングムービー】

①今年行った４つの事業を約３分間の動画として流し、一年間を振り返ります。同時に現役メンバーが頑張っている姿を先輩方にもご覧になって頂きます。

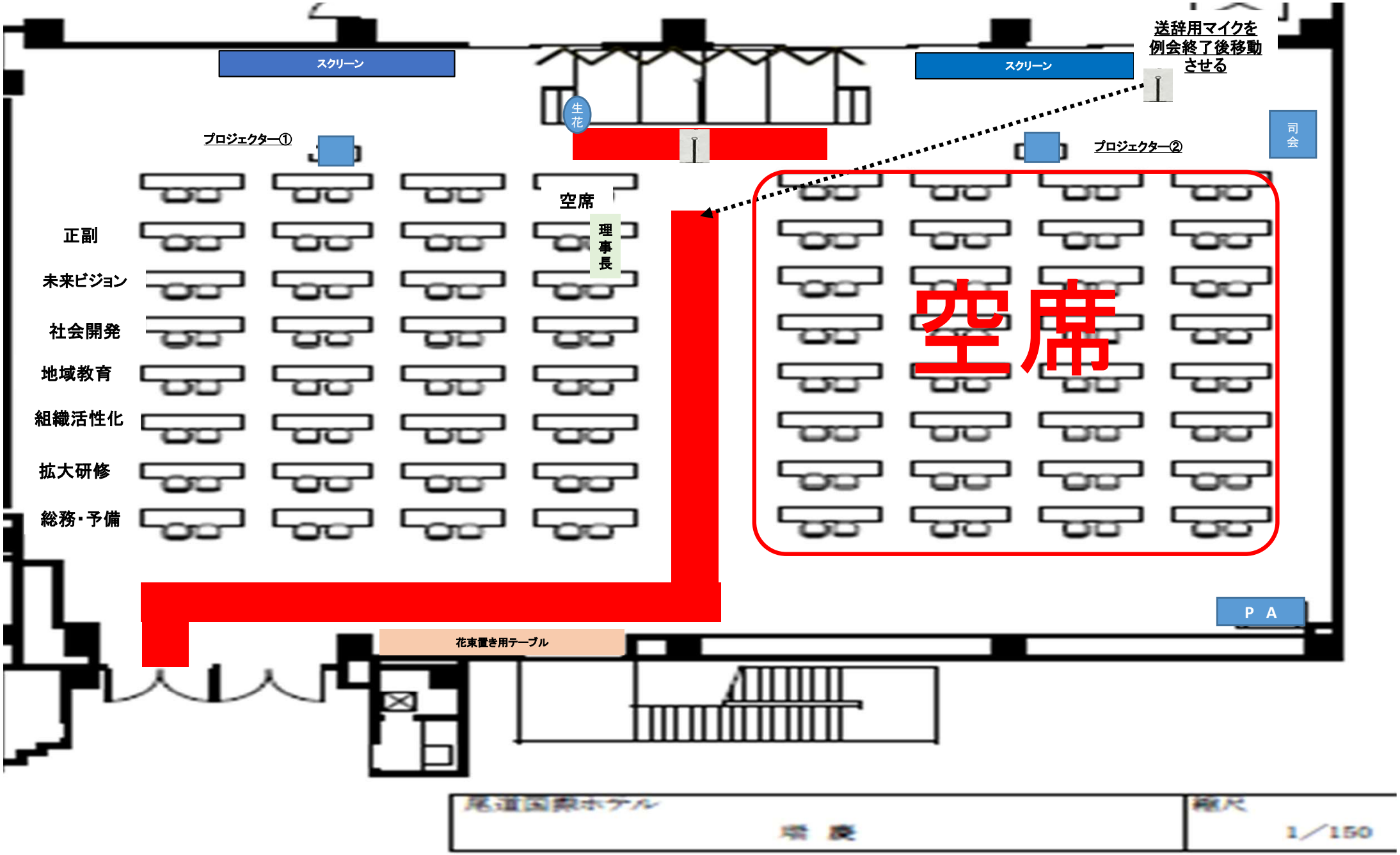
【OB 退場】

①現役メンバー全員で OB 会員のお見送りをして、気持ちよく卒業式を終え、帰って頂きます。

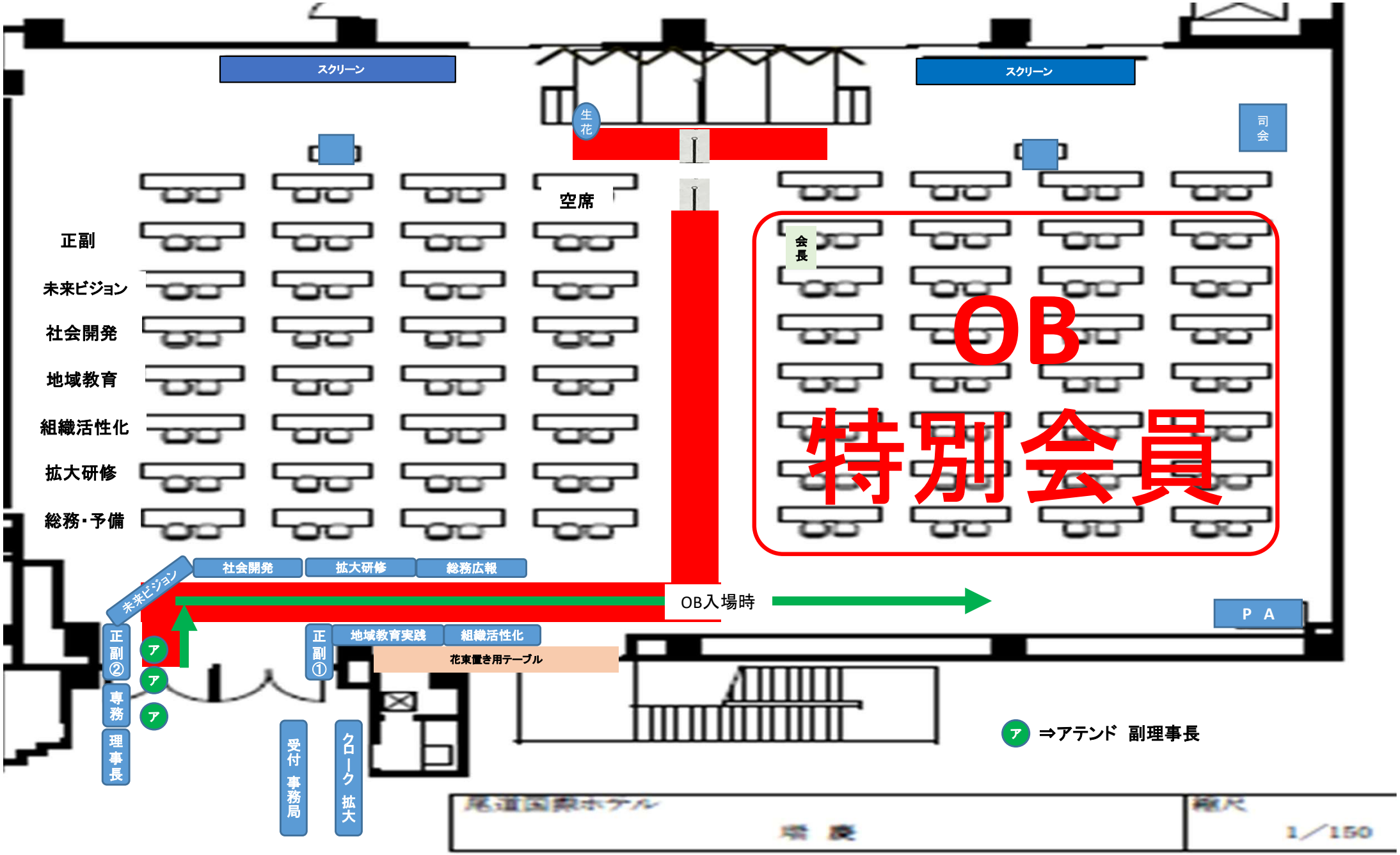
【卒業例会　座席および備品配置レイアウト】



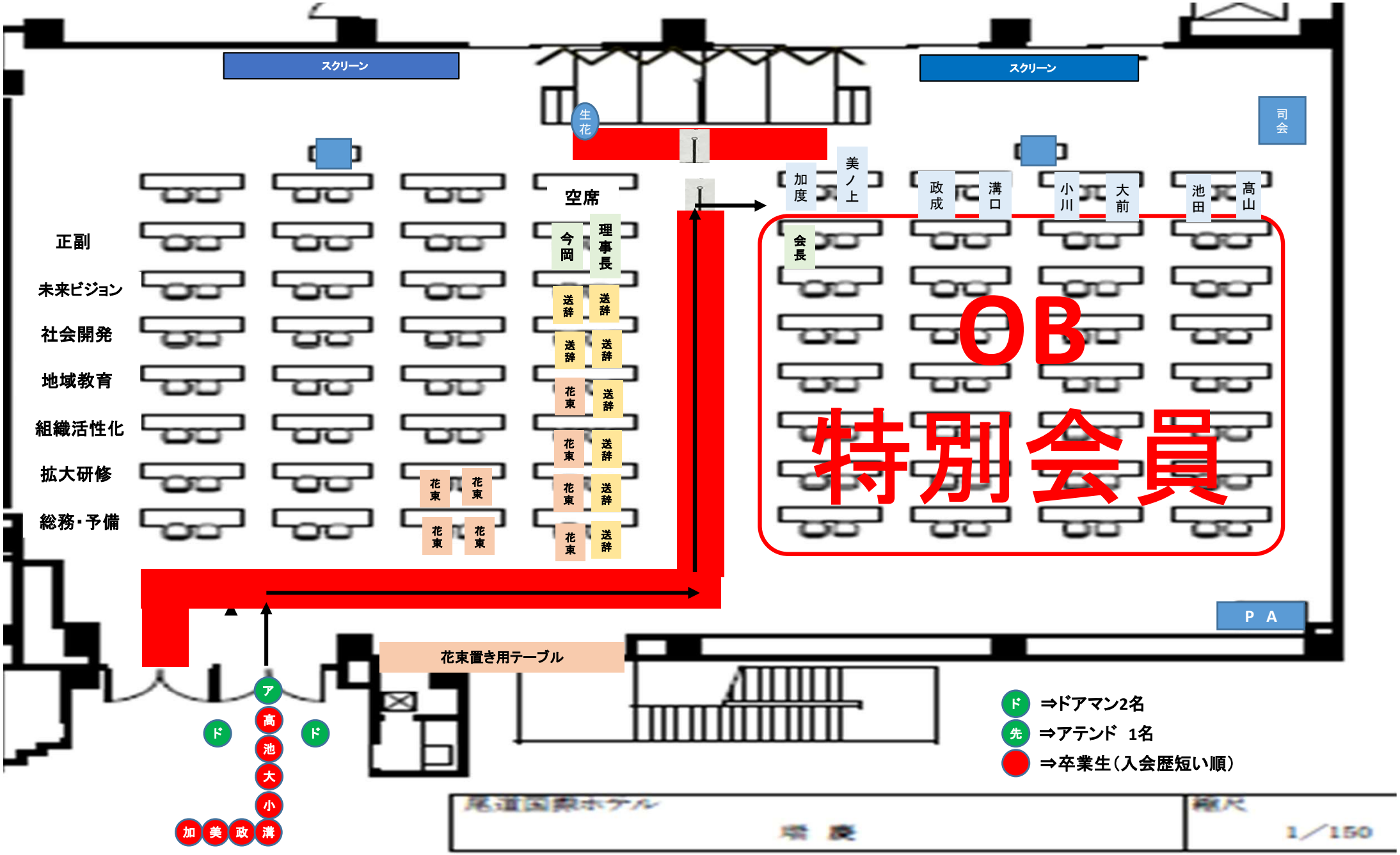
⓪18:30【12月例会セレモニー　配置レイアウト】



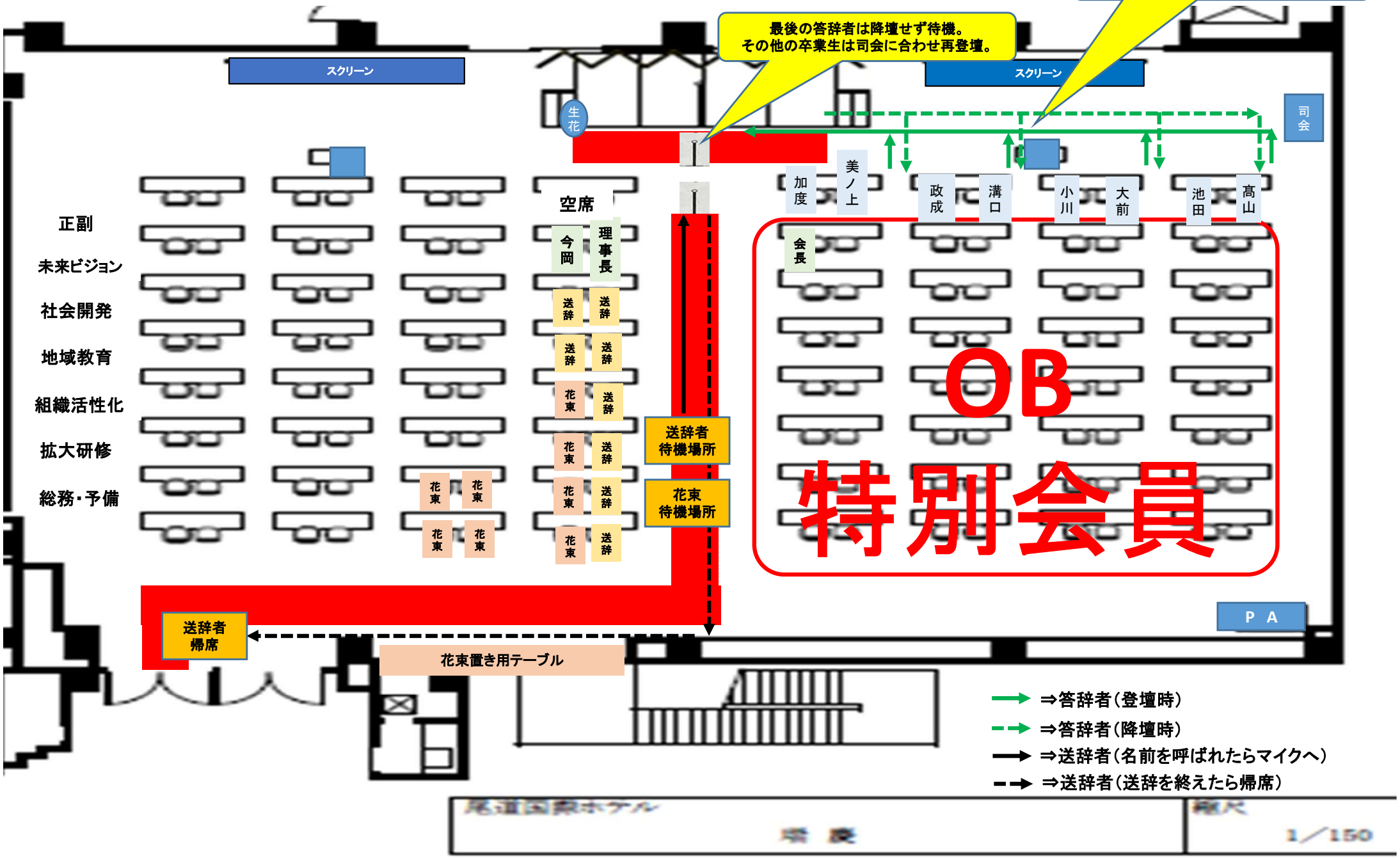
①18:45【OBお出迎え時　配列レイアウト】



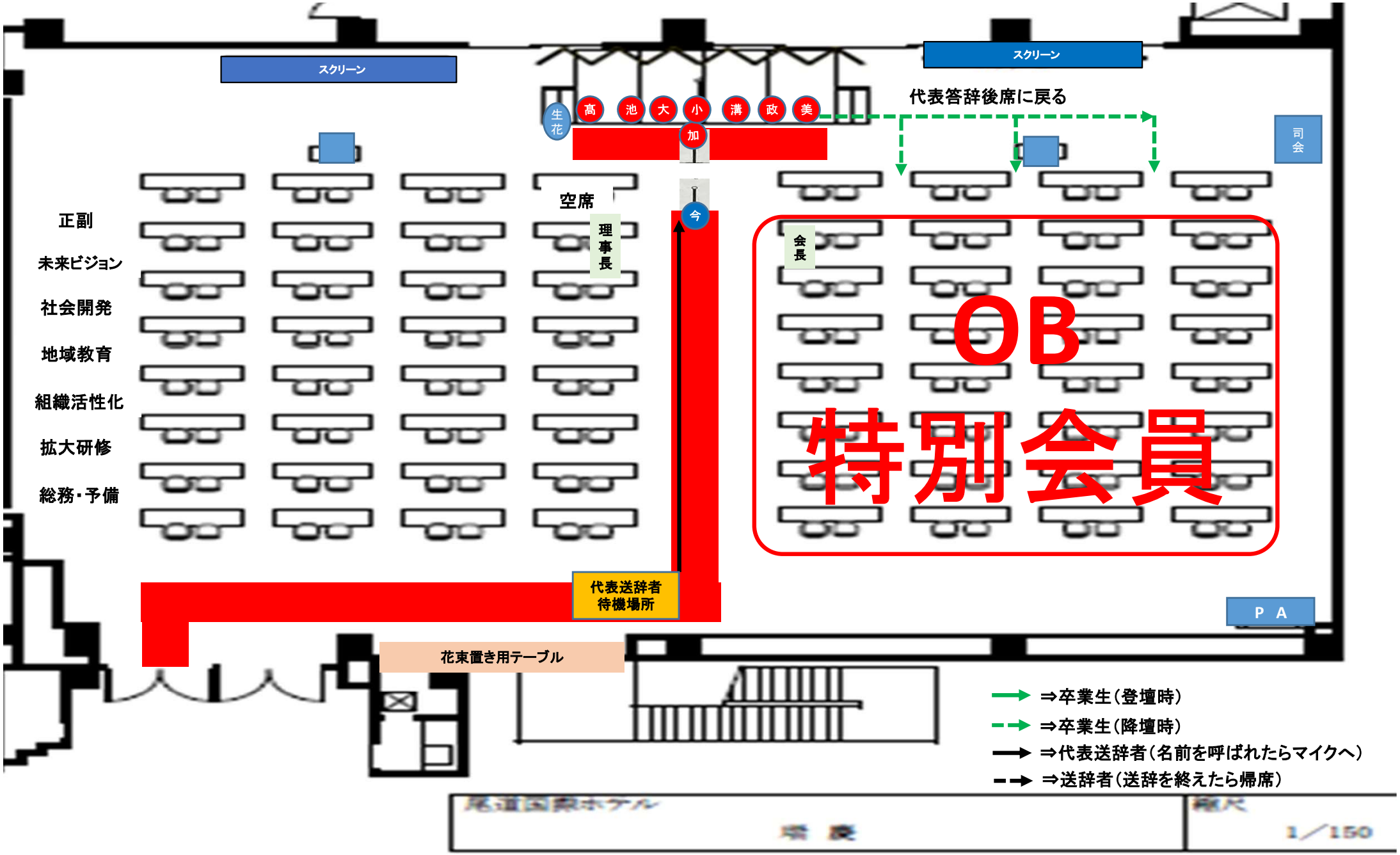
②19:00【卒業生入場時　導線レイアウト】



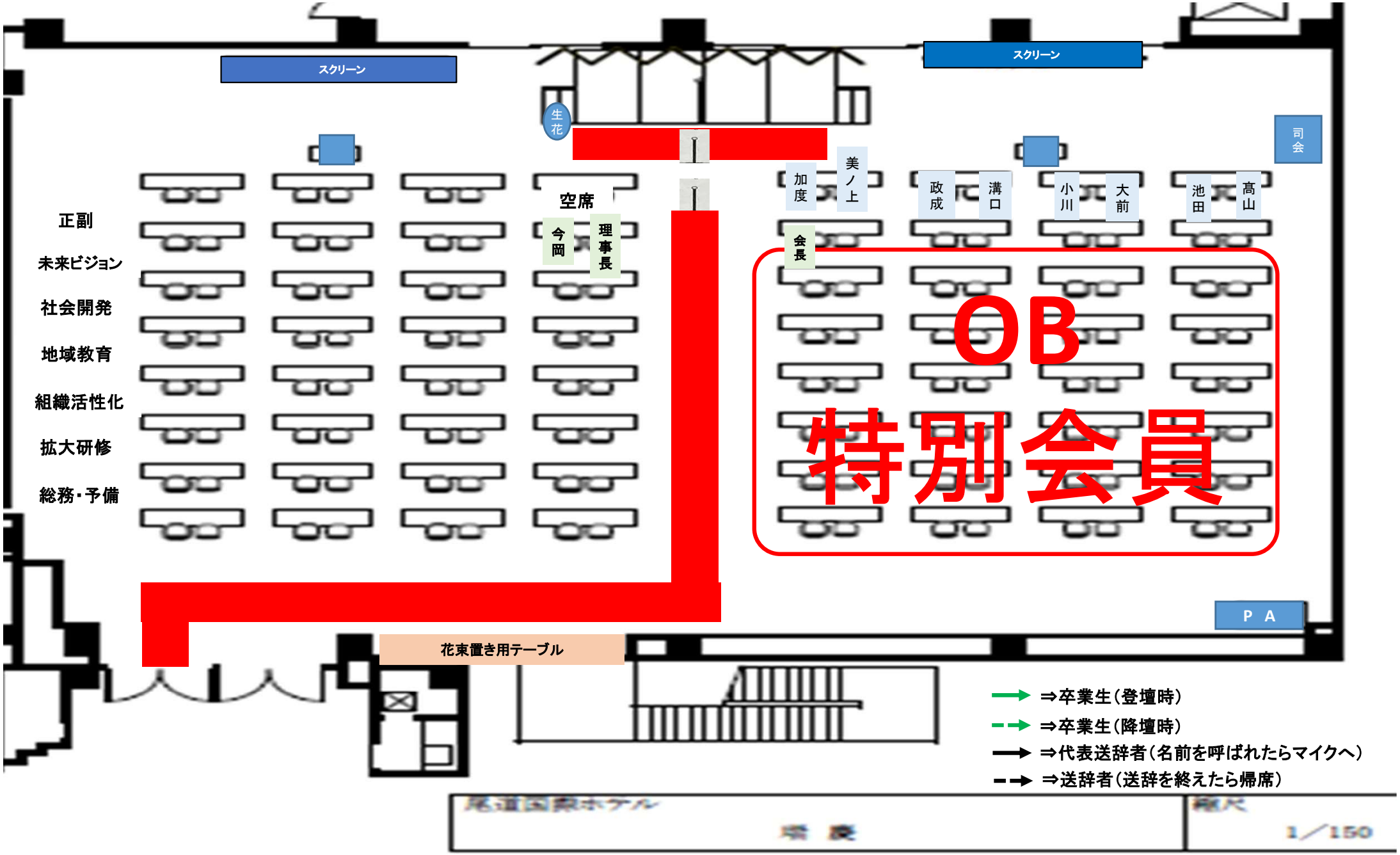
③19:23【送辞・答辞　導線レイアウト】



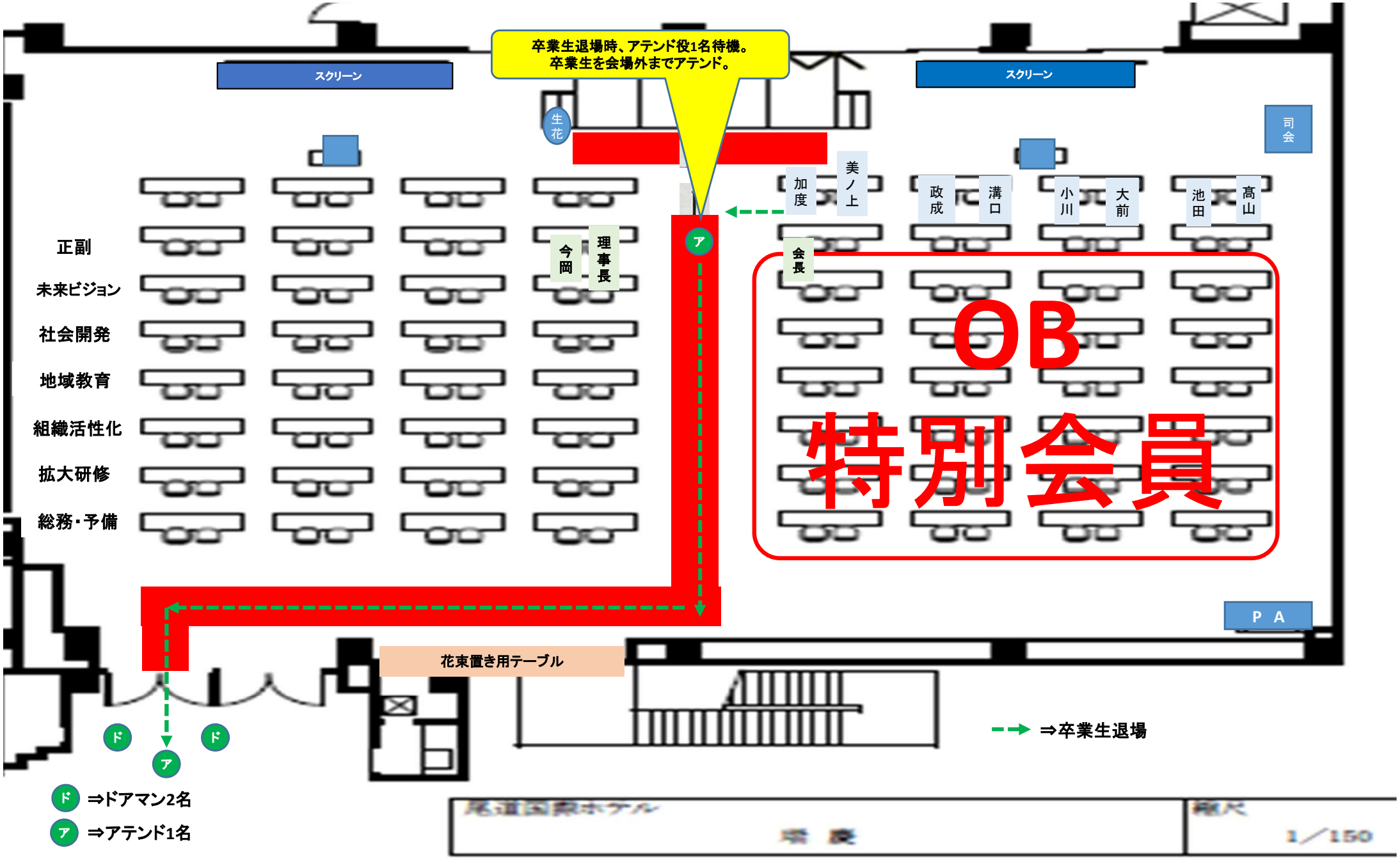
④20:43【代表送辞・代表答辞　レイアウト】



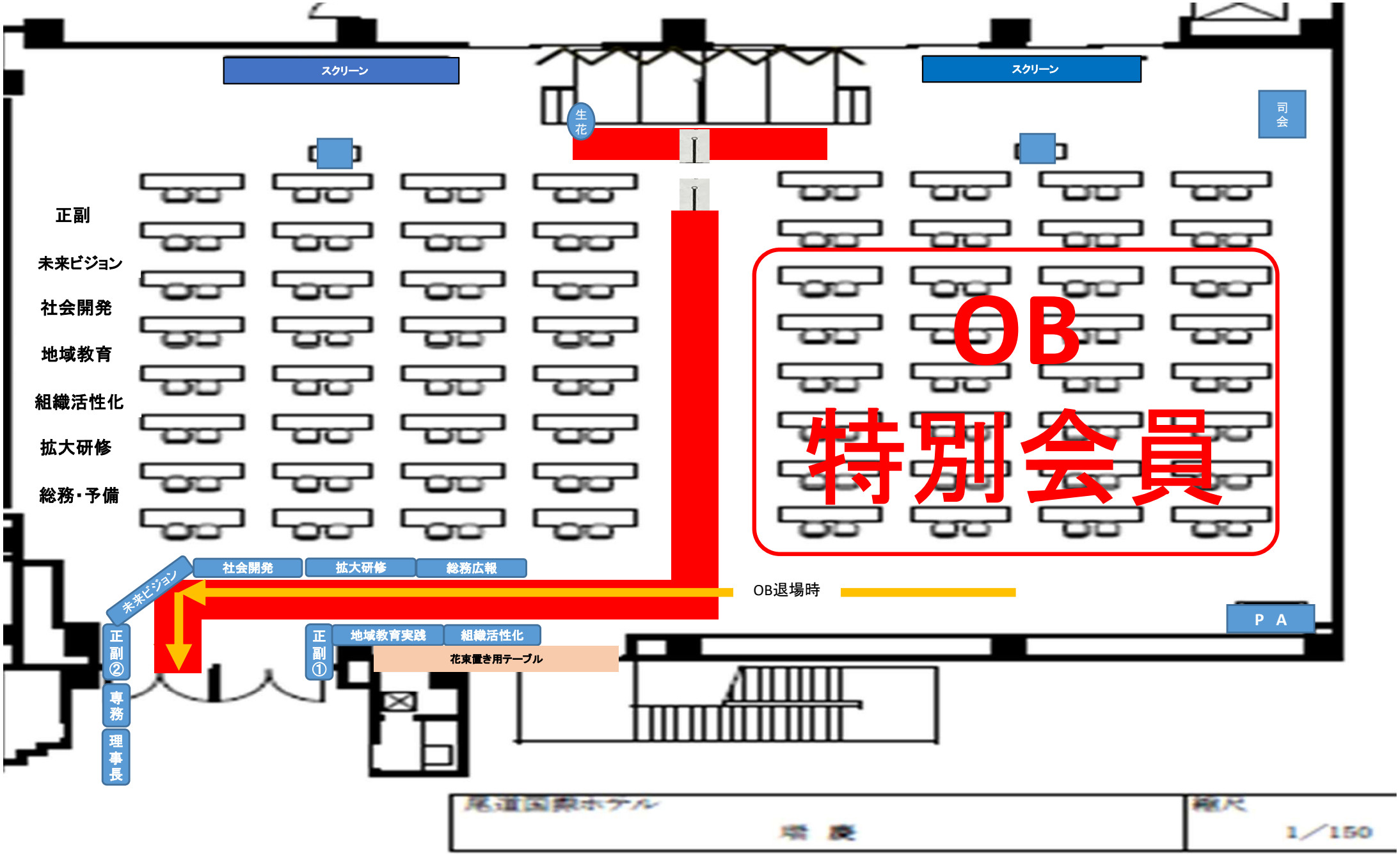
⑤20:53【エンディングムービー　レイアウト】



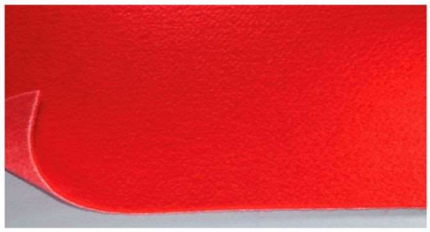
⑥20:58【卒業生退場　レイアウト】



⑥21:00 【OBお見送り時　配列レイアウト】



追加備品（案）

レッドカーペット（巾 182cm、 長さ 12m）　￥０	生花　￥２２，０００
	 （注：イメージ） この写真は造花です
造花　￥０	マスク入　お茶代に含む
	
お茶　１本￥１５０	追加レッドカーペット 幅 182ｃｍ長さ３０ｍ　￥３１，０００
	

アルバム資料（参考資料）



用紙セットイメージ





レイアウトイメージ

御 見 積 書

発行日： 2021/11/16

一般社団法人 尾道青年会議所　御中

下記の通りお見積り申し上げます。

納入場所	お客様指定場所
納入期日	ご相談
支払条件	
見積有効	2021/12/31まで
御見積金額	

¥32,560 -

紙誠株式会社
〒722-0051　広島県尾道市東尾道1C-13
TEL (0848)20-2131　FAX (0848)20-2135

承　認	査　閲	担　当

担当：　山 北

単位：円

No	商品名	数量	単価	金額
1	証書ファイル（見開き両面4コーナー加工）	8	1,200	9,600
2	アルバムデータ作成＆印刷	8	2,500	20,000
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
			小計金額	29,600
			消費税(10%)	2,960
			合計金額	32,560

備考

御見積書

発行日：2021年11月11日
御見積No：　2934-0
御宴席No：　23650

一般社団法人尾道青年会議所　様

一般社団法人尾道青年会議所12月例会　様御席

〒 722-0014
広島県尾道市新浜1丁目13－6
尾道国際ホテル
電話：　0848-25-5931　FAX：0848-25-5930
担当：　西原　勲一

利用日	2021年12月15日(水)
利用時間	18時30分 ～ 21時00分
ご人数	120名

下記の通り、お見積り申し上げますので何卒よろしくお願い致します。

御見積金額	¥263,120

(標準税率　¥263,120)
(軽減税率　¥0)

御見積有効期限　2021年12月11日(土)

【ご利用会場】

ご利用会場	ご利用内容	ご利用時間
慶雲		18時30分 ～ 21時00分
瀬戸		17時00分 ～ 20時30分

ご不明な点がございましたら、担当者までご連絡ください。今後とも弊社をよろしくお願いします。

一般社団法人尾道青年会議所12月例会　様御席

発行日：2021年11月11日
御見積No：2934-0
御宴席No：2365C

御見積明細書

商品名	単価	数量	料金	割引	金額	備考
緑茶（ペットボトル）300ml	150	60	9,000		9,000	
会場使用料	160,000	1	160,000		160,000	メイン会場、控室、駐車場料含む
① 小計			169,000		169,000	
サービス料			16,000		16,000	
消費税			18,500		18,500	
合計			203,500		203,500	

商品名	単価	数量	料金	割引	金額	備考
ステージ装花	20,000	1	20,000		20,000	壺花1台
吊下げスクリーン	15,000	1	15,000		15,000	
毛氈	0	1	0		0	入・退場導線使用
テーブルクロス（白布）	300	64	19,200		19,200	
マスク入れ	0	60	0		0	緑茶と併せてテーブルセット
② 小計			54,200		54,200	
消費税			5,420		5,420	
合計			59,620		59,620	

合計	単価	数量	料金	割引	金額	備考
小計【①+②】			223,200		223,200	
サービス料【①】			16,000		16,000	
消費税【①+②】			23,920		23,920	
合計					263,120	

御見積書

発行日	2021/10/18

一般社団法人尾道青年会議所御中

小西 琢真 さま

YUUKI Design

半田 祐喜
〒722-0071
広島県尾道市向島町立花417-2
080-6115-6264

合計金額（税込）

¥25,000

適用	数量	単位	単価	金額
2021卒業例会 オープニングムービー 制作費	1	式	25,000	25,000

小計： ¥25,000

合計(税込)： **¥25,000**

料金は見積り段階であり、デザインの内容・用いる技術仕様などにより変更になる場合があります。

THANK YOU.
We hope you will be satisfied with our proposal.

御 見 積 書

発行日： 2021/10/12

一般社団法人 尾道青年会議所　御中

下記の通りお見積り申し上げます。

納入場所	お客様指定場所
納入期日	ご相談
支払条件	
見積有効	2020/12/31
御見積金額	
	¥3,465 -

紙誠株式会社
〒722-0051　広島県尾道市東尾道1L-13
TEL (0848)20-2131　FAX (0848)20-2135

承　認	査　閲	担　当

担当：　山 北

単位：円

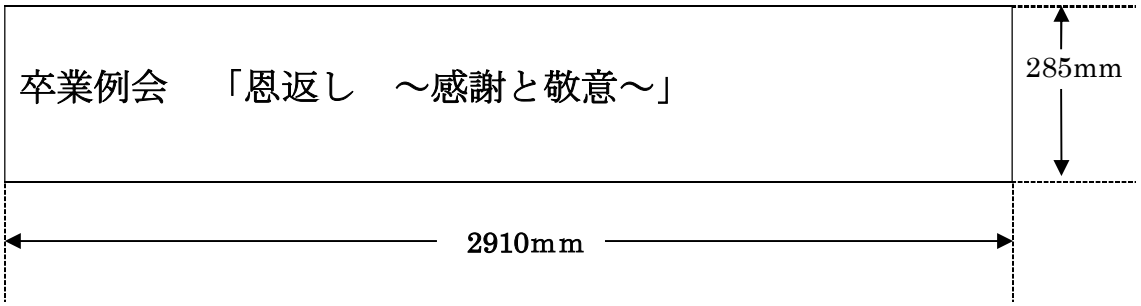
No	商品名	数量	単価	金額
1	式辞用紙 大 罫入り	9	350	3,150
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
			小計金額	3,150
			消費税(10%)	315
			合計金額	3,465

備考

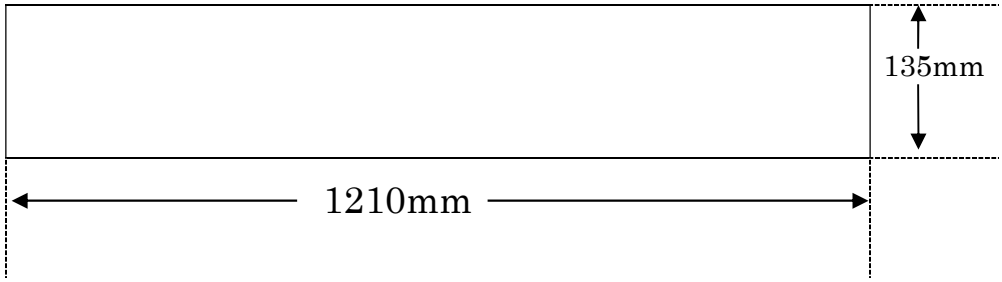
２０２１年度　１２月例会看板

板製作寸法　及び　基本レイアウト

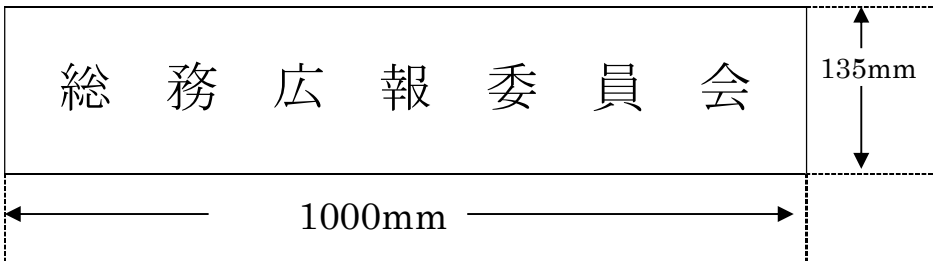
テーマ



予備欄



委　員　会　名



2021年 10月 15日

御 見 積 書

No. 7579

一般社団法人尾道青年会議所 御中

12月例会看板制作（2021年）

下記の通り御見積申し上げます。

納入期日 年 月 日
納入場所 別途ご相談
取引方法 別途ご相談の上
有効期限 年 月 日

有限会社メディアジャンクション
〒722-0017
広島県尾道市門田町23-30
TEL:0848-21-2201 FAX:0848-21-2202
info@mediajunction.jp
http://www.mediajunction.jp/

御 見 積 金 額	¥7,000

内 容 ・ 仕 様	数 量	単位	単 価	金 額
12月例会看板制作（2021年）	1.00	式	6,364	6,364
【 消費税 10% （税抜分） 】				636
合 計				7,000

1頁

感染症拡大防止対策（参考資料）



国際ホテルロビー入り口に非接触型の
体温測定値があります。

入場の際は必ず体温測定を実施の上
入場いただきます。

体温については全員記録を取り、
入場可否の判断と致します。
（平熱に比べ熱があると思われる方は
帰宅していただきます）

ホール入り口にもアルコール消毒を設置します。万が一マスクをお忘れのかたが
いらっしゃる事を想定して予備のマスクを置いておきます。







飛沫飛散対策として
司会席、演台、
スタンドマイク前方には
アクリル板等が設置されています。

健康状態確認書

本確認書は、例会事業において新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、参加者の健康状態を確認することを目的としています。
本確認書に記入いただいた個人情報について、主催者は、厳正なる管理のもとに保管し、参加者の健康状態の把握、来場可否の判断および必要なご連絡のためにのみ利用します。また、個人情報保護法等の法令において認められる場合を除き、ご本人の同意を得ずに第三者に提供いたしません。但し、本会場内にて感染症患者またはその疑いのある方が発見された場合に、必要な範囲で保健所等に提供することがあります。

＜基本情報＞　　＜確認日＞　令和　　年　月　日

主催者	尾道青年会議所	開催場所	
担当委員会	委員会	事業名	
委員長名		携帯番号	
備考			

＜事業開催日の健康状態＞　（参加者すべて記入すること）

	名　前	携帯番号	本日の体　温		名　前	携帯番号	本日の体　温		名　前	携帯番号	本日の体　温
1			℃	33			℃	65			℃
2			℃	34			℃	66			℃
3			℃	35			℃	67			℃
4			℃	36			℃	68			℃
5			℃	37			℃	69			℃
6			℃	38			℃	70			℃
7			℃	39			℃	71			℃
8			℃	40			℃	72			℃
9			℃	41			℃	73			℃
10			℃	42			℃	74			℃
11			℃	43			℃	75			℃
12			℃	44			℃	76			℃
13			℃	45			℃	77			℃
14			℃	46			℃	78			℃
15			℃	47			℃	79			℃
16			℃	48			℃	80			℃
17			℃	49			℃	81			℃
18			℃	50			℃	82			℃
19			℃	51			℃	83			℃
20			℃	52			℃	84			℃
21			℃	53			℃	85			℃
22			℃	54			℃	86			℃
23			℃	55			℃	87			℃
24			℃	56			℃	88			℃
25			℃	57			℃	89			℃
26			℃	58			℃	90			℃
27			℃	59			℃	91			℃
28			℃	60			℃	92			℃
29			℃	61			℃	93			℃
30			℃	62			℃	94			℃
31			℃	63			℃	95			℃
32			℃	64			℃	96			℃

＜事業開催日の健康状態＞　（参加者すべて記入すること）

	名　前	携帯番号	本日の体 温		名　前	携帯番号	本日の体 温		名　前	携帯番号	本日の体 温
97			℃	129			℃	160			℃
98			℃	130			℃	161			℃
99			℃	131			℃	162			℃
100			℃	132			℃	163			℃
101			℃	133			℃	164			℃
102			℃	134			℃	165			℃
103			℃	135			℃	166			℃
104			℃	136			℃	167			℃
105			℃	137			℃	168			℃
106			℃	138			℃	169			℃
107			℃	139			℃	170			℃
108			℃	140			℃	171			℃
109			℃	141			℃	172			℃
110			℃	142			℃	173			℃
111			℃	143			℃	174			℃
112			℃	144			℃	175			℃
113			℃	145			℃	176			℃
114			℃	146			℃	177			℃
115			℃	147			℃	178			℃
116			℃	148			℃	179			℃
117			℃	149			℃	180			℃
118			℃	150			℃	181			℃
119			℃	151			℃	182			℃
120			℃	152			℃	183			℃
121			℃	153			℃	184			℃
122			℃	154			℃	185			℃
123			℃	155			℃	186			℃
124			℃	156			℃	187			℃
125			℃	157			℃	188			℃
126			℃	158			℃	189			℃
127			℃	159			℃	190			℃
128			℃	160			℃	191			℃

Gmail 小西琢真 <konishi52086@gmail.com>

特価見積もり

1 件のメッセージ

オークリッチ <good22@oakrich.jp> 2021年11月19日 10:46
To: konishi52086@gmail.com

┌──────────◆特価見積もり床材◆──────────┐
オークリッチに見積りを依頼頂きましてありがとうございます。
修正再見積りの場合は返信メールの以下の内容を書き換えて
この部分をメールでご返信下さい。(書き換え前の内容は不要)

―再見積りはここの内容を書き換えてご返信ください―ここから↓
■ご注文者様（お客さま）情報
konishi52086@gmail.com
お名前：　小西琢真様
フリガナ：コニシタクマ
電話番号：09022923409
郵便番号：7220035
ご住所：　広島県尾道市土堂

★ご住所を番地まで正確におしらせください。

■床材
[1]「パンチカーペット」ディスプレイカーペット/TX152レッド/30m巻 ,幅1.82, 長さ30m ,数量1 個
―再見積りはここの内容を書き換えてご返信ください―ここまで↑

★見積り有効期限7日間
┌■特価見積り（書き換え禁止―ここから↓）
│1.　31000（%off）
│送料　0
│消費税　込み
│――――――――――――――――
│【振込金額】→￥31,000円【代引きは下記料金がプラス】
└――――（書き換え禁止―ここまで↑）
★先払いの場合、振込料はお客様負担となります。

┌【代金引き換えの場合のみ】――――――――┐
【振込金額】に￥円プラス【←送料+手数料+消費税】
　↑金額が記入されていない場合は代引き不可です。

この金額または代引きに付いて詳しい説明はこちらへ↓
https://oakrich.jp/Pages/daibiki-9.html
└――――――――――――――――――――┘

　注文方法↓
★――――――★――――――★――――――★――――――★

◆返信メールを作り見積メールをすべてコピーしてください
メールの件名を【注文先払い】または可能な場合【注文代引き】
に変更してご返信ください。納品希望日および連絡事項がある
場合は、メールの一番上に書き加えてください。

【注文、先払い】の場合は入金ご案内のメールをお送りします。
【注文、代引き】の場合は確認のお電話をいたします。
★内容の変更がある場合は再見積りとなります

★★★★★★★★★重要　注意事項★★★★★★★★★
★ご注文は利用規約に同意していただくことが条件となります。
ご注文のメールが届いた時点で同意したと見なされます。
https://oakrich.co.jp/?mode=f2

★当店の領収証、請求書、見積書、納品書などをお望みの方はこちらへ
https://oakrich.jp/form8-receipt2.html

有限会社オークリッチ（創業３０年）　担当富樫
カラーミーショップ店 https://oakrich.co.jp/
カーテン本店 https://oakrich.jp
〒297-0016　千葉県茂原市木崎469-18
TEL 0475-22-5353（平日のAM10:00～PM3:00)

守　破　離

～郷土の誇りを未来へ～

２０２２年度　理事長
今岡　正英

ふるさとを一度離れ帰郷した際の感動を忘れることはできません。当たり前だった日常の景色は、自然と文化が見事に融合した美しい景色へと変わっていました。近くにある宝というものは日常に溶け込んでしまえばその価値に気付くことはありません。一度離れることによって、またその宝に初めて触れる人々によって価値に気付かされていくものなのです。尾道で生まれ育った人は誰しもふるさとを誇らしく思ったことはあるはずです。郷土愛という精神は必ず皆感情のどこかに持っています。私たち青年会議所の活動の源は郷土愛にあります。地元地域をもっと良くしたい、地元地域の人々をもっと元気づけたい、そうした想いからすべての思考は始まります。現在は幅広く様々な活動を行っていますが、他団体には無い独特の気質を「まち」「ひと」のためにもっと活用していくべきと考えます。青年会議所はまちに支えられ育てて頂いた団体でもあります。尾道を代表する青年経済人として、育てて頂いたまちに恩返しをしていくその使命を負っているということを自覚しておかなければいけません。地域を牽引していく立場となった今、未来のため次世代のために郷土愛溢れる活動をしてまいります。

守 破 離とは

まちやひとへの恩返しをしていくために必要な心掛けは「守 破 離」の精神にあると考えています。守破離とは本来修行における過程を表したものです。

【守】　先人の教えを忠実に守り、基礎を確実に実行していく様
【破】　基礎を守りつつも応用や改善を重ね、自分の想いを加えていく様
【離】　自らの考えや想いで、新しいものを生み出していく様

しかし、私が考える守破離とは過程ではなくその一つ一つを大切にしていくというものです。青年会議所が実施していく事業には、守に重きを置くべきもの、破に重きを置くべきもの、離に重きを置くべきもの、すべて存在します。内容によってどの精神を大切にすべきなのか判断していく必要があります。常に変化し続けるこれからの時代、今まで通りの手法でいくのか、今までとは少し違う方法をとるのか、全く新しいスタイルを取り入れるのか、自分の信念を持って選択していくことが求められます。

尾道青年会議所は１９５７年に県内４番目の青年会議所として設立されました。本年度は創立６５周年を迎えます。これまで長きに亘りまちのためひとのために活動されてきた

先輩諸氏がいたからこそ、そしてその魂（こころ）を途切れることなく紡いできたからこそ６５周年という節目を迎える事ができています。様々な歴史を作り上げてこられた先輩諸氏に敬意を表するとともに、今度は私たちが新たな歴史を築いていくその立役者にならなければいけません。新たな歴史の第一歩として、本年度はまちの人々に笑顔と感動を届ける記念事業を開催いたします。先の見えない不安定な状況にあっても、明るい笑顔と深い感動は人々を和ませ心を豊かにしてくれます。

市民が青年会議所に期待していること、それはまちづくりです。近年よく耳にする言葉があります。「JC って何をしているの？」この言葉を聞く度にまちへ貢献できているのか考えさせられます。ではどういう存在であるべきなのか。市民が求めているものを把握し応えるのが JC、困った時に助けるのが JC、体力・気力・知力を惜しみなく提供するのが JC、このように考えています。これまで先輩諸氏が作り上げてこられたまちづくり事業もまさにこうした活動だったのです。誰もが青年会議所の活動に賛同してくれるよう、市民の期待に応える事業を展開してまいります。

コロナ禍によって都市部から地方に関心が高まっている現在（いま）、地方における未来志向の活動は今後益々注目されていくと考えられます。地方は都市部とは全く違う魅力に満ち溢れています。山や海に囲まれた自然豊かな街並み、人情味あふれる人々、何よりまちの一体感は最大の魅力です。尾道はまさにそのような地方であり、発信すべき素材は数多く存在します。まだ陽の目を見ていない場所でも輝きを放つ可能性は十分に秘められています。暗い話題が渦巻いている今だからこそ、尾道の持つ多様性を活かして、人々が集う活気あるまちにしていかなければいけません。地域の未来を創る、青年会議所はそのきっかけを生み出す役割を担っています。

本年度尾道青年会議所は１１年ぶりに広島ブロック協議会のアカデミー事業を開催します。コロナ禍により中止せざるを得なかった昨年度の想いも込め、本年度は開催に向けて進めてまいります。入会年度の浅い会員にとって、広島ブロック協議会内での交流は極めて貴重な経験となります。井の中の蛙状態では、他 LOM に在籍する才能豊かな人との出会いもありません、自分の持っている更なる可能性に気付くこともできません。青年会議所の魅力は人との出会いでもあります。地域間の結束をより強固なものにしていくために、尾道らしい特徴を活かしたアカデミー事業を構築してまいります。

尾道の未来を託すのは私たち青年世代ではなく、現在の子どもたちに他なりません。その子どもたちに対し私たちは今何ができるのか、将来を見据え考えていく必要があります。子どもたちが成長し大人になった時「小さい頃青年会議所の人たちからこんなことを学んだな」と思い出してほしい。何十年先にも記憶に残るような事業を展開したいと考えています。それが原動力となりまちに恩返しをしていくことに繋がればこれほど嬉しいことはありません。現在は少子高齢化により地方の子どもたちは益々貴重な存在となってきています。県外への流出は何としてでも避けなければいけません。尾道に戻りたい、尾道のために働きた

い、そう思える郷土愛作りの一端を担いたいと考えています。

近年深刻な問題となってきている会員減少、１０年前と比べ約２０名減少しています。会員拡大の活動は続けているのに入会者数は伸び悩んでいます。その根本的な原因の一つは主体性の低下です。誰かがやってくれるだろうという考えが心のどこかに存在していることです。もう一つは青年会議所の活動意義を語れていないことです。自信を持って語ることができなければ伝えることもできません。どちらも取り組む姿勢が関係しています。ではどうすれば良いのか、それは当たり前のことですが青年会議所の活動に真摯に向き合うことです。気持ちを込めて取り組むことができれば、自ずと当事者意識も芽生え活動意義も語れるようになります。そして生き生きとし魅力的な人間へと変化していきます。結果としてそれが青年世代へと伝わり会員拡大へも繋がっていくことは間違いありません。

未来のために

現状だけを見るとしんどく辛いものばかりかもしれません。活動に消極的になってしまう時期があるかもしれません。しかし青年会議所で活動する価値というものは卒業した後に湧き上がってくるものです。卒業した後の姿を想像してみてください。やりきったからこそ二度と得ることのできない知識や経験を手にしています。何より一生の仲間ができています。青年会議所に所属できるのは生涯の中でも限られたわずかな期間だけです。未来の自分のため、未来の尾道のため、未来の社会のために、今できることに精一杯取り組んでまいりましょう。その取り組みこそが青年会議所の存在意義となり、未来のまちの創造へと繋がっていくのです。これまで長きに亘って紡いできた先輩諸氏の想い、そして皆さんの想いを結集しまちへの感謝を形にしていきましょう。

「想　い」

２０２２年度　６５周年特別室
実行委員長　吉田　雄太

昨今明日を予測することすら困難な時代になっています。
だからこそ今一人一人が何をすべきかを考え、そのすべき事を全力で行い、今まで培ってきた先輩諸兄の功績への敬意を、歴史、伝統、文化を積み重ねて頂いたことに感謝を表し、より良いものにし、今後１０年２０年先にバトンをつなぐ責任があります。
我々は未来を見据えながら情熱を持ち、市民、まちのために急速に変化する時代に対応しなければなりません。

それには確固たる「想い」が必要である。

想いは何よりの原動力です。想いは目には見えないけどあらゆる物を育む根源です。
信じた道を歩んで行くと傷つき悩むこともありますが、強い想いがあれば何度でも立ち上がりいかなる困難な道でも切り開くことが出来ます。
まちのため、市民のため、仲間のためだからこそいつも以上の力を発揮することができ、自分の限界を打ち破り、さらなる自己成長を遂げることが出来ます。
想いこそがこれから進むべき道を照らす光だと考えます。
今当たり前にあること全てが誰かの強い想いで出来たものです。
未来は自分の中にあります。想いで未来を創りましょう。

「意義を問う」

２０２２年度　地域創造室
副理事長　　歌　一行

尾道に暮らす私たちが魅力について聞かれた場合、どれだけの魅力を熱く語れ、相手の心を魅了することが出来るだろうか。どこの地域にも当てはまるありふれた言葉を並べるだけで相手の心を突き動かすことが出来るだろうか…

尾道で生まれ小さいころから過ごしてきた私たちにとって、地元尾道は当たり前の日常であって、特別なものと感じていないのかもしれない。もしかしたら観光客やその他地域から移住してきた人の方が尾道の魅力を語れるかもしれない。ましてやコロナ禍の昨今、人がまちに出て集うこと、心通わせることに躊躇い、一体感が失われつつあると感じます。

だからこそ、原点に立ち返り尾道の魅力を感じたい。
尾道に暮らす一人一人から尾道に誇りをもち、地域を愛する魂を創出するムーヴメントを起こしたい。それこそが１９５７年の設立以来、６５年に亘り先輩諸氏が紡いできた尾道青年会議所の意義だと考えます。

自然と共存するまち、人情味あふれる人々が共生するまち。
そのまちに郷土愛を持ち、もっとよくしたいと願い、尾道青年会議所がなくてはならない存在となるよう、「守 破 離」の精神のもと、意義を問い続けたい。

「熱　意」

２０２２年度　人財育成室
副理事長　高橋　建太

近年、様々な影響により社会全体が大きな変革を求められています。そのような中、私たちは先人が築いた魅力溢れる尾道を受け継ぎ、未来に向かい発展させる責任があります。尾道青年会議所においても６５年間、脈々と受け継がれてきた想いを尊重し、新たな仲間と共に次代へ継いでいく必要があると考えます。

未来の魅力溢れる尾道を創造するのは子どもたちです。私たちは青年経済人として子ども世代が多くの気付きを得られる機会を提供することができます。尾道青年会議所活動を通じて子どもたちが更なる飛躍をするための一助となるよう、運動を展開してまいります。

そして、私たちは青年経済人であると同時に子供を持つ親世代でもあります。私たちの活動を通じて大きな背中を見せられる親にならなければなりません。私たちが自信と誇りを持ち、地域に根差した運動を展開し多くの世代、多くの人から真に必要とされる団体へ進化を遂げましょう。

尾道を未来に向かい発展させるため、また地域に必要とされる団体になるために同じ想いを持った仲間を増やすことが重要です。尾道青年会議所は今後を支える地域のリーダー育成や地域の未来創造のために欠かせない学び舎です。この学び舎を経験した仲間が増えれば増えるほど、尾道の魅力は増していきます。そのために一人でも多くの人に共感してもらい、熱意を持って活動する仲間を増やしましょう。

一人一人が青年会議所活動に熱意と自信と誇りを持ち自らが率先して行動し、自己研鑽に励み、互いに切磋琢磨していきましょう。

「信　頼」

２０２２年度　専務理事
大西　貴明

本年度６５周年を迎える尾道青年会議所はいかなる外部環境が変わろうと一歩一歩、今日までひとづくり、まちづくりなどさまざまな活動をしてきました。

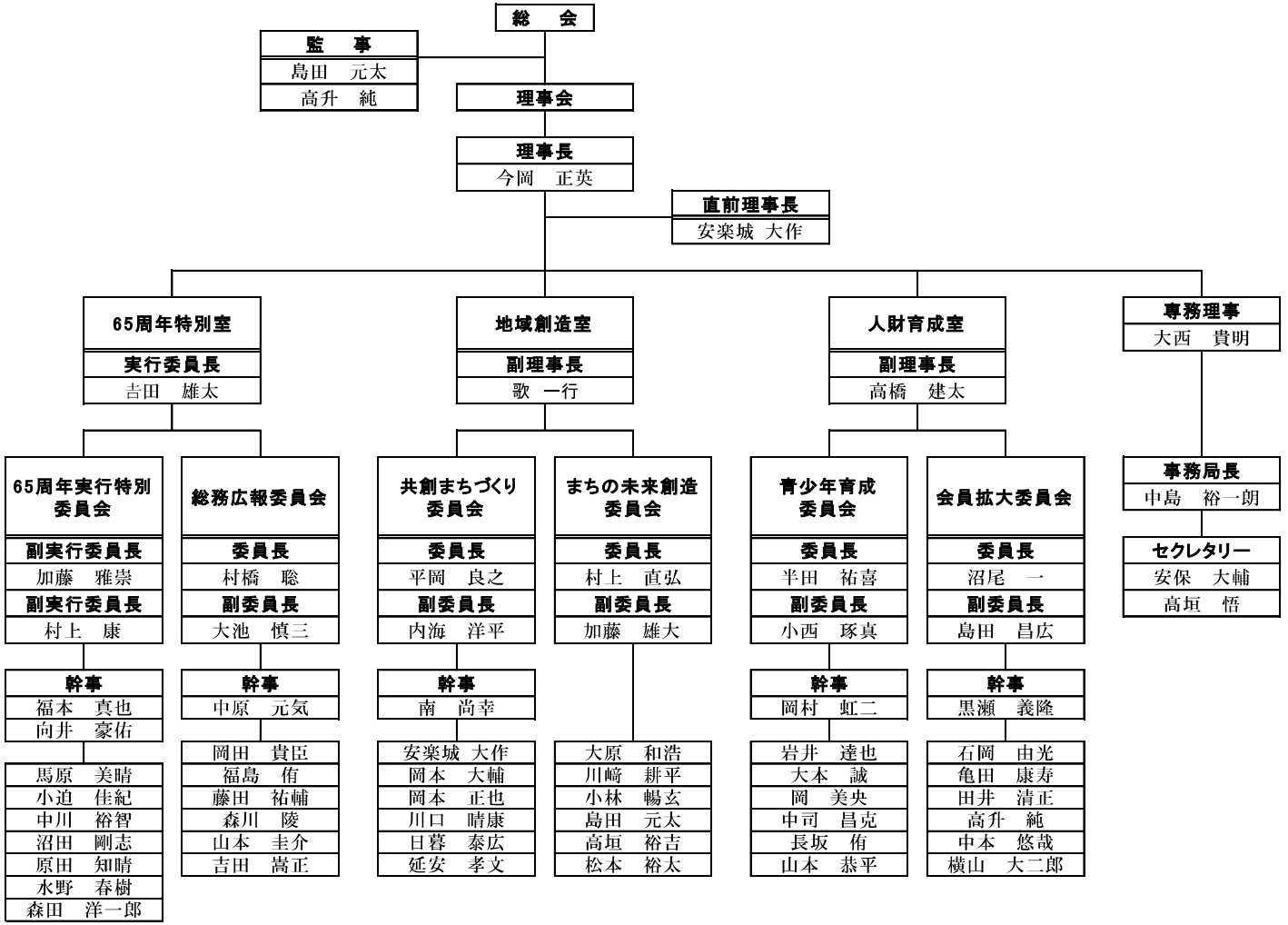
それは多くの先人達の軌跡でもありまた今後も我々はその歩みを止める事なくバトンを次代に引き継いでいく事も責務だと思っております。

世の中はたえず変化しその変化に対応する為には先入観にとらわれず失敗を恐れることなくチャレンジしていくしかありません。一人ひとりの力は微力でも皆が力を合わせれば無限大です。皆で語り合い、切磋琢磨し信頼関係を強固にしながら共に成長しあえる組織を創っていきましょう。

新たな時代を築くのは我々だという気概を持ち先頭をきって尾道を盛り上げまちの人と交流し情熱を伝播していきましょう。

まちのため、ひとのために。

2022年度　一般社団法人　尾道青年会議所　委員会構成図(案)



６５周年特別室　６５周年実行特別委員会

副実行委員長　加藤　雅崇
副実行委員長　村上　康

テーマ「Imagine　～想像しよう～」

先の見えない、答えのない、不安定な時代です。
第四次産業革命の只中にあるとも言われる現代において、人々の経済活動のみならず、生活様式や伝統文化、価値観など、多岐に渡って様々な事柄がうねりをあげて、日々刻々と変化しています。
また、一昨年に起こった新型コロナウイルスのパンデミックに象徴されるように、加速するグローバル化は我々の生活をより豊かに、しかし、より複雑な物にしています。
世界の遠いところで起こる出来事が、たちまち私たちの生活にも直接影響する、これまでに誰も体験していない時代に、私たちは生きています。
前例が無いほど頻発する大規模な自然災害、急速な科学技術の発展に対する希望と不安、世界中で露呈する様々な格差、歯止めのかからない少子高齢化、米中冷戦とも言われる２つの大国の緊張状態。ありとあらゆる事が、不確実で、曖昧で、漠然としていて、互いに影響を与え合いながら、私たちの生活に影を落としています。

そんな中で私たちにできること。
Imagine―想像しよう

これまでも人間は想像力を武器に、歴史を創り上げてきました。
どんな困難に直面しようとも、私たちの持つ想像力は、時代を乗り越えていく船であり続けました。
そしてこれからもきっと、それは変わらないでしょう。

I imagine. 私は想像します。
We imagine. 私たちは想像します。
Imagine the past. これまでの尾道の、尾道青年会議所の歴史を。
Imagine the future. これからの尾道の、尾道青年会議所の未来を。
想像し、共有し、行動します。

本年度は６５周年という重みを胸に、「守　破　離」の元。
これまでの尾道青年会議所の６５年という時間を改めて見つめ直し、数十年先の未来に繋がるような活動を、伝統を重んじながらも、柔軟に新しいことを取り入れながら行ってまいります。
この１年間、今できることを、仲間と共にやり切り、この尾道に、未来に繋がる灯りをともします。
尾道青年会議所の持つ想像力を武器に

事　業　計　画	時　期	予　算
創立６５周年記念式典の企画・運営	５月	５００，０００
創立６５周年記念事業の企画・運営	通年	３，０００，０００
新年例会	１月	１５０，０００
クリスマス会	１２月	２００，０００
会員拡大の実践	通年	
合　　計		３，８５０，０００

６５周年特別室　総務広報委員会

委 員 長　村橋　聡
副委員長　大池　慎三

テーマ「年中夢求」

尾道に青年会議所が産声を上げて今年で６５年。設立以来、先輩方の築き上げた青年会議所活動の功績が今日の我々の活動の礎となっています。

この先輩方の「想い」を受け継ぎ未来のメンバーに託していくためには、活動記録の整理・保存と広報活動というものは不可欠なものであります。

総務広報委員会では、例会の設営や運営はもちろんのこと、理事長所信にあります「守　破　離」の精神を持ち、メンバーが心置きなく活動できるような環境を整えることが必要と考えます。

VHS 開発指揮者、日本ビクターの元副社長、高野鎮雄氏は開発の当時を振り返り、
「夢中でしたね。夢中っていうのは、たいへん素晴らしいことだと思う。神様がね、こんな素晴らしい人たちを私の周りに置いて下さった。ぜひ皆さんも、何でもいいですから夢中になってください。」という言葉を自身が退任する際に後輩に向けて残されています。

せっかく青年会議所に入会しても、現状として夢中になれる環境というものが、昨今の情勢により失われつつあり、この状況の改善は非常に重要なことであると思います。

素晴らしい人たちは既に周りにいます。そこから更に JC 活動に夢中になれる夢のような環境づくりを総務広報委員会の活動の中で調査・研究・実践していくとともに、ホームページや SNS などのツールを活用し、青年会議所活動の魅力の発信、そして尾道という「まち」の魅力を発信して参りましょう。

事　業　計　画	時　期	予　算
例会・総会の設営及び運営	通年	７，０００
全体的な庶務の遂行	通年	８２，０００
例会行事	７月	６０，０００
新理事研修	８月	５０，０００
卒業例会	１２月	６０，０００
活動記録の整理・保存及び広報活動の実践	通年	２００，０００
会員拡大の実践	通年	
合　　計		４５９，０００

地域創造室 共創まちづくり委員会

委 員 長　平岡　良之
副委員長　内海　洋平

テーマ「継がれてきたものを継ぐために」

活動自粛を余儀なくされている現在。我々は我々を育ててくれたこのまちに何ができるだろう。
人はまちに出ず、まちからは少しずつ灯りが減り、次第にまちも活気をなくす。

コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、まちに出られず、思うようにJC活動もできない。
それは仕方のないことだと十分に理解もできている。

では、我々青年経済人はその中で何ができるだろうか。
大人しく粛々と終息宣言を待つのか。果たしてそれは我々を育ててくれたこのまちのために
我々が出来ることなのだろうか。

今ある多くの不自由と戦い、今まで当たり前にあった多くの自由を取り戻すべく、先輩方から受け継がれてきた祭りという文化を通じ、再びこの尾道というまちに活気を取り戻せると信じる。

事　業　計　画	時　期	予　算
共創まちづくり事業の調査･研究･実践	通年	３００，０００
尾道の伝統文化の調査･研究･実践	通年	
例会行事	２月	６０，０００
夏期講習	８月	３００，０００
会員拡大の実践	通年	
合　　計		６６０，０００

地域創造室　まちの未来創造委員会

委 員 長　村上　直弘
副委員長　加藤　雄大

テーマ「結」

現在、感染症の拡大を防ぐため、まちやそこに住まう人に対して急激な生活の変化を求められてきました。特に“密”を避けるため、人との接触を極力減らすといった新たな生活様式は、“人との繋がり”を希薄にする可能性があり、このような変化に対して不安を抱えている人が多いと思います。

このような時だからこそ、“結束”や“絆”といった言葉に魅力を感じます。まちの未来を考える上で、地域との結束は重要です。先人たちが紡いできた絆や想いが詰まった今の尾道を作ってきました。この尾道を今の厳しい状況下でも一歩踏み出し未来へと結ぶことが今を生きる我々の役目だと考えます。

“結”という文字の旁の“吉”には、「念願を込めたモノ」と言う意味があり、編に“糸”を添えることで、“念願かなった吉の状態を守る”という成り立ちがあります。
尾道青年会議所は、本来なら交り難い職種であっても同じ志のもとに結束して、私たちの愛するまちと共に新時代に向かって進んでいきます。人とまちの結束を広げることが、新たなまちの未来を創造する一歩になるように願いを込めて。

最後になりますが、今年は尾道青年会議所の設立６５周年の年になります。６５年に亘り諸先輩方の想い、そして地域の皆様が紡いできた尾道、このまちの未来の創造ため精進していきます。

事　業　計　画	時　期	予　算
広島ブロックアカデミーの企画・運営	６月	
まちの未来創造事業の調査・研究・実践	通年	３００，０００
例会行事	３月	６０，０００
例会行事	９月	６０，０００
会員拡大の実践	通年	
合　　計		４２０，０００

人財育成室　青少年育成委員会

委 員 長　半田　祐喜
副委員長　小西　琢真

テーマ「今を全力で楽しむ」

無限の可能性を秘めた原石たちは、感性や個性を大事にしてもらいたいと思っています。「みんなと同じじゃないと恥ずかしい」ではなく、「みんな同じじゃ面白くない」。その子にしかないものや、秘めた力を引き出すサポートをすることが我々の役目だと考えます。固定概念に囚われない子供の吸収力は大人とは比べ物になりません。多くの物を見て、肌で感じ、視野を広げる機会を提供したい。我々大人は「ヒント」や「キッカケ」を与えるアシストをする事で、子供自ら新たな発見やインスピレーションを感じ、興味を持ったことに挑戦する。そして、自ら始めたことは途中で投げ出さず、最後までやり遂げることで、いつの日か原石たちは光り輝く宝石になるでしょう。

仕事も遊びもJCも、せっかくやるなら、その時しかないその瞬間を全力で楽しむ！私たち自身が楽しみ、熱意を持って一生懸命行動すれば、心に刻まれ、記憶に残るはずです。子供も大人も一緒に成長していきましょう。

事　業　計　画	時　期	予　算
青少年育成事業の調査・研究・実践	通年	３００，０００
家族会	４月	１００，０００
例会行事	６月	６０，０００
例会行事	１０月	６０，０００
会員拡大の実践	通年	
合　　計		５２０，０００

人財育成室　会員拡大委員会

委 員 長　沼尾　一
副委員長　島田　昌広

テーマ「新しい風」

今世界が混沌とし、先が見えない状況が続いています。尾道の街も、その影響がないとは言えず、経済や生活に対して大きな制限が加えられています。その為、今こそ社会の変化に合わせて、私達の拡大活動も変わる必要があると考えます。近年の尾道青年会議所の会員数は６０名前後といった状況が続いており、１０年前と比べ約２０名減少しています。明るい豊かな社会の実現を目指した JC 運動を展開させていくためにも、一人でも多くのメンバー、同じ志を持って活動してくれる仲間たちが必要不可欠です。組織を弱体化させないためにも、活動自体の規模を縮小させないためにも、毎年しっかりと拡大活動を行っていかなければなりません。

新しいメンバーの拡大は、　**『人との出会い』**　です。

これまで出会ったことがないような人と出会うことは、自分を成長させることに繋がります。常に変化し続けるこれからの時代、尾道の発展を願い行動する輪の中に、今までとは違う新しい風を、若い発想で巻き起こしたいと思います。６５年間先輩方が受け継いできた、JC の思いのバトンを引継ぎ、私も次代へ継いでいく一人でありたい。

事　業　計　画	時　期	予　算
会員拡大の調査・研究・実践	通年	６０，０００
例会行事	４月	６０，０００
例会行事	１１月	６０，０００
新入会員ガイダンス	７月	５０，０００
仮入会員研修	９月	５０，０００
しまなみ３JC への参画	通年	
合　　計		２８０，０００

一般社団法人　尾道青年会議所　事業計画（案）予算（案）

審議　事項

事 務 局
専務理事：大西　貴明

（１）議案名

２０２２年度　一般社団法人　尾道青年会議所　一般収支予算（案）に関する件

（２）事業名

２０２２年度　一般社団法人　尾道青年会議所　一般収支予算（案）

（３）事業実施に至る背景

前年の決算が終わっていない現在での段階で、次年度での予算を組むことにより尾道青年会議所の資産を明確にしてきた。

（４）事業目的（趣旨）

ａ．（対外）

ｂ．（対内）２０２２年度の予算を決定し、目的達成の為の事業を円滑に行う。

（５）事業概要

ａ．実施日時　２０２２年　１月　１日（土）～１２月３１日（土）

ｂ．場　　所

ｃ．予算総額　￥（詳細は別紙予算書）

ｄ．参加人員　内部　　名　　外部　　名　　計　　名
（内部内訳：）

ｅ．動員計画

ｆ．外部協力者

ｇ．実施組織・推進リーダー　専務理事　大西　貴明

ｈ．実施手順・プログラム

２０２１年１０月１１日（月）	２０２２年度　第２回正副理事長予定者会議	協議
２０２１年１０月１８日（月）	２０２２年度　第２回理事予定者会議	協議
２０２１年１１月１０日（水）	２０２２年度　第３回正副理事長予定者会議	審議
２０２１年１１月１８日（木）	２０２２年度　第３回理事予定者会議	審議
２０２１年１２月　６日（月）	２０２１年度　第１２回理事会	追認

（６）事業内容（目的達成のための手法説明）

繰り越し、会費・事業費・固定費等を明確にする。

繰り越しが確定した時に、修正予算として再度上程する。

（７）過去の検証・本年の工夫と期待される効果

一般社団法人制度の会計基準に沿って行う。

（８）審議のポイント

一般収支修正予算について

（９）会議での意見とその対応

意見）管理費明細書で社会保険料の欄ですが雇用保険料の値上がりと介護保険料を適用いただく事から見直しをされた方がいいと思います。

対応）１６％から１７％に見直しを行いました。

(10) 他委員会への依頼事項等

(11) 添付資料

２０２２年度　一般社団法人尾道青年会議所　一般収支予算（案）

２０２２年度　一般社団法人尾道青年会議所　一般収支予算（案）管理費明細

第１２回理事会　　２０２１年　１２月　６日

一般社団法人尾道青年会議所　一般収支予算書内訳表（案）

2022年1月1日から2022年12月31日まで

（単位：円）

	実施事業等会計			その他の事業会計					法人会計	合計
	1	2		1	2	3	4			
	青少年育成に関する事業	地域活性化に関する事業	小計	例会	会員研修に関する事業	会員の親睦に関する事業	その他の庶務に関する事業	小計		
Ⅰ　事業活動収支の部										
1.事業活動収入										
（1）会費収入									10,015,000	10,015,000
正会員会費収入									7,938,000	7,938,000
年会費収入									7,938,000	7,938,000
新入会員入会金									0	0
特別会員会費収入									432,000	432,000
OB会員会費収入									1,645,000	1,645,000
（2）事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0		0
登録料収入			0					0		0
懇親会費収入										
広告料収入			0					0		0
雑収入										
負担金収入			0					0		0
業務委託料										
（3）補助金等収入	0	0	0	0	0	0	0	0		0
地方公共団体助成金			0					0		0
民間助成金										
（4）寄付金収益										
寄付金収益										
（5）雑収入	0	0	0	0	0	0	0	0	121,000	121,000
雑収入			0					0	120,000	120,000
受取利息収入			0					0	1,000	1,000
（6）他会計からの繰入金収入	0	0	0	0	0	0	0	0		0
特別会計からの繰入金収入			0					0		0
事業活動収入計	0	0	0	0	0	0	0	0	10,136,000	10,136,000
2. 事業活動支出										
（1）事業費支出	300,000	600,000	900,000	2,493,384	150,000	4,160,000	289,000	7,092,384		7,992,384
会場設営費支出	0	0	0	1,803,384	0	0	0	1,803,384		1,803,384
会場費支出	0	0	0	601,128	0		0	601,128		601,128
食事代支出	0	0	0	1,202,256	0		0	1,202,256		1,202,256
企画演出費支出			0					0		0
本部団関係費支出			0					0		0
講師関係費支出			0					0		0
広報費支出			0					0		0
資料作成費支出			0					0		0
報告書作成費支出			0					0		0
懇親会費支出			0					0		0
渉外費支出			0					0		0
旅費交通費支出			0					0		0
参加記念品代支出			0					0		0
保険料支出			0					0		0
通信費支出			0					0		0
販売物品仕入支出			0					0		0
雑費支出			0					0		0
給与手当支出										
リース料支出										
光熱水道費支出										
賃借料支出										
事業予備費支出			0					0		0
（2）管理費支出									6,404,480	6,404,480
会議費支出									613,600	613,600
給与手当支出									1,588,800	1,588,800
福利厚生費支出									270,096	270,096
旅費交通費支出									100,000	100,000
通信・発送費支出									691,950	691,950
消耗品費支出									555,010	555,010
会員支給品費									0	0
リース料支出									50,600	50,600
印刷製本費支出									750,640	750,640
光熱水料費支出									208,932	208,932
賃借料支出									1,056,720	1,056,720
租税公課支出									33,000	33,000
渉外費支出									200,000	200,000
雑支出									285,132	285,132
（3）負担金支出									1,060,145	1,060,145
JCI負担金支出									106,470	106,470
日本JC負担金支出									360,000	360,000
地区協議会負担金支出									63,000	63,000
ブロック協議会負担金支出									189,000	189,000
国際協力資金支出									114,975	114,975
日本JC出向者負担金支出									0	0
We Believe購読料支出									189,000	189,000
その他LOM負担金支出									37,700	37,700
事業活動支出計	300,000	600,000	900,000	2,493,384	150,000	4,160,000	289,000	7,092,384	7,464,625	15,457,009
事業活動収支差額	−300,000	−600,000	−900,000	−2,493,384	−150,000	−4,160,000	−289,000	−7,092,384	2,671,375	−5,321,009
Ⅱ投資活動収支の部										
1. 投資活動収入										
（1）特定資産取崩収入	0	0	0	0	0	0	0	0	3,000,000	3,000,000
周年事業積立資産取崩収入	0	0	0					0	3,000,000	3,000,000
投資活動収入計	0	0	0	0	0	0	0	0	3,000,000	3,000,000
2. 投資活動支出										0
周年事業積立資産支出										0
投資活動支出計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0	0	0	0	0	0	3,000,000	3,000,000
Ⅲ財務活動収支の部										
1. 財務活動収入										
財務活動収入計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2. 財務活動支出										
財務活動支出計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Ⅳ予備費支出									0	
当期収支差額										−2,321,009
前期繰越収支差額										
次期繰越収支差額										−2,321,009

一般社団法人尾道青年会議所　正味財産増減計算書　一般収支予算内訳表（案）
2022年1月1日から2022年12月31日まで

（単位：円）

	実施事業等会計			その他の事業会計					法人会計	合計
	1	2	小計	1	2	3	4	小計		
	青少年育成に関する事業	地域活性化に関する事業		例会	会員研修に関する事業	会員の親睦に関する事業	その他の庶務に関する事業			
Ⅰ　一般正味財産増減の部										
1　経常増減の部										
①経常収益										
(1)受取会費									10,015,000	10,015,000
正会員会費収益									7,938,000	7,938,000
正会員会費									7,938,000	7,938,000
新入会員入会金									0	0
特別会員会費収益									432,000	432,000
OB会員会費収益									1,645,000	1,645,000
(2)事業収益	0	0	0	0	0	0	0	0		0
登録料収益			0					0		0
懇親会費収益			0					0		0
広告料収益			0					0		0
雑収入			0					0		0
負担金収益			0					0		0
業務委託料			0					0		0
(3)受取補助金等収益	0	0	0	0	0	0	0	0		0
地方公共団体助成金			0					0		0
民間助成金			0					0		0
(4)寄付金収益	0	0	0	0	0	0	0	0		0
寄付金収益			0					0		0
(5)雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	121,000	121,000
雑収益			0					0	120,000	120,000
受取利息収益			0					0	1,000	1,000
(6)他会計からの繰入金収益	0	0	0	0	0	0	0	0		0
特別会計からの繰入金収益			0					0		0
経常収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	10,136,000	10,136,000
②経常費用										
(1)事業費	300,000	600,000	900,000	2,493,384	150,000	4,160,000	289,000	7,092,384		7,992,384
会場設営費支出	0	0	0	1,803,384	0	0	0	1,803,384		1,803,384
会場費支出	0	0	0	601,128	0		0	601,128		601,128
食事代支出	0	0	0	1,202,256	0		0	1,202,256		1,202,256
企画演出費支出			0					0		0
本部団関係費支出			0					0		0
講師関係費支出			0					0		0
広報費支出			0					0		0
資料作成費支出			0					0		0
報告書作成費支出			0					0		0
懇親会費支出			0					0		0
渉外費支出			0					0		0
旅費交通費支出			0					0		0
参加記念品代支出			0					0		0
保険料支出			0					0		0
通信費支出			0					0		0
販売物品仕入支出			0					0		0
雑費支出			0					0		0
給与手当支出										
リース料支出										
光熱水道費支出										
賃借料支出										
事業予備費支出			0					0		0
(2)管理費									6,404,480	6,404,480
会議費									613,600	613,600
給与手当									1,588,800	1,588,800
福利厚生費									270,096	270,096
旅費交通費									100,000	100,000
通信・発送費									691,950	691,950
消耗品費									555,010	555,010
会員支給品費									0	0
リース料									50,600	50,600
印刷製本費									750,640	750,640
光熱水料費									208,932	208,932
賃借料									1,056,720	1,056,720
租税公課									33,000	33,000
渉外費									200,000	200,000
雑費									285,132	285,132
(3)負担金									1,060,145	1,060,145
JCI負担金									106,470	106,470
日本JC負担金									360,000	36,000
地区協議会負担金									63,000	63,000
ブロック協議会負担金									189,000	189,000
国際協力資金支出									114,975	114,975
日本JC出向者負担金									0	0
We　Believe購読料									189,000	189,000
その他LOM負担金									37,700	37,700
(4)管理運営予備費									−5,321,009	−5,321,009
経常費用計	300,000	600,000	900,000	2,493,384	150,000	4,160,000	289,000	7,092,384	2,143,616	10,136,000
当期経常増減額	−300,000	−600,000	−900,000	−2,493,384	−150,000	−4,160,000	−289,000	−7,092,384	7,992,384	0
2　経常外増減の部										
(1)経常外収益									3,000,000	3,000,000
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	3,000,000	3,000,000
(2)経常外費用										
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	3,000,000	3,000,000
当期一般正味財産増減額										−2,321,009
一般正味財産期首残高										0
一般正味財産期末残高										−2,321,009

		実施事業等会計		その他の事業会計				計
		1	2	1	2	3	4	
		青少年育成に関する事業	地域活性化に関する事業	例会	会員研修に関する事業	会員の親睦に関する事業	その他の庶務に関する事業	
65周年実行特別委員会	創立６５周年記念式典の企画・運営					500,000		
	創立６５周年記念事業の企画・運営					3,000,000		
	新年例会			150,000				
	クリスマス会					200,000		
	会員拡大の実践							3,850,000
総務広報委員会	例会・総会の設営及び運営						7,000	
	全般的な庶務の遂行						82,000	
	例会行事			60,000				
	新理事研修				50,000			
	卒業例会			60,000				
	活動記録の整理・保存及び広報活動の実践						200,000	
	会員拡大の実践							459,000
共創まちづくり委員会	共創まちづくり事業の調査・研究・実践		300,000					
	尾道の伝統文化の調査・研究・実践							
	例会行事			60,000				
	夏期講習					300,000		
	会員拡大の実践							660,000
まちの未来創造委員会	広島ブロックアカデミーの企画・運営							
	まちの未来創造事業の調査・研究・実践		300,000					
	例会行事			60,000				
	例会行事			60,000				
	会員拡大の実践							420,000
青少年育成委員会	青少年育成事業の調査・研究・実践	300,000						
	家族会					100,000		
	例会行事			60,000				
	例会行事			60,000				
	会員拡大の実践							520,000
会員拡大委員会	会員拡大の調査・研究・実践					60,000		
	例会行事			60,000				
	例会行事			60,000				
	新入会員ガイダンス				50,000			
	仮入会員研修				50,000			
	しまなみ３JCへの参画							280,000

一般社団法人尾道青年会議所　2022年度　一般収支予算(案)　管理費明細

項　　目	細　目	金　　額	備　　考	計	前年度 修正予算	対比
会議費	理事会	222,600	15,000×10、第1回36,300、第12回（新旧）36,300	**613,600**	613,600	100.0%
	次年度理事会	60,000	15,000×4			
	合同委員会	210,000	21,000×10(※3部屋予約)			
	次年度室合同委員会	121,000	※懇親会なしの会場費のみ			
給与手当	月額給料	1,528,800	給与910×140×12ヶ月	**1,858,896**	1,843,008	100.9%
	交通費	60,000	交通費5,000×12ヶ月			
		1,588,800				
福利厚生費	社会保険	270,096	（月給）×17%			
旅費交通費	交通費	100,000	LOMバス etc	**100,000**	100,000	100.0%
通信・発送費	葉書・年賀状・切手代等	438,350	切手代10,000（年間）、年賀状28,350(450枚) ＪＣライフ等発送費 400,000	**691,950**	691,950	100.0%
	電話料・FAX	243,600	ＮＴＴ17,500×12ヶ月、ﾌﾟﾛﾊﾞｲﾀﾞ(新しいサーバ)料33,600（年間）			
	その他	10,000	書留料、宅急便費 等			
消耗品費	用紙代	84,480	1,760×4×12ヶ月	**555,010**	527,230	105.3%
	封筒代	55,550	長3　6.5円×6,000部、角2　23円×500部			
	トナー代	95,700	ｲﾝｸｼﾞｪｯﾄﾌﾟﾘﾝﾀｲﾝｸ4,600×12回、トナー40,500			
	コピー機カウント料	269,280	22,440×12ヶ月（平均）			
	その他	50,000	点検修理調整費			
会員支給品費		ー	新入会員ﾊﾞｯﾁ・ﾈｰﾑﾌﾟﾚｰﾄ等	ー	ー	ー
リース料	リース料	50,600	複合機　50,600円	**50,600**	298,080	17.0%
印刷製本費	印刷製本費	750,640	会員手帳284,350円 ＪＣライフ466,290	**750,640**	750,640	100.0%
水道光熱費	電気代	147,600	12,300×12ヶ月　（平均）	**208,932**	208,932	100.0%
	ガス代	8,760	730×12ヶ月　（固定）			
	水道代	52,572	4,381×12ヶ月　（固定）			
賃借料	事務所家賃	873,120	72,760×12ヶ月　（固定）	**1,056,720**	1,056,720	100.0%
	駐車場	183,600	15,300×12ヶ月(1台分)　（固定）			
租税公課	法人県民税	21,000	法人市民税申請により納税免除	**33,000**	33,000	100.0%
	印紙代	12,000	登記用10,000、謄本印鑑証明2,000			
渉外費	渉外費	200,000		**200,000**	200,000	100.0%
雑　費	清掃、消検費	51,000	消防設備点検費、事務局内清掃費	**285,132**	271,172	105.1%
	警備費	35,040	2,920×12ヶ月　（固定）			
	清掃費（共用部分）	105,132	8,761×12ヶ月　（固定）			
	新聞図書費	35,760	尾道新聞購読費2,980×12ケ月(固定)			
	その他	58,200	雑費15,000＋Zoomアカウント使用費30,000 ダイナースカード年会費13,200円			
			合　　計	**6,404,480**	6,594,332	97.1%

一般社団法人　尾道青年会議所　事業計画（案）

審議　事項

事 務 局
専務理事：大西　貴明

（１）議案名
２０２２年度 一般社団法人尾道青年会議所 特別会員への入会（案）に関する件

（２）事業名
２０２２年度 一般社団法人尾道青年会議所 特別会員への入会

（３）事業実施に至る背景
例年４０歳で満期退会をされても、特別会員としてご指導・ご鞭撻を頂いております。

（４）事業目的（趣旨）
ａ．（対外）
ｂ．（対内）２０２１年度一般社団法人尾道青年会議所を満期退会される、池田知和君　大前慶倫君　小川直紀君　加度亮平君　高山敦好君　政成啓行君　溝口佳矢君　美ノ上仁孝君　の以上８名の方々に定款第２章７条（２）及び運営規定第２章１１条（１）により特別会員に入会して頂き、今後も一般社団法人尾道青年会議所へのご支援を頂く事を目的とします。

（５）事業概要
ａ．実施日時　２０２２年　１月　１日（土）
ｂ．場　　所
ｃ．予算総額
ｄ．参加人員　内部　　名　　外部　　名　　計　　名
（内部内訳：）
ｅ．動員計画
ｆ．外部協力者
ｇ．実施組織・推進リーダー 専務理事 大西貴明
ｈ．実施手順・プログラム

２０２１年１１月１０日（水）	２０２２年度　第３回正副理事長予定者会議	審議
２０２１年１１月１８日（木）	２０２２年度　第３回理事予定者会議	審議
２０２１年１２月　６日（月）	２０２１年度　第１２回理事会	追認
２０２２年　１月　１日（土）		入会

（６）事業内容（目的達成のための手法説明）
各卒業予定者の意思を確認し、入会頂く。

（７）過去の検証・本年の工夫と期待される効果
特別会員の皆様は、例年積極的に当会議所の事業に参加頂き現役会員にご指導を頂いております。

（８）審議のポイント

特別会員入会承認

（９）会議での意見とその対応

意見）

対応）

(10) 他委員会への依頼事項等

(11) 添付資料

第１２回理事会　　２０２１年　１２月　６日

一般社団法人　尾道青年会議所　事業計画（案）

審議　事項

委員会名　総務広報委員会
委員長名　村橋　聡

（１）議案名

例会・総会の設営及び運営 事業計画（案）に関する件

（２）事業名

１月例会開始時間の変更

（３）事業実施に至る背景

新年例会の開催にあわせて、１月例会の開始時間を変更する必要がある。

（４）事業目的（趣旨）

ａ．（対外）

ｂ．（対内）早期に案内文書を発送することにより、通常と異なる例会開始時間をメンバーに周知する。

（５）事業概要

ａ．実施日時　２０２２年1月１７日（月）１８：００～１８：４５

ｂ．場　　所　尾道国際ホテル

ｃ．予算総額

ｄ．参加人員　内部６３名　　外部　　名　　計６３名

（内部内訳：）

ｅ．動員計画

ｆ．外部協力者

ｇ．実施組織・推進リーダー　総務広報委員会　委員長　村橋　聡

ｈ．実施手順・プログラム

２０２１年１１月１０日（水）　第３回正副理事長予定者会議　審議
２０２１年１１月１８日（木）　第３回理事予定者会議　審議
２０２２年　1月１７日（月）　１月例会　実施

（６）事業内容（目的達成のための手法説明）

新年例会実施のため、１月例会開始時間を１８：００に変更し、新年例会の案内とまとめて早期に案内文書を発送する。

（７）過去の検証・本年の工夫と期待される効果

新年例会及び１月例会セレモニーの案内を一文書にまとめて発信することにより、出席率の向上が期待できると考える。

（８）審議のポイント

１月例会開始時間について

（９）会議での意見とその対応

意見）

対応）

(10) 他委員会への依頼事項等

例会開始時間が変更となりますので、メンバーへの周知をお願いします。

(11) 添付資料

１月例会次第(案)

第１２回理事会　　２０２１年　１２月　６日

１月例会次第（案）

日時：２０２２年1月１７日(月)
１８：００～１８：４５
場所：尾道国際ホテル瑞慶の間

１．	開会	１８：００
２．	点鐘	
３．	国歌並びにＪＣソング斉唱	
４．	ＪＣＩクリード唱和	
５．	ＪＣＩミッション並びにＪＣＩビジョン唱和	
６．	ＪＣ宣言文朗読並びに綱領唱和	
７．	紹介事項	
８．	配布資料の確認	
９．	バッジ授与式	１８：１０
１０．	理事長年頭挨拶	
１１．	卒業生入場	１８：２０
１２．	各種表彰	
	①　２０２１年度理事長表彰	
	②　２０２１年度監事表彰	
	③　２０２１年度満期退会者表彰	
	④　２０２１年度出向者表彰	
	⑤　２０２１年度皆出席者表彰	
１３．	卒業記念品贈呈式	１８：３５
１４．	卒業生退場	
１５．	報告・依頼事項	
１６．	連絡事項	
１７．	事務局連絡	
１８．	直前理事長総評	
１９．	閉会	１８：４５
２０．	点鐘	

一般社団法人　尾道青年会議所　事業計画（案）

審議　事項

委員会名：６５周年実行特別委員会
副実行委員長名：加藤　雅崇

（１）議案名
新年例会　事業計画（案）に関する件

（２）事業名
新年例会　テーマ「Ｈｅｒｅ　Ｃｏｍｅｓ　Ｔｈｅ　Ｓｕｎ～夜明け～」

（３）事業実施に至る背景
例年、ＯＢ会員・特別会員への周知とスケジュール調整のため早期に案内文書の発送を行っています。

（４）事業目的（趣旨）
ａ．（対外）
ｂ．（対内）日時と場所を早期に周知することにより、ＯＢ会員・特別会員の皆様が出席しやすい環境を整えることを目的とします。

（５）事業概要
ａ．実施日時　２０２２年　1月　１７日（月）　１９：００～２０：００
ｂ．場　　所　尾道国際ホテル
ｃ．予算総額
ｄ．参加人員　内部　　６３　名　　外部　　７４　名　　計　１３７　名
（外部内訳：特別会員２４名・ＯＢ会員５０名）
ｅ．動員計画
ｆ．外部協力者
ｇ．実施組織・推進リーダー　６５周年実行特別委員会　委員長　加藤　雅崇
ｈ．実施手順・プログラム
２０２１年１１月１０日（水）第３回正副理事長予定者会議　審議
２０２１年１１月１８日（木）第３回理事予定者会議　　審議
２０２１年１２月　６日（月）２０２１年度第１２回（新旧）理事会　追認
２０２１年１２月　７日（火）案内文送付
２０２２年　1月１７日（月）実施

（６）事業内容（目的達成のための手法説明）
年内中に案内を発送し、日時・場所の周知を行います。

（７）過去の検証・本年の工夫と期待される効果
前年と同様に新年例会の案内を年内に発送することで、多くのＯＢ会員・特別会員の皆様に出席していただけると期待されます。

（８）審議のポイント

日時・場所について

（９）会議での意見とその対応

意見）

対応）

（10）他委員会への依頼事項等

より多くのＯＢ会員・特別会員の皆様へご出席いただくために、関係のあります現役会員の皆様は、案内と併せてお声がけを何卒よろしくお願いいたします。

（11）添付資料

新年例会案内文　ＯＢ会員（参考資料）

新年例会案内文　特別会員（参考資料）

第１２回理事会　　２０２１年　１２月　６日

尾　青　会　発　　号
２０２１年１２月　日

Ｏ　Ｂ　会　員　各　位

一般社団法人　尾道青年会議所
２０２２年度　　理　事　長予定者　今　岡　正　英
実行委員長予定者　吉　田　雄　太
副実行委員長予定者　加　藤　雅　崇
副実行委員長予定者　　村　上　康

新年例会のご案内

拝啓　師走の候　皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
さて、２０２２年度一般社団法人尾道青年会議所は、今岡理事長予定者の所信「守　破　離」の元、スタート致します。
この度の新年例会は「Ｈｅｒｅ　Ｃｏｍｅｓ　Ｔｈｅ　Ｓｕｎ～夜明け～」をテーマに掲げ、新たに始まる２０２２年度体制をご披露いたします。
また、ＯＢ会員の皆様、特別会員の皆様と現役会員が交流をより一層深め、尾道青年会議所が今後益々発展していくことを願い開催いたします。
つきましては、ご多忙とは存じますが万障お繰り合わせ上、何卒出席賜りますよう御願い申し上げます。

敬具

＊新型コロナウイルス感染症対策のため、「来場時の検温」「会場内でのマスクの着用」「入退場時の消毒」等のご協力をお願い申し上げます。
また、せき、発熱等の症状がある方は出席をお控え下さい。
本例会は、新型コロナウイルス感染対策から、会食、アトラクションは行いません。
開催予定日に国からの緊急事態宣言が発令された場合等は中止といたします。
何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。

記

日　　時　　２０２２ 年　1月１７日（月）１９：００～２０：００
１８：３０受付 / １８：４５開場
場　　所　　尾道国際ホテル　２Ｆ
例　　会　　テーマ「Ｈｅｒｅ　Ｃｏｍｅｓ　Ｔｈｅ　Ｓｕｎ～夜明け～」
登　録　料　　￥０
返　信　締　切　　２０２１年１２月２４日（金）　必着
返　信　先　　(一社)尾道青年会議所　ＦＡＸ 0848-20-1112　　E-Mail　ojc@urban.ne.jp
返　信　方　法　　FAX かメールで事務局まで返信ください。

以上

……き……り……と……り……せ……ん……

２０２２年度　新年例会（どちらかに〇をしてください）

ご出席　・　ご欠席

お名前：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

尾　青　会　発　　号
２０２１年１２月　日

特　別　会　員　各　位

一般社団法人　尾道青年会議所
２０２２年度　　理　事　長予定者　今　岡　正　英
実行委員長予定者　吉　田　雄　太
副実行委員長予定者　加　藤　雅　崇
副実行委員長予定者　　村　上　康

新年例会のご案内

拝啓　師走の候　皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
さて、２０２２年度一般社団法人尾道青年会議所は、今岡理事長予定者の所信「守　破　離」の元、スタート致します。
この度の新年例会は「Ｈｅｒｅ　Ｃｏｍｅｓ　Ｔｈｅ　Ｓｕｎ～夜明け～」をテーマに掲げ、新たに始まる２０２２年度体制をご披露いたします。
また、ＯＢ会員の皆様、特別会員の皆様と現役会員が交流をより一層深め、尾道青年会議所が今後益々発展していくことを願い開催いたします。
つきましては、ご多忙とは存じますが万障お繰り合わせ上、何卒出席賜りますよう御願い申し上げます。

敬具

＊新型コロナウイルス感染症対策のため、「来場時の検温」「会場内でのマスクの着用」「入退場時の消毒」等のご協力をお願い申し上げます。
また、せき、発熱等の症状がある方は出席をお控え下さい。
本例会は、新型コロナウイルス感染対策から、会食、アトラクションは行いません。
開催予定日に国からの緊急事態宣言が発令された場合等は中止といたします。
何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。

記

日　　時　　２０２２ 年　1月１７日（月）１９：００～２０：００
　　１８：３０受付 / １８：４５開場
場　　所　　尾道国際ホテル　２Ｆ
例　　会　　テーマ「Ｈｅｒｅ　Ｃｏｍｅｓ　Ｔｈｅ　Ｓｕｎ～夜明け～」
登　録　料　　￥２，０００（＊年会費からいただきますので、当日のお支払いはございません。）
返信締切　　２０２１年１２月２４日（金）　必着
返　信　先　　(一社)尾道青年会議所　ＦＡＸ 0848-20-1112　　E-Mail　ojc@urban.ne.jp
返信方法　　FAXかメールで事務局まで返信ください。

以上

……き……り……と……り……せ……ん……

２０２２年度　新年例会（どちらかに〇をしてください）

ご出席　・　ご欠席

お名前：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿